

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()	
	1 項	社会福祉費		第 1 節	お互いに支えあい生活のできる仕組みを構築する		()	
	1 目	社会福祉総務費		(1)	みんなで支えあう地域づくりを推進する		()	
実施計画掲載ページ		P 66	中 事 業	民生委員関係費				
事業コード		004-001-001-00088	事 業 名	民生委員・児童委員関係事業				
目的及び事業内容		民生委員法及び児童福祉法に基づき、社会の奉仕者として厚生労働大臣から委嘱を受け、配置されている「民生委員・児童委員」の活動を推進し、社会福祉の向上を図るため、石巻市民生委員児童委員協議会に交付金を交付する。また、民生委員推薦会を開催し、候補者を県に進達する。						
取 組 実 績		<p>1 石巻市民生委員児童委員協議会へ交付金の交付 社会的孤立の防止や複雑な地域課題等への対応により、委員活動の負担が増加しているため活動費を増額した。 ※前年比10,300円増 R1@38,700円 (1) 活動費 @49,000円×実数334人=16,366,000円 ※実数は年度中の最大委嘱数 (2) 啓発活動費等 111,280円 合計 16,477,280円</p> <p>2 委嘱状況 (1) 令和2年度末の委嘱状況 定数：370人 現委嘱数：333人 欠員数：37人 (2) 石巻市民生委員推薦会の開催（計3回、候補者9名） 第1回：令和2年4月3日から4月13日（持ち回りによる審査） 1名推薦 第2回：令和2年7月21日から7月30日（持ち回りによる審査） 2名推薦 第3回：令和2年12月16日から12月24日（持ち回りによる審査） 6名推薦</p> <p>3 欠員地区への対応 (1) 欠員地区の自治会長等へ現況、候補者の有無について聴取（9月、3月 2回実施） (2) 新設町内会へ民生委員制度の説明（あゆみ野地区3町内会） (3) 市報による市民への民生委員活動内容の周知（5月、10月、2月 計3回）</p>						
成 果		石巻市民生委員児童委員協議会へ交付金を交付することで、各種活動の支援や職務遂行に必要な技能の習得により相談援助の推進が図られた。活動費については、社会的孤立の防止や要配慮者支援等への対応のため、民生委員活動の幅が広がっており、活動費を増額することで負担軽減が図られた。また、民生委員推薦会を3回開催し、計9名の候補者を宮城県へ進達した。令和3年3月末現在の委嘱数は333人となり、令和2年3月末現在の329人と比較し4人増員した。						
成果に係る評価		委員を配置することにより、地域の見守り活動の推進が図られ、困り事を抱える住民の身近な相談役として必要な支援に繋ぐなど地域での役割も大きく、今後も地域福祉の向上のため委員活動の支援が必要である。 欠員地区については、9月と3月に自治会長等へ現況の聴取及び推薦依頼を行ったが、担い手不足等の理由により苦慮しているとの声が多数あるため、地域福祉コーディネーター（社会福祉協議会）とも情報を共有し、欠員解消に努めていく必要がある。 活動費については、引き続き委員活動の負担軽減を図るため、計画的に増額する必要がある。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	16,658,000	16,506,504				16,506,504		

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()													
	1 項	社会福祉費		第1節	お互いに支えあい生活で きる仕組みを構築する		()													
	1 目	社会福祉総務費		(1)	みんなで支えあう地域 づくりを推進する		()													
実施計画 掲載ページ	P 66		中 事 業	社会福祉関係助成費																
事業コード	004-001-001-00089		事 業 名	社会福祉協議会運営費補助事業																
目的及び事業内容	石巻市社会福祉協議会が行う事務事業等の運営費の一部を補助することにより、地域福祉の増進を図る。																			
取組実績	<p>石巻市社会福祉協議会の本所・支所職員に係る人件費相当分の一部を補助金として交付した。</p> <p>補助金交付額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>補助額</th> <th>補助対象人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>174,763,921円</td> <td>35名</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>174,966,497円</td> <td>35名</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>165,821,956円</td> <td>34名</td> </tr> </tbody> </table>								年度	補助額	補助対象人数	H30	174,763,921円	35名	R1	174,966,497円	35名	R2	165,821,956円	34名
年度	補助額	補助対象人数																		
H30	174,763,921円	35名																		
R1	174,966,497円	35名																		
R2	165,821,956円	34名																		
成 果	<p>人口減少や少子高齢化、核家族化などにより、地域コミュニティの希薄化が進展し、「地域共生社会」の実現に向けた地域づくりや包括的な支援体制を推進する必要があるとあり、地域福祉推進の中核を担う石巻市社会福祉協議会に運営費の一部を補助することで、安定的な推進体制が確保され、地域住民や関係団体との連携及び協働により、本市の社会福祉の増進が図られた。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、休業等により収入の減少した世帯へ生活福祉資金緊急小口資金等の特例貸付の実施等、生活困窮者に対する支援を行った。</p>																			
成果に係る評価	<p>地域住民と共に地域福祉の増進を図るために、本市と石巻市社会福祉協議会の連携した取組が必要不可欠であることから、地域福祉計画の基本理念である「いつも自分らしく生きるために、みんなで支えあう地域づくり」の実現に向けて事業を継続する必要がある。</p> <p>また、石巻市社会福祉協議会と職員の定員適正化に係る協議を行ってきたが、引き続き、包括的な支援体制における役割等を精査するとともに、他市の補助金の交付要件等も参考にし、適正な補助金のあり方について検討する必要がある。</p>																			
(単位：円)																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源														
	165,822,000	165,821,956				165,821,956														

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()	
	1 項	社会福祉費		第1節	お互いに支えあい生活で きる仕組みを構築する		()	
	1 目	社会福祉総務費		(1)	みんなで支えあう地域 づくりを推進する		()	
実施計画 掲載ページ	P 67		中 事 業	地域福祉推進関係費				
事業コード	004-001-001-00563		事 業 名	地域福祉計画策定事業				
目的及び事業内容	地域福祉委員会を開催し、本市地域福祉計画の進行管理等を行い、地域共生社会の実現向け、みんなで支えあう地域づくりを推進する。							
取組実績	<p>1 地域福祉委員会の開催</p> <p>(1) 第1回石巻市地域福祉委員会 日時：令和2年9月2日 内容：①第3期計画に掲げる取組事業の進捗状況、成果及び評価について審議した。 ②第4期計画の策定方針(案)について審議し、策定の方向性を定めた。 ③地域福祉について広く市民の声を聞くため、アンケートを実施するに当たり、各調査票素案を審議した。</p> <p>(2) 第2回石巻市地域福祉委員会(書面開催) 日時：令和3年3月24日 内容：①市民、民生委員児童委員、NPO等団体に対するアンケート及び団体ヒアリング結果から現状と課題の把握を行った。 ②上記①と取組事業の成果・評価を基に、第3期計画の総評価を行い、第4期計画策定に向けて課題共有を図った。</p> <p>2 地域福祉に関する各種調査の実施</p> <p>(1) 市民アンケート 令和2年10月実施 18歳以上の市民2,000人対象 回答率49.4% (2) 民生委員児童委員アンケート 令和2年10月実施 330人対象 回答率93.3% (3) NPO等各種団体アンケート 令和2年11月実施 35団体対象 回答率82.9% (4) NPO等各種団体ヒアリング 令和3年1月実施 6団体</p>							
成 果	<p>各種調査の実施により、市民意識や地域の現状と課題を把握することができた。</p> <p>また、アンケート結果から、地域のつながりの希薄化や支え合い意識の低下、地域福祉を担う人材不足等の課題を委員及び庁内で共有した。</p> <p>団体ヒアリングにおいては、特に半島沿岸部での人口減少、少子高齢化、担い手不足等の課題が浮き彫りとなっている現状の把握ができた。</p> <p>地域福祉委員会では、第3期計画の総評価を行うとともに、そこから見えた現状と課題への対応や地域共生社会の実現を目指し、第4期計画の策定方針を定めた。</p>							
成果に係る評価	<p>第4期計画では、地域と共に課題の把握や解決に取り組む体制づくりを目指すため、包括的な支援体制の整備を推進することとしており、そのためには庁内の部局を超えた横断的な連携体制の構築が重要となる。</p> <p>また、第3期計画で取り組んだ事業の成果や関係団体ヒアリングの結果から、半島沿岸部で活動する団体は特に地域との密着度が高く、地域住民と一体的に活動していることから、今後、市としても団体と連携し、活動を推進していく必要がある。</p>							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	3,346,442	2,718,618	1,359,000			1,359,618		

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																																																			
	1 項	社会福祉費		第7節	災害に対する備えを充実する		()																																																																			
	1 目	社会福祉総務費		(3)	防災意識の向上と円滑な避難体制をつくる		()																																																																			
実施計画掲載ページ		P112	中 事 業	避難行動要支援者支援事業費																																																																						
事業コード		004-007-003-00105	事 業 名	避難行動要支援者支援事業																																																																						
目的及び事業内容 避難行動要支援者の安否確認や避難支援を円滑に行うため、要支援者の登録や避難支援等関係者との情報共有、地域における支援体制づくりを推進する。																																																																										
取組実績																																																																										
1 年度別登録者数																																																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>全体</th> <th>本庁</th> <th>河北</th> <th>雄勝</th> <th>河南</th> <th>桃生</th> <th>北上</th> <th>牡鹿</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>4,267人</td> <td>3,097人</td> <td>167人</td> <td>80人</td> <td>668人</td> <td>155人</td> <td>56人</td> <td>44人</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>4,030人</td> <td>2,947人</td> <td>158人</td> <td>75人</td> <td>613人</td> <td>142人</td> <td>52人</td> <td>43人</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>3,798人</td> <td>2,784人</td> <td>143人</td> <td>74人</td> <td>573人</td> <td>129人</td> <td>54人</td> <td>41人</td> </tr> </tbody> </table>									年度	全体	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	H30	4,267人	3,097人	167人	80人	668人	155人	56人	44人	R1	4,030人	2,947人	158人	75人	613人	142人	52人	43人	R2	3,798人	2,784人	143人	74人	573人	129人	54人	41人																														
年度	全体	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿																																																																		
H30	4,267人	3,097人	167人	80人	668人	155人	56人	44人																																																																		
R1	4,030人	2,947人	158人	75人	613人	142人	52人	43人																																																																		
R2	3,798人	2,784人	143人	74人	573人	129人	54人	41人																																																																		
※要支援者の名簿登録者数は減少傾向にあるが、新規登録者数よりも死亡者及び転出者等の登録抹消者数が上回っていることが要因である。																																																																										
2 防災ネットワーク登録状況																																																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>全体</th> <th>本庁</th> <th>河北</th> <th>雄勝</th> <th>河南</th> <th>桃生</th> <th>北上</th> <th>牡鹿</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">H30</td> <td>登録数</td> <td>141</td> <td>131</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>登録率</td> <td>40.0%</td> <td>67.5%</td> <td>0.0%</td> <td>17.6%</td> <td>2.7%</td> <td>4.0%</td> <td>26.3%</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R1</td> <td>登録数</td> <td>145</td> <td>132</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>登録率</td> <td>40.6%</td> <td>67.3%</td> <td>0.0%</td> <td>17.6%</td> <td>10.8%</td> <td>4.0%</td> <td>26.3%</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R2</td> <td>登録数</td> <td>147</td> <td>133</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>登録率</td> <td>41.1%</td> <td>67.8%</td> <td>0.0%</td> <td>17.6%</td> <td>13.5%</td> <td>4.0%</td> <td>26.3%</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table>									年度	全体	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	H30	登録数	141	131	0	3	1	1	5	0	登録率	40.0%	67.5%	0.0%	17.6%	2.7%	4.0%	26.3%	0.0%	R1	登録数	145	132	0	3	4	1	5	0	登録率	40.6%	67.3%	0.0%	17.6%	10.8%	4.0%	26.3%	0.0%	R2	登録数	147	133	0	3	5	1	5	0	登録率	41.1%	67.8%	0.0%	17.6%	13.5%	4.0%	26.3%	0.0%
年度	全体	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿																																																																		
H30	登録数	141	131	0	3	1	1	5	0																																																																	
	登録率	40.0%	67.5%	0.0%	17.6%	2.7%	4.0%	26.3%	0.0%																																																																	
R1	登録数	145	132	0	3	4	1	5	0																																																																	
	登録率	40.6%	67.3%	0.0%	17.6%	10.8%	4.0%	26.3%	0.0%																																																																	
R2	登録数	147	133	0	3	5	1	5	0																																																																	
	登録率	41.1%	67.8%	0.0%	17.6%	13.5%	4.0%	26.3%	0.0%																																																																	
3 取組実績																																																																										
(1) 地域における支援体制づくりを推進するため、自治会等に対する避難行動要支援者制度の説明会を実施した。(北上地域包括支援センター等関係機関、井内東部町内会)																																																																										
(2) 民生委員の協力を得て、要支援者の登録及び情報の更新作業を実施した。																																																																										
(3) 防災士を対象とし、研修会を実施した。(36名参加)																																																																										
(4) 避難支援等関係者へ要支援者名簿を提供し、情報共有を図った。																																																																										
成 果																																																																										
要支援者の新規登録及び登録者の情報更新について、民生委員の協力を得て実施し、災害時における要支援者の支援へ繋がった。 また、災害時における地域での避難支援のあり方については、制度説明や研修会の実施により、まずは自身の安全確保を最優先とする基本原則を周知するとともに、すべての地域が一律に同じ支援を行うのではなく、地域毎の実情や特性に応じた避難支援体制を構築するためには、地域住民による検討を重ねることが重要であることを説明し、制度の理解を図った。																																																																										
成果に係る評価																																																																										
地域や民生委員への制度理解を深めるため、支援体制づくりの事例や避難訓練等での名簿を活用した実効性のある取組等の研修を行う必要がある。 自治会等の防災ネットワーク登録率については、既に地域において顔の見える関係性が構築されているため、要支援者名簿を必要としない地域もあることで全体比40%台となっているが、地域が一体となり地域の実情に合わせた避難支援体制づくりを推進するため、名簿の活用を含めた制度の理解・啓発を継続する必要がある。																																																																										
(単位：円)																																																																										
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																																																					
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																		
	1,078,000		1,051,037					1,051,037																																																																		

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第3章	地域資源を活かして元気産業を創造するまち	復興計画	()																																																																																																																																	
	1 項	社会福祉費		第2節	いきいきと働ける就業環境を創出する		()																																																																																																																																	
	1 目	社会福祉総務費		(1)	多様なニーズに対応した就業支援を推進する		()																																																																																																																																	
実施計画掲載ページ		P44	中 事 業	地域包括ケア推進事業費																																																																																																																																				
事業コード		003-002-001-01128	事 業 名	奨学金返還支援事業																																																																																																																																				
目的及び事業内容 地域包括ケアを推進していく上で必要となる医療・福祉・介護職の人材確保と定住促進を図るため、市が定める資格を有し、市内居住及び市内事業所で就労する者に対し、その者が自ら貸与された奨学金を返還した場合に、年額20万円を上限に最長3年間、助成金を交付する。 ※市が定める資格 看護師、保健師、助産師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士、保育士																																																																																																																																								
取組実績																																																																																																																																								
1 奨学金返還支援事業助成金の交付																																																																																																																																								
・交付実績																																																																																																																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>交付者数</th> <th>交付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>19人</td> <td>2,143,594円</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>55人</td> <td>6,712,155円</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>74人</td> <td>11,297,029円</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>99人</td> <td>13,225,364円</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>102人</td> <td>14,037,798円</td> </tr> </tbody> </table>									区分	交付者数	交付額	H28	19人	2,143,594円	H29	55人	6,712,155円	H30	74人	11,297,029円	R1	99人	13,225,364円	R2	102人	14,037,798円																																																																																																														
区分	交付者数	交付額																																																																																																																																						
H28	19人	2,143,594円																																																																																																																																						
H29	55人	6,712,155円																																																																																																																																						
H30	74人	11,297,029円																																																																																																																																						
R1	99人	13,225,364円																																																																																																																																						
R2	102人	14,037,798円																																																																																																																																						
・助成金交付者の保有資格内訳																																																																																																																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">資格</th> <th rowspan="2">H28</th> <th colspan="2">H29</th> <th colspan="2">H30</th> <th colspan="2">R1</th> <th colspan="2">R2</th> </tr> <tr> <th>新規</th> <th>継続</th> <th>新規</th> <th>継続</th> <th>新規</th> <th>継続</th> <th>新規</th> <th>継続</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護師</td> <td>12人</td> <td>15人</td> <td>11人</td> <td>9人</td> <td>21人</td> <td>5人</td> <td>24人</td> <td>7人</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>保健師</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>助産師</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>2人</td> <td>0人</td> <td>2人</td> <td>2人</td> <td>2人</td> <td>2人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>理学療法士</td> <td>1人</td> <td>6人</td> <td>1人</td> <td>4人</td> <td>7人</td> <td>13人</td> <td>10人</td> <td>7人</td> <td>21人</td> </tr> <tr> <td>作業療法士</td> <td>2人</td> <td>3人</td> <td>2人</td> <td>3人</td> <td>5人</td> <td>3人</td> <td>7人</td> <td>3人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>言語聴覚士</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>社会福祉士</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>2人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>介護福祉士</td> <td>2人</td> <td>1人</td> <td>2人</td> <td>2人</td> <td>2人</td> <td>3人</td> <td>3人</td> <td>0人</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>精神保健福祉士</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>保育士</td> <td>0人</td> <td>10人</td> <td>0人</td> <td>5人</td> <td>10人</td> <td>13人</td> <td>11人</td> <td>10人</td> <td>19人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>19人</td> <td>36人</td> <td>19人</td> <td>25人</td> <td>49人</td> <td>39人</td> <td>60人</td> <td>31人</td> <td>71人</td> </tr> </tbody> </table>									資格	H28	H29		H30		R1		R2		新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	看護師	12人	15人	11人	9人	21人	5人	24人	7人	16人	保健師	0人	0人	1人	0人	1人	0人	1人	0人	0人	助産師	0人	0人	2人	0人	2人	2人	2人	2人	4人	理学療法士	1人	6人	1人	4人	7人	13人	10人	7人	21人	作業療法士	2人	3人	2人	3人	5人	3人	7人	3人	5人	言語聴覚士	0人	1人	0人	0人	1人	0人	1人	0人	0人	社会福祉士	1人	0人	1人	0人	1人	0人	1人	2人	0人	介護福祉士	2人	1人	2人	2人	2人	3人	3人	0人	6人	精神保健福祉士	1人	0人	1人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	保育士	0人	10人	0人	5人	10人	13人	11人	10人	19人	合計	19人	36人	19人	25人	49人	39人	60人	31人	71人
資格	H28	H29		H30		R1		R2																																																																																																																																
		新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続																																																																																																																															
看護師	12人	15人	11人	9人	21人	5人	24人	7人	16人																																																																																																																															
保健師	0人	0人	1人	0人	1人	0人	1人	0人	0人																																																																																																																															
助産師	0人	0人	2人	0人	2人	2人	2人	2人	4人																																																																																																																															
理学療法士	1人	6人	1人	4人	7人	13人	10人	7人	21人																																																																																																																															
作業療法士	2人	3人	2人	3人	5人	3人	7人	3人	5人																																																																																																																															
言語聴覚士	0人	1人	0人	0人	1人	0人	1人	0人	0人																																																																																																																															
社会福祉士	1人	0人	1人	0人	1人	0人	1人	2人	0人																																																																																																																															
介護福祉士	2人	1人	2人	2人	2人	3人	3人	0人	6人																																																																																																																															
精神保健福祉士	1人	0人	1人	0人	1人	0人	0人	0人	0人																																																																																																																															
保育士	0人	10人	0人	5人	10人	13人	11人	10人	19人																																																																																																																															
合計	19人	36人	19人	25人	49人	39人	60人	31人	71人																																																																																																																															
2 事業の周知活動																																																																																																																																								
・市報、市ホームページ及び日本学生支援機構ホームページに掲載																																																																																																																																								
・関係団体への周知依頼とパンフレットの設置 (石巻市医師会及び桃生郡医師会、石巻市社会福祉協議会、ハローワーク石巻、各教育機関等61団体)																																																																																																																																								
成 果																																																																																																																																								
令和2年度の新規助成金交付者数は31人と前年度に比べ減少したものの、平成28年度からの新規助成金交付者数は150人となり、医療・福祉・介護職の人材の確保が図られた。																																																																																																																																								
成果に係る評価																																																																																																																																								
制度創設から5年が経過し、市内事業所による本制度を活用した採用活動や関係機関への広報活動により制度の周知が進んだものの、新規助成金交付者数は前年度と比較すると減少した。また、全国的な医療・福祉・介護の分野における専門職の人材不足の状況の中、制度創設時の目標である180人の人材確保に向け今後も積極的な周知を実施していく必要がある。																																																																																																																																								
(単位：円)																																																																																																																																								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																																																																																																																			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																																																
	14,684,000		14,037,798					14,000,000 37,798																																																																																																																																

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																	
	1 項	社会福祉費		第2節	生涯を通じて元気で健康な暮らしが実現できるようにする		()																																	
	1 目	社会福祉総務費		(1)	一人ひとりの健康づくりを推進する		()																																	
実施計画掲載ページ		P 76	中 事 業		地域包括ケア推進事業費																																			
事業コード		004-002-001-01063	事 業 名		共生型地域包括ケアサービス事業																																			
目的及び事業内容		<p>牡鹿地区において、高齢者のみならず、障がい者や子ども等も対象とした「共生型」の通所サービスを提供し、保健・福祉を必要とする人たちの居場所の確保と見守り等を行いながら、利用者の生活の質の向上、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上を図る。</p>																																						
取組実績		<p>1 実施場所 牡鹿保健福祉センター「清優館」</p> <p>2 実施回数 年間40回</p> <p>3 利用登録者数 43人（男 10人・女 33人） ※うち、障がい者は、男 7人・女 9人</p> <p>4 利用延べ人数 372人（男 34人・女 338人）</p> <p>5 サービス実施内容 (1) 生活や健康に関する相談・指導等 (2) 健康状態の確認（血圧測定、脈拍測定等） (3) 日常動作訓練（健康体操、転倒防止体操等） (4) 教養講座・制作活動・その他レクリエーション等 (5) 利用者の送迎 (6) 昼食サービスほか</p>																																						
成 果		<p>新型コロナウイルス感染症の影響により事業を休止した期間があったため、利用実績は昨年度より減少した。事業再開後は制作活動やレクリエーションを行うなど利用者相互の交流が見られ、心身機能の維持向上等が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">実施回数</th> <th colspan="2">利用延べ人数</th> <th rowspan="2">達成率</th> </tr> <tr> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>60回</td> <td>600人</td> <td>598人</td> <td>99.7%</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>60回</td> <td>600人</td> <td>552人</td> <td>92.0%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>60回</td> <td>600人</td> <td>543人</td> <td>90.5%</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>55回</td> <td>600人</td> <td>725人</td> <td>120.8%</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>40回</td> <td>600人</td> <td>372人</td> <td>62.0%</td> </tr> </tbody> </table>							区分	実施回数	利用延べ人数		達成率	目標	実績	H28	60回	600人	598人	99.7%	H29	60回	600人	552人	92.0%	H30	60回	600人	543人	90.5%	R1	55回	600人	725人	120.8%	R2	40回	600人	372人	62.0%
区分	実施回数	利用延べ人数		達成率																																				
		目標	実績																																					
H28	60回	600人	598人	99.7%																																				
H29	60回	600人	552人	92.0%																																				
H30	60回	600人	543人	90.5%																																				
R1	55回	600人	725人	120.8%																																				
R2	40回	600人	372人	62.0%																																				
成果に係る評価		<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、4月は事業を中止し、5月、6月は代替事業として電話や自宅訪問による声かけ安否確認を実施した。そのため利用実績は目標を下回ったが、共生型サービスとして定着してきており、利用者の生きがいづくりや介護予防の点からも有用な事業であると言える。今後は地域包括ケアの観点から、地域住民が主体的に事業を実施していけるように支援を行っていく。</p>																																						
(単位：円)																																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																		
	3,564,000	3,564,000			3,564,000																																			

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																									
	1 項	社会福祉費		第1節	お互いに支えあい生活で きる仕組みを構築する		()																									
	1 目	社会福祉総務費		(1)	みんなで支えあう地域 づくりを推進する		()																									
実施計画掲載ページ		P 65	中 事 業		地域包括ケア推進事業費																											
事業コード		004-001-001-01064	事 業 名		買物支援対策事業																											
目的及び事業内容		<p>高齢化や身近な店舗の閉鎖等により買物弱者が多数存在する離島部において、買物支援対策事業を実施する住民団体等に対し、事業に要する経費の一部を助成することにより、買物困難地域における買物の利便性の向上を図る。</p>																														
取組実績		<p>1 実施事業 離島部において、日常生活に必要な物資の一括購入、買物の場の提供、無料配達等を実施する団体に対し、物資輸送費（船賃）の一部経費を助成金として交付した。</p> <p>2 買物支援対策助成金の交付</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>申請件数</th> <th>交付件数</th> <th>交付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>265,530円</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>274,600円</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>271,310円</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>283,210円</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>150,000円</td> </tr> </tbody> </table>							区分	申請件数	交付件数	交付額	H28	1件	1件	265,530円	H29	1件	1件	274,600円	H30	1件	1件	271,310円	R1	1件	1件	283,210円	R2	1件	1件	150,000円
区分	申請件数	交付件数	交付額																													
H28	1件	1件	265,530円																													
H29	1件	1件	274,600円																													
H30	1件	1件	271,310円																													
R1	1件	1件	283,210円																													
R2	1件	1件	150,000円																													
成 果		<p>助成金を交付することで、地域包括ケアの中でも重要な役割である「支えあい（互助）」の意識醸成と買物困難地域における買物の利便性の向上が図られたほか、助成先の長渡婦人会内では、事業継続に意欲を持つ後継者が育ち、世代間の交流促進にも成果が現れている。</p>																														
成果に係る評価		<p>買物困難地域における地域住民の取組を支援するため、地域の実情を踏まえた検討を行っていく。</p>																														
(単位：円)																																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																										
	150,000	150,000				150,000																										

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()	
	1 項	社会福祉費		第1節	お互いに支えあい生活できる仕組みを構築する		()	
	1 目	社会福祉総務費		(1)	みんなで支えあう地域づくりを推進する		()	
実施計画掲載ページ		P 65	中 事 業	包括的支援体制構築事業費				
事業コード	004-001-001-01359	事 業 名	多機関の協働による包括的支援体制構築事業					
目的及び事業内容		「福祉まるごと相談窓口」の設置により、複合的な課題を抱える困難ケース等の解消並びに「たらい回し」といった事態が生じないよう、包括的に受け止める総合的な支援体制の構築を図る。						
取 組 実 績		<p>1 「福祉まるごと相談窓口」の移設（令和2年6月1日、ささえあいセンター内）と夜間・休日相談開始 相談件数：192件（うち継続相談支援件数78件） 相談方法：電話78件、来所108件、訪問（アウトリーチ）6件 相談経路：本人84件、家族29件、親族13件、他 相談内容（延べ）：収入・生活費のこと79件、病気や健康、障害のこと78件、他 継続相談対応回数（延べ）：3,489回（電話2,204回、訪問962回、来所323回） 終結件数：必要な支援への繋ぎ35件 夜間相談（毎週木曜日17:00～19:00）：6件 休日相談（第3日曜日9:00～13:00）：4件</p> <p>2 6総合支所に「福祉まるごと相談窓口」を開設（令和2年10月1日から） 相談件数：5件（うち継続相談支援件数2件）</p> <p>3 相談支援包括化推進会議 (1) ネットワーク会議：4回（うち1回は、NPO等の民間団体参集） 参加者54名 (2) 個別検討会議：25回（随時） 参加者152名</p>						
成 果		<p>1 相談者に対する支援 (1) 多機関での協働支援 ・住まいの問題について住宅課と相談し、民間シェルターへのつながりを行い、住まいの確保につながった。 ・自宅環境の衛生改善に向けて、環境課や地域住民の協力をきっかけに見守りにつながった。 ・家計状況の相談では保護課、まもり一ぶ、（公財）共生地域創造財団等による支援へつなげたことで、光熱水費や食費を確保し生活の安定が確保された。 ・債務について、市民相談センター等と連携し、消費生活相談や弁護士との無料法律相談へつなげたことで、生活の立て直しができた。 ・経済苦があり受診できないだったが、保護課や病院の調整等により、治療を受けることができた。</p> <p>(2) 断らない相談と伴走支援 ・相談者から、どこに相談したら良いかわからなかったが「相談窓口が分かった」との声が寄せられた。 ・長期間のひきこもり傾向のケースでは、定期的なアウトリーチ（訪問）で見守り、介入のタイミングをはかり、必要な支援につながった。</p> <p>2 ネットワークの構築 関係課や民間団体との会議を行い、複合的な相談に対してチームアプローチを行うことの共通認識が図られた。また、民間との情報共有を行い、協力支援が得られた。個別検討会議では、各々の役割分担を行いチームアプローチが進んだ。</p>						
成果に係る評価		相談者に対する支援は、相談受理から支援プランの作成や個別の会議を行うことで、関係課につながるなどの出口支援が図られている。 ネットワーク構築については、包括的に受け止める必要性の認識はあるが、関係機関との合意形成や行動化に向け、引き続き働きかけが必要である。 相談の終結件数が前年度10件に対し今年度は35件であり、着実に成果は上がっていると思われる。						
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源		
	10,633,000	10,433,256	7,758,000			2,675,256		

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()	
	1 項	社会福祉費		第1節	お互いに支えあい生活できる仕組みを構築する		()	
	1 目	社会福祉総務費		(1)	みんなで支えあう地域づくりを推進する		()	
実施計画掲載ページ		P 65	中 事 業	包括的支援体制構築事業費				
事業コード	004-001-001-01360	事 業 名	地域力強化推進事業					
目的及び事業内容		地域共生社会の実現に向けた地域福祉の推進を図るため、住民に身近な地域において、地域住民等が主体的に地域の生活課題を把握し解決を試みる事ができる環境の整備を行う。 また、身近な地域で行う見守り等の互助活動に対し助成金を交付することで、地域住民の主体的かつ持続的な活動を支援する。						
取 組 実 績		<p>1 多世代交流拠点設置による地域力強化推進事業 のぞみ野地区において、地域生活課題に関する相談を包括的に受け止める場の整備及び多世代交流拠点の設置を行い、拠点を核とした地域の課題解決に向けた話し合いや交流会等を月1回実施した。 実施内容 ・地域住民による支え合いの促進 ・関係機関と連携した包括的多世代の場づくり ・関係機関のつながりの課題の把握</p> <p>2 課題解決サポート（コミュニティ・カーシェアリング）事業 高齢者等の移動手段の確保やコミュニティ形成を目的とし、地域におけるコミュニティ・カーシェアリング活動団体の設立を支援した。 実施地区 田道町二丁目（※令和3年1月感染症拡大により中断）</p> <p>3 地域互助活動促進事業助成金 高齢者、障害者、子ども、生活困窮者等を対象として、市民主体の団体が身近な地域において行う日常生活上の助け合い活動に対し助成金を交付することで、地域住民の主体かつ持続的な活動の支援を実施した。 交付内訳 ・見守り・声がけ支援 2件 120,000円 ・送迎支援+見守り・声がけ支援 9件 1,606,000円</p> <p>4 「地域の支え合いを考える市民講座」の開催 住民同士のささえあい活動の推進、地域住民主体による積極的な地域づくりを推進することを目的に河北地区において実施した。 開催日 令和3年2月27日 参加者 市民、福祉関係者等 25人</p>						
成 果		<p>1 コロナ禍により、回覧板の減少や引きこもりなどで孤立感が増加している中で、多世代サロンの立ち上げが進み、集会所を運営する民間団体との協力体制によりサロンを継続することができた。 また、住民同士顔の見える場・情報交換の場・認知症や介護を予防する場づくりができた。</p> <p>2 8月から町内会への説明を始め、アンケート結果から、コミュニティ・カーシェアリングを利用したい方が多かったため設立へ向け支援を行っていたが、感染症の拡大により活動を不安視する声があり中断となった。しかしながら、町内会に対しては事業の必要性と理解が図られた。</p> <p>3 助成金の交付を機会に地域の見守り活動を行う団体を新たに立ち上げた地区もあり、地域で支え合う体制づくりの推進が図られた。</p> <p>4 地域の支え合いを考える市民講座では、「傾聴を身に着ける」と題して講和と実技講習を行った。参加者からは、「今後の地域活動に生かしていきたい」、「地域のつながりはお互いの信頼関係が大事だと感じた」等の感想があり、安心して暮らせる地域共生社会の実現に向けた地域福祉の推進を図ることができた。</p>						
成果に係る評価		各事業を通じて、身近な地域における生活課題の把握及び解決に向けた体制づくりの構築を図ることができた。 今後も地域包括ケアシステムの推進に向けて、共に支え合う地域づくりの強化について住民や関係機関と共に積極的な取組を行っていく必要がある。						
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源		
	3,343,000	2,627,023	1,970,000			657,023		

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																	
	1 項	社会福祉費		第5節	自立し、いきいき暮らせる障がい者福祉の充実を図る		()																	
	3 目	障害者福祉費		(2)	暮らしやすい生活環境を構築する		()																	
実施計画掲載ページ		P102	中 事 業		障害者福祉費																			
事業コード		004-005-002-00107	事 業 名		障害者援護事業																			
目的及び事業内容		障害者の自立と更生のため、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付事務等、各種事業を実施し、障害者の援護及び社会参加の促進を図る。																						
取組実績		<p>1 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳交付事務 各種手帳の交付状況（所持者数） ※各年度3月31日現在</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>身体障害者手帳</th> <th>療育手帳</th> <th>精神障害者手帳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>5,966人</td> <td>1,319人</td> <td>957人</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>5,922人</td> <td>1,155人</td> <td>1,024人</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>5,794人</td> <td>1,379人</td> <td>1,004人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 身体障害者相談員設置事業 身体障害者相談員10名を委嘱 相談件数29件</p> <p>3 在宅障害者等社会参加促進助成券の交付（タクシー券・自動車燃料券） 在宅障害者等の移動を支援し、社会参加の促進に努めた。 令和2年度実績：交付件数 2,778人、助成総額 39,813,500円</p> <p>4 知的障害者グループホーム体験ステイ事業 令和2年度 実績なし</p> <p>5 在宅酸素療法者酸素濃縮器利用助成事業 居宅において酸素濃縮器等の使用に要する電気料について、助成金を交付した。 令和2年度実績：計 102人、助成総額 2,010,000 円</p> <p>6 難聴児補聴器助成事業 身体障害者手帳交付対象外の軽中等度難聴児に対し、補聴器の購入・修理費用の一部を助成した。 令和2年度実績：計 5件、助成総額 393,814円</p> <p>7 重症心身障害児者短期入所利用支援助成事業 市外の短期入所施設を利用した際の移動に係る燃料費相当額等を助成した。 令和2年度実績：計 7件（利用者 2人）、助成総額 67,340円</p> <p>8 小児慢性特定疾患児日常生活用具給付事業 令和2年度 実績なし</p>							年度	身体障害者手帳	療育手帳	精神障害者手帳	H30	5,966人	1,319人	957人	R1	5,922人	1,155人	1,024人	R2	5,794人	1,379人	1,004人
年度	身体障害者手帳	療育手帳	精神障害者手帳																					
H30	5,966人	1,319人	957人																					
R1	5,922人	1,155人	1,024人																					
R2	5,794人	1,379人	1,004人																					
成 果		各種事業の実施により、障害者の社会参加の促進や自立更生に向けた支援が図られた。																						
成果に係る評価		身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の所持者数は横ばいとなっているが、今後も障害者が各種福祉サービスが利用できるよう、制度の周知に努めるとともに、障害福祉の向上に取り組んでいく必要がある。																						
(単位：円)																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																		
	61,525,000	57,165,071	664,000			56,501,071																		

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																											
	1 項	社会福祉費		第5節	自立し、いきいき暮らせる障がい者福祉の充実を図る		()																																											
	4 目	障害者自立支援費		(2)	暮らしやすい生活環境を構築する		()																																											
実施計画掲載ページ		P102	中 事 業		自立支援給付費																																													
事業コード		004-005-002-00108	事 業 名		障害者自立支援給付事業																																													
目的及び事業内容		障害者及び障害児がその有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障害福祉サービスに係る給付を行い、もって障害者及び障害児の福祉の増進を図るとともに、障害の有無にかかわらず地域住民が相互に人格と個性を尊重し、安心して暮らすことのできる地域社会の実現に寄与する。																																																
取組実績		<p>1 障害福祉サービス給付費 (1)介護給付(ホームヘルプ、行動援護、療養介護、生活介護、短期入所、施設入所支援等) (2)訓練等給付(自立訓練、就労移行支援、就労継続支援、就労定着支援、グループホーム)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分 類</th> <th>事業所数</th> <th>実利用者</th> <th>延べ利用量</th> <th>給付費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>居宅介護サービス等</td> <td>33か所</td> <td>282人</td> <td>54,809 h</td> <td>235,194,307円</td> </tr> <tr> <td>日中活動系サービス等・居住系</td> <td>219か所</td> <td>1,498人</td> <td>325,313日</td> <td>2,178,304,949円</td> </tr> <tr> <td>サービス計画作成費</td> <td>36か所</td> <td>1,062人</td> <td>3,135件</td> <td>45,453,490円</td> </tr> <tr> <td>特定障害者・高額等給付費</td> <td>76か所</td> <td>360人</td> <td>4,103件</td> <td>40,868,917円</td> </tr> <tr> <td colspan="4">計</td> <td>2,499,821,663円</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 補装具給付(身体障害者、障害児に対する補装具給付) 身体障害者及び身体障害児の機能障害を補い、日常生活を容易にするため、補聴器、義肢、装具、車イス等の厚生労働大臣が定めた補装具の交付及び修理に係る給付を行った。 ・給付件数：257件、給付実績額：30,417,144円</p> <p>3 自立支援医療給付(更生医療給付、育成医療給付、療養介護医療給付) 身体障害者及び障害児、精神疾患を有する者に対し、障害の進行を防ぐための治療に要する医療費の一部を支給した。また、療養介護入所施設の障害者に対し、療養介護医療費を支給した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>医療名称</th> <th>対象者</th> <th>公費負担額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>更生医療</td> <td>439人</td> <td>225,016,699円</td> </tr> <tr> <td>育成医療</td> <td>12人</td> <td>285,974円</td> </tr> <tr> <td>療養介護医療</td> <td>29人</td> <td>28,246,246円</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 医療型短期入所事業(H30年1月事業開始) 延べ利用人数 3人 サービス登録事業所である石巻市立病院と連携し、空床確保に努めた。</p>							分 類	事業所数	実利用者	延べ利用量	給付費	居宅介護サービス等	33か所	282人	54,809 h	235,194,307円	日中活動系サービス等・居住系	219か所	1,498人	325,313日	2,178,304,949円	サービス計画作成費	36か所	1,062人	3,135件	45,453,490円	特定障害者・高額等給付費	76か所	360人	4,103件	40,868,917円	計				2,499,821,663円	医療名称	対象者	公費負担額	更生医療	439人	225,016,699円	育成医療	12人	285,974円	療養介護医療	29人	28,246,246円
分 類	事業所数	実利用者	延べ利用量	給付費																																														
居宅介護サービス等	33か所	282人	54,809 h	235,194,307円																																														
日中活動系サービス等・居住系	219か所	1,498人	325,313日	2,178,304,949円																																														
サービス計画作成費	36か所	1,062人	3,135件	45,453,490円																																														
特定障害者・高額等給付費	76か所	360人	4,103件	40,868,917円																																														
計				2,499,821,663円																																														
医療名称	対象者	公費負担額																																																
更生医療	439人	225,016,699円																																																
育成医療	12人	285,974円																																																
療養介護医療	29人	28,246,246円																																																
成 果		障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づき、障害者、障害児及び難病等対象者が能力・適性に応じ、自立した生活を営むことができるよう、必要な障害福祉サービス等に係る給付、その他の支援を行うことにより、福祉の増進が図られた。																																																
成果に係る評価		障害のある人が、在宅・施設で安定した日常生活を営むために必要な支援を行うことにより、自ら行動する機会の提供に繋がった。 今後も、様々な障害の状況に応じた、より効果的なサービスを提供することで、障害者自立支援の質的、量的な充実にも努める必要がある。																																																
(単位：円)																																																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																												
	2,877,695,000	2,788,511,122	2,058,833,871		302,500	729,374,751																																												

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																	
	1 項	社会福祉費		第5節	自立し、いきいき暮らせる障がい者福祉の充実を図る		()																	
	5 目	地域生活支援事業費		(2)	暮らしやすい生活環境を構築する		()																	
実施計画掲載ページ		P103	中 事 業		相談支援事業費																			
事業コード		004-005-002-00110	事 業 名		相談支援事業																			
目的及び事業内容		障害者支援専門の相談窓口を設置し、障害者及び障害者の介護を行う者並びに障害児の保護者などからの相談に応じ、必要な情報の提供等の便宜を供与することや、権利擁護のために必要な援助を行う。																						
取組実績	1 障害者相談支援事業 障害者等の相談に応じ、情報提供や福祉サービスの利用援助等必要な支援を行った。 相談内容：福祉サービス利用、健康、医療、家計、家族関係、就労 等																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>委託先</th> <th>相談件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>3か所</td> <td>18,481件</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>4か所</td> <td>22,560件</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>4か所</td> <td>22,348件</td> </tr> </tbody> </table>								年度	委託先	相談件数	H30	3か所	18,481件	R1	4か所	22,560件	R2	4か所	22,348件				
	年度	委託先	相談件数																					
	H30	3か所	18,481件																					
R1	4か所	22,560件																						
R2	4か所	22,348件																						
2 精神障害者コミュニティサロン運営事業 創作活動、レクリエーション等の各種活動及び専任指導員による生活相談、生活指導を行い、精神障害者の社会復帰や自立に向けた支援を行った。																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用決定者数</th> <th>延利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>66人</td> <td>2,322人</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>59人</td> <td>1,832人</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>61人</td> <td>1,740人</td> </tr> </tbody> </table>								年度	利用決定者数	延利用者数	H30	66人	2,322人	R1	59人	1,832人	R2	61人	1,740人					
年度	利用決定者数	延利用者数																						
H30	66人	2,322人																						
R1	59人	1,832人																						
R2	61人	1,740人																						
成果	3 基幹相談支援センター運営事業 地域における相談支援の中核的な役割を担う機関として「基幹相談支援センター」を平成26年4月から設置（委託）し、障害者等からの様々な相談に応じるほか、地域の相談支援事業所間の連絡調整、関係機関との連携支援等の業務を行った。																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>人員体制</th> <th>自立支援協議会・研修会等の開催</th> <th>相談件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>6人</td> <td>66回</td> <td>7,560件</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>6人</td> <td>80回</td> <td>3,551件</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>5人</td> <td>72回</td> <td>3,077件</td> </tr> </tbody> </table>								年度	人員体制	自立支援協議会・研修会等の開催	相談件数	H30	6人	66回	7,560件	R1	6人	80回	3,551件	R2	5人	72回	3,077件
	年度	人員体制	自立支援協議会・研修会等の開催	相談件数																				
H30	6人	66回	7,560件																					
R1	6人	80回	3,551件																					
R2	5人	72回	3,077件																					
毎月の相談支援定例会や自立支援協議会相談支援部会での事例検討会及び学習会を通して、相談支援専門員の質の向上及び相談支援事業所間の連携が図られた。 また、コミュニティサロンを利用することにより、引きこもりがちな精神障害者の社会参加の促進が図られた。																								
成果に係る評価		相談支援事業は、障害者総合支援法に基づく地域支援事業の必須事業であり、障害のある人が地域で暮らしていくために必要な支援やサービスの提供を適切に受けられるよう、今後とも相談支援体制の充実を図っていく必要がある。																						
(単位：円)																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																		
	108,528,000	103,667,240	25,656,163				78,011,077																	

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																	
	1 項	社会福祉費		第5節	自立し、いきいき暮らせる障がい者福祉の充実を図る		()																																	
	5 目	地域生活支援事業費		(2)	暮らしやすい生活環境を構築する		()																																	
実施計画掲載ページ		P103	中 事 業		生活支援事業費																																			
事業コード		004-005-002-00112	事 業 名		日常生活用具給付等事業																																			
目的及び事業内容		日常生活用具給付事業として、日常生活上の便宜を図るため、重度障害者等（身体、知的、精神障害児者又は難病患者）に対し日常生活用具（介護・訓練支援用具、自立生活支援用具、在宅療養等支援用具、情報・意思疎通支援用具、排泄管理支援用具、住宅改修費）を給付する。																																						
取組実績	日常生活用具の給付件数																																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 介護・訓練支援用具 (特殊寝台、特殊ベッド、特殊マット等)</td> <td>21件 (0件)</td> <td>17件 (6件)</td> <td>5件 (1件)</td> </tr> <tr> <td>2 自立生活支援用具 (入浴補助用具、移動移乗支援用具等)</td> <td>26件 (0件)</td> <td>17件 (3件)</td> <td>14件 (0件)</td> </tr> <tr> <td>3 在宅療養等支援用具 (透析加温器、ネプライザー等)</td> <td>36件 (7件)</td> <td>41件 (2件)</td> <td>45件 (3件)</td> </tr> <tr> <td>4 情報・意思疎通支援用具 (情報・通信支援用具、点字器、人工喉頭等)</td> <td>87件 (1件)</td> <td>67件 (0件)</td> <td>88件 (1件)</td> </tr> <tr> <td>5 排泄管理支援用具 (ストーマ(蓄便・蓄尿)、紙オムツ等)</td> <td>3,685件 (210件)</td> <td>3,734件 (220件)</td> <td>3,830件 (235件)</td> </tr> <tr> <td>6 住宅改修</td> <td>7件 (1件)</td> <td>7件 (1件)</td> <td>1件 (0件)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,862件 (219件)</td> <td>3,883件 (232件)</td> <td>3,983件 (240件)</td> </tr> </tbody> </table>								区 分	H30	R1	R2	1 介護・訓練支援用具 (特殊寝台、特殊ベッド、特殊マット等)	21件 (0件)	17件 (6件)	5件 (1件)	2 自立生活支援用具 (入浴補助用具、移動移乗支援用具等)	26件 (0件)	17件 (3件)	14件 (0件)	3 在宅療養等支援用具 (透析加温器、ネプライザー等)	36件 (7件)	41件 (2件)	45件 (3件)	4 情報・意思疎通支援用具 (情報・通信支援用具、点字器、人工喉頭等)	87件 (1件)	67件 (0件)	88件 (1件)	5 排泄管理支援用具 (ストーマ(蓄便・蓄尿)、紙オムツ等)	3,685件 (210件)	3,734件 (220件)	3,830件 (235件)	6 住宅改修	7件 (1件)	7件 (1件)	1件 (0件)	計	3,862件 (219件)	3,883件 (232件)	3,983件 (240件)
	区 分	H30	R1	R2																																				
	1 介護・訓練支援用具 (特殊寝台、特殊ベッド、特殊マット等)	21件 (0件)	17件 (6件)	5件 (1件)																																				
2 自立生活支援用具 (入浴補助用具、移動移乗支援用具等)	26件 (0件)	17件 (3件)	14件 (0件)																																					
3 在宅療養等支援用具 (透析加温器、ネプライザー等)	36件 (7件)	41件 (2件)	45件 (3件)																																					
4 情報・意思疎通支援用具 (情報・通信支援用具、点字器、人工喉頭等)	87件 (1件)	67件 (0件)	88件 (1件)																																					
5 排泄管理支援用具 (ストーマ(蓄便・蓄尿)、紙オムツ等)	3,685件 (210件)	3,734件 (220件)	3,830件 (235件)																																					
6 住宅改修	7件 (1件)	7件 (1件)	1件 (0件)																																					
計	3,862件 (219件)	3,883件 (232件)	3,983件 (240件)																																					
※()内は児童分の再掲																																								
成果		日常生活を送るうえで必要な日常生活用具（介護・訓練支援用具、自立生活支援用具、在宅療養等支援用具、情報・意思疎通支援用具、排泄管理支援用具、住宅改修費等）の給付を行ったことで、重度障害者等の自立の支援が図られた。																																						
成果に係る評価		日常生活用具給付事業は、障害者総合支援法に基づく地域支援事業の必須事業であることから、重度障害者等の日常生活における自立を支援するとともに、時代の変化やニーズ等を的確に把握しながら、事業を進める必要がある。																																						
(単位：円)																																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																		
	44,500,000	41,089,540	18,151,305				22,938,235																																	

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																	
	1 項	社会福祉費		第5節	自立し、いきいき暮らせる障がい者福祉の充実を図る		()																	
	5 目	地域生活支援事業費		(4)	「だれもが暮らしやすい」まちづくりを推進する		()																	
実施計画掲載ページ		P106	中 事 業		生活支援事業費																			
事業コード		004-005-004-00113	事 業 名		障害者移動支援事業																			
目的及び事業内容		屋外での移動が困難な障害者及び障害児について、外出のための支援を行うことにより、障害者等の地域での自立生活及び社会参加を促進する。移動支援事業の内容は、社会生活上必要不可欠な外出及び余暇活動等の社会参加のための外出（原則として1日の範囲内で用務を終えるものに限る。）に対し行う個別移動支援及びグループ移動支援としている。																						
取組実績		<p>1 個別移動支援 個別に支援が必要な障害者等の外出に対し、ホームヘルパーを派遣し、移動の支援を行った。</p> <p>2 グループ移動支援 複数の障害者等のグループの外出に対し、ヘルパーを派遣し、移動の支援を行った。</p> <p><移動支援の実績件数></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>提供事業所数</th> <th>サービス実利用人数</th> <th>利用実績（時間数）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>19か所</td> <td>141人（0人）</td> <td>5,558時間（0時間）</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>15か所</td> <td>147人（0人）</td> <td>5,741時間（0時間）</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>16か所</td> <td>144人（1人）</td> <td>5,230時間（24時間）</td> </tr> </tbody> </table> <p>※（ ）内は児童分の再掲</p>							年度	提供事業所数	サービス実利用人数	利用実績（時間数）	H30	19か所	141人（0人）	5,558時間（0時間）	R1	15か所	147人（0人）	5,741時間（0時間）	R2	16か所	144人（1人）	5,230時間（24時間）
年度	提供事業所数	サービス実利用人数	利用実績（時間数）																					
H30	19か所	141人（0人）	5,558時間（0時間）																					
R1	15か所	147人（0人）	5,741時間（0時間）																					
R2	16か所	144人（1人）	5,230時間（24時間）																					
成 果		外出や社会参加のため、自力での移動が困難な障害者及び障害児の個々のニーズに応じ、必要な移動支援によるサービスを提供できた。また、障害者及び障害児の自立生活への支援が図られたことで、保護者の負担軽減等にも繋がった。																						
成果に係る評価		サービス利用人数は横ばいであるが、新型コロナウイルス感染症の影響と思われる利用時間の減少が見られた。 今後は、社会情勢を見据え、障害者等の地域における自立支援など社会参加を安定的に促進するため、サービス提供体制を十分に確保できるよう努める必要がある。																						
（単位：円）																								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																			
					国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																
	15,294,570		15,294,570		6,756,376			8,538,194																

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																	
	1 項	社会福祉費		第5節	自立し、いきいき暮らせる障がい者福祉の充実を図る		()																	
	5 目	地域生活支援事業費		(2)	暮らしやすい生活環境を構築する		()																	
実施計画掲載ページ		P104	中 事 業		生活支援事業費																			
事業コード		004-005-002-00114	事 業 名		地域活動支援センター事業																			
目的及び事業内容		地域活動支援センターの利用給付を行い、地域の実情に応じ、障害者等の通所による創作的活動又は生産活動の機会の提供、社会との交流を促進することにより障害者等の自立の促進と社会参加の促進を図る。																						
取組実績		<p>1 基礎的事業 通所による創作的活動、生産活動及び社会との交流機会を提供した。</p> <p>2 機能強化事業 地域において、雇用・就労が困難な在宅障害者に対し、機能訓練や社会適応訓練などを実施した。</p> <p>3 送迎支援 自宅から事業所までの送迎に係る支援を実施した。</p> <p>4 利用実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>サービス提供事業所数</th> <th>実利用者数</th> <th>延利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>6か所</td> <td>36人</td> <td>407人</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>7か所</td> <td>41人</td> <td>396人</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>6か所</td> <td>44人</td> <td>362人</td> </tr> </tbody> </table>							年度	サービス提供事業所数	実利用者数	延利用者数	H30	6か所	36人	407人	R1	7か所	41人	396人	R2	6か所	44人	362人
年度	サービス提供事業所数	実利用者数	延利用者数																					
H30	6か所	36人	407人																					
R1	7か所	41人	396人																					
R2	6か所	44人	362人																					
成 果		障害者の日中活動の場として、創作活動や生産活動等を通じ、地域社会との交流が図られ、障害者の自立と社会参加を促進した。																						
成果に係る評価		実利用人数の増加に対し、新型コロナウイルス感染症の影響と思われる延利用人数の減少が見られた。 平常時から、障害の状況により、就労支援等のサービスの利用が困難な利用者も存在しており、社会参加の機会を確保するため今後も事業を継続する必要がある。																						
（単位：円）																								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																			
					国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																
	30,741,000		25,026,550		3,269,721			21,756,829																

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																																																	
	1 項	社会福祉費		第5節	自立し、いきいき暮らせる障がい者福祉の充実を図る		()																																																																	
	5 目	地域生活支援事業費		(2)	暮らしやすい生活環境を構築する		()																																																																	
実施計画掲載ページ		P104	中 事 業		生活支援事業費																																																																			
事業コード		004-005-002-00116	事 業 名		生活支援事業																																																																			
目的及び事業内容 地域の実情に沿った内容で、障害者が地域社会で自立した日常生活又は社会生活を営むために必要な訪問入浴サービス事業や日中一時支援事業等を推進し、障害者福祉の向上を図る。																																																																								
取組実績 1 声の市報発行…情報入手困難な視覚障害者に音声版（CD）の市報を配付した。 R2年度利用者：24人、委託額等：786,640円（委託先：石巻コミュニティ放送株式会社） 2 社会参加促進事業補助… R2年度は、新型コロナウイルスの影響により各団体の事業が中止となった。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>補助件数</th> <th>補助団体数</th> <th>補助額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>9件</td> <td>7団体</td> <td>524,095円</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>7件</td> <td>5団体</td> <td>384,990円</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>0件</td> <td>0団体</td> <td>0円</td> </tr> </tbody> </table> 3 障害者自動車改造・運転免許取得費助成金… 費用の一部を助成した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>助成件数（改造）</th> <th>助成件数（免許）</th> <th>助成額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>6件</td> <td>6件</td> <td>1,104,332円</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>4件</td> <td>4件</td> <td>754,666円</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>2件</td> <td>3件</td> <td>459,466円</td> </tr> </tbody> </table> 4 訪問入浴サービス事業… 訪問入浴に係る費用について給付を行った。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実利用者数</th> <th>利用回数</th> <th>給付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>27人</td> <td>1,455回</td> <td>17,948,068円</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>27人</td> <td>1,847回</td> <td>22,988,400円</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>28人</td> <td>2,025回</td> <td>25,086,800円</td> </tr> </tbody> </table> 5 日中一時支援事業… 日中の一時的預かりに係る費用について給付を行った。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実利用者数</th> <th>利用回数</th> <th>給付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>179人</td> <td>8,050回</td> <td>32,614,250円</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>173人</td> <td>8,613回</td> <td>32,338,342円</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>173人</td> <td>8,000回</td> <td>34,660,507円</td> </tr> </tbody> </table>									年度	補助件数	補助団体数	補助額	H30	9件	7団体	524,095円	R1	7件	5団体	384,990円	R2	0件	0団体	0円	年度	助成件数（改造）	助成件数（免許）	助成額	H30	6件	6件	1,104,332円	R1	4件	4件	754,666円	R2	2件	3件	459,466円	年度	実利用者数	利用回数	給付額	H30	27人	1,455回	17,948,068円	R1	27人	1,847回	22,988,400円	R2	28人	2,025回	25,086,800円	年度	実利用者数	利用回数	給付額	H30	179人	8,050回	32,614,250円	R1	173人	8,613回	32,338,342円	R2	173人	8,000回	34,660,507円
年度	補助件数	補助団体数	補助額																																																																					
H30	9件	7団体	524,095円																																																																					
R1	7件	5団体	384,990円																																																																					
R2	0件	0団体	0円																																																																					
年度	助成件数（改造）	助成件数（免許）	助成額																																																																					
H30	6件	6件	1,104,332円																																																																					
R1	4件	4件	754,666円																																																																					
R2	2件	3件	459,466円																																																																					
年度	実利用者数	利用回数	給付額																																																																					
H30	27人	1,455回	17,948,068円																																																																					
R1	27人	1,847回	22,988,400円																																																																					
R2	28人	2,025回	25,086,800円																																																																					
年度	実利用者数	利用回数	給付額																																																																					
H30	179人	8,050回	32,614,250円																																																																					
R1	173人	8,613回	32,338,342円																																																																					
R2	173人	8,000回	34,660,507円																																																																					
成 果		障害者が地域生活支援事業の各種サービスを利用することにより、日常生活の支援、障害者家族等の介護負担の軽減、社会参加の促進等が図られた。																																																																						
成果に係る評価		障害者等が自立した日常生活又は社会生活を営むための必要な事業であり、今後も障害者本人や家族のニーズに応じた適切な給付を行う必要がある。																																																																						
（単位：円）																																																																								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																																																			
					国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																																																
	61,666,773		61,048,031		26,740,870			34,307,161																																																																

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																
	1 項	社会福祉費		第5節	自立し、いきいき暮らせる障がい者福祉の充実を図る		()																
	5 目	地域生活支援事業費		(2)	暮らしやすい生活環境を構築する		()																
実施計画掲載ページ		P105	中 事 業		理解促進研修啓発・自発的活動推進事業費																		
事業コード		004-005-002-01214	事 業 名		理解促進研修啓発・自発的活動推進事業																		
目的及び事業内容 障害者等が日常生活及び社会生活を営む上で生じる「社会的障壁」を除去し、共生社会の実現を図るため、地域住民に対して、障害者等の理解を深めるための研修・啓発事業を行う。 また、障害者等が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう、障害者や地域住民等による地域における自発的な取組み（ピアサポート、災害対策、孤立防止活動、ボランティア活動等）を支援する。																							
取組実績 1 理解促進啓発研修事業 <table border="1"> <thead> <tr> <th>内 容</th> <th>日 程</th> <th>対象者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>障害者就労施設等販売会の開催（毎週水曜日） 場所／市役所1階</td> <td>11月～3月</td> <td>市民</td> </tr> <tr> <td>障害者週間イベント（自立支援協議会主催） 「障害者就労施設等販売会」「事業所紹介」等 場所／イトーヨーカドー石巻あけぼの店</td> <td>12/3～6</td> <td>市民</td> </tr> <tr> <td>障害者週間普及啓発 障害者週間、ヘルプマークの周知（市役所庁内放送）</td> <td>12/3～9</td> <td>市民、職員</td> </tr> <tr> <td>「きらりフォトスケッチ」展示（障害者団体主催）の開催支援 場所／ささえあいセンター2階</td> <td>11/30～12/10</td> <td>市民</td> </tr> </tbody> </table> 2 自発的活動支援事業 (1) 障害者等の自発的活動を行う団体等に対し、補助金を交付した。 令和2年度補助金交付件数：4件 交付金額：102,760円 (2) 活動内容 ・視覚障害者サポートセミナー ・ハンドベル練習会交流会 ・発達障害児（者）とその家族との交流会、相談会 ・発達障害に関する正しい知識普及と理解促進（ライト・イット・アップブルーin石巻）									内 容	日 程	対象者	障害者就労施設等販売会の開催（毎週水曜日） 場所／市役所1階	11月～3月	市民	障害者週間イベント（自立支援協議会主催） 「障害者就労施設等販売会」「事業所紹介」等 場所／イトーヨーカドー石巻あけぼの店	12/3～6	市民	障害者週間普及啓発 障害者週間、ヘルプマークの周知（市役所庁内放送）	12/3～9	市民、職員	「きらりフォトスケッチ」展示（障害者団体主催）の開催支援 場所／ささえあいセンター2階	11/30～12/10	市民
内 容	日 程	対象者																					
障害者就労施設等販売会の開催（毎週水曜日） 場所／市役所1階	11月～3月	市民																					
障害者週間イベント（自立支援協議会主催） 「障害者就労施設等販売会」「事業所紹介」等 場所／イトーヨーカドー石巻あけぼの店	12/3～6	市民																					
障害者週間普及啓発 障害者週間、ヘルプマークの周知（市役所庁内放送）	12/3～9	市民、職員																					
「きらりフォトスケッチ」展示（障害者団体主催）の開催支援 場所／ささえあいセンター2階	11/30～12/10	市民																					
成 果		令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、多人数での研修会等は実施できなかったが、新たな取組として市役所1階にて毎週「障害者就労施設等製品販売会」を実施したところ好評であり、事業所で働く障害者を通して障害に対する理解が広まっていると思われる。 また、自発的活動支援事業では、コロナ禍の中感染予防対策を講じながら活動を実施した団体に対し、補助金を交付することにより活動支援が図られた。																					
成果に係る評価		市民一人ひとりが障害や障害者について、正しい知識の普及と理解が深まるよう、啓発活動や各種事業を継続していくことが大切であり、今後も障害者やその家族、地域住民等による自発的な取組を支援し、共生社会の実現に努めていく必要がある。																					
（単位：円）																							
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																		
					国（県）支出金	地方債	その他	一般財源															
	330,000		185,608		52,489			133,119															

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																									
	1 項	社会福祉費		第5節	自立し、いきいき暮らせる障がい者福祉の充実を図る		()																																									
	6 目	特別障害者手当等措置費		(2)	暮らしやすい生活環境を構築する		()																																									
実施計画掲載ページ		P104	中 事 業	特別障害者手当等措置費																																												
事業コード		004-005-002-00117	事 業 名	特別障害者手当等措置事業																																												
目的及び事業内容		特別児童扶養手当等の支給に関する法律等に基づき、精神又は身体に著しく障害があるため、日常生活において常時特別の介護を必要とする者に、特別障害者手当及び障害児福祉手当を支給することにより、福祉の増進を図る。																																														
取組実績		<p>1 特別障害者手当 20歳以上で著しく重度の障害を有するため、日常生活において常時特別の介護を必要とする在宅の者に手当を支給した。</p> <p>2 障害児福祉手当 20歳未満で重度の障害を有するため、日常生活において常時の介護を必要とする在宅の者に手当を支給した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">特別障害者手当</td> <td>支給額</td> <td>41,265,090円</td> <td>43,099,060円</td> <td>43,937,550円</td> </tr> <tr> <td>支給者数</td> <td>128人</td> <td>139人</td> <td>138人</td> </tr> <tr> <td>手当月額</td> <td>26,940円</td> <td>27,200円</td> <td>27,350円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">障害児福祉手当</td> <td>支給額</td> <td>11,798,310円</td> <td>11,414,750円</td> <td>11,565,030円</td> </tr> <tr> <td>支給者数</td> <td>64人</td> <td>65人</td> <td>58人</td> </tr> <tr> <td>手当月額</td> <td>14,650円</td> <td>14,790円</td> <td>14,880円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">合 計</td> <td>支給額</td> <td>53,063,400円</td> <td>54,513,810円</td> <td>55,502,580円</td> </tr> <tr> <td>支給者数</td> <td>192人</td> <td>204人</td> <td>196人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※支給月：2月・5月・8月・11月</p>							区 分		H30	R1	R2	特別障害者手当	支給額	41,265,090円	43,099,060円	43,937,550円	支給者数	128人	139人	138人	手当月額	26,940円	27,200円	27,350円	障害児福祉手当	支給額	11,798,310円	11,414,750円	11,565,030円	支給者数	64人	65人	58人	手当月額	14,650円	14,790円	14,880円	合 計	支給額	53,063,400円	54,513,810円	55,502,580円	支給者数	192人	204人	196人
区 分		H30	R1	R2																																												
特別障害者手当	支給額	41,265,090円	43,099,060円	43,937,550円																																												
	支給者数	128人	139人	138人																																												
	手当月額	26,940円	27,200円	27,350円																																												
障害児福祉手当	支給額	11,798,310円	11,414,750円	11,565,030円																																												
	支給者数	64人	65人	58人																																												
	手当月額	14,650円	14,790円	14,880円																																												
合 計	支給額	53,063,400円	54,513,810円	55,502,580円																																												
	支給者数	192人	204人	196人																																												
成 果		市報、市ホームページへの制度掲載、また、障害者手帳交付時において、対象者に制度の説明を行ったことで、在宅で生活している重度障害者等への生活支援の一助として、経済的支援を図ることができた。																																														
成果に係る評価		重度障害者等の介護負担の軽減や経済的支援を図るためにも、事業の継続は必要である。また、在宅重度障害者等への相談支援を行っている関係機関・団体等への制度周知を徹底するとともに、適正な決定及び支給事務を行っていく必要がある。																																														
(単位：円)																																																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																										
	56,402,000	55,502,580	41,754,000			13,748,580																																										

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																																																				
	1 項	社会福祉費		第5節	自立し、いきいき暮らせる障がい者福祉の充実を図る		()																																																																				
	7 目	心身障害者医療対策費		(2)	暮らしやすい生活環境を構築する		()																																																																				
実施計画掲載ページ		P105	中 事 業	心身障害者医療助成費																																																																							
事業コード		004-005-002-00119	事 業 名	心身障害者医療対策事業																																																																							
目的及び事業内容		重・中度心身障害者の医療費を助成することにより、重・中度心身障害者の生活の安定を図る。助成対象者に係る医療費（入院時食事療養費を除く。）のうち医療保険各法に定める一部負担金（各法による公費負担額、高額療養費、附加給付額を控除した額）を対象者又はその保護者に助成する。中度心身障害者（特別児童扶養手当2級該当者）については、上記一部負担金の95%の額を助成する。																																																																									
取組実績		<p>重・中度心身障害者医療費助成の実施 重度心身障害者及び中度心身障害者の医療費の一部を助成した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">受給者数</td> <td>重度心身障害者</td> <td>3,143人</td> <td>3,145人</td> <td>3,108人</td> </tr> <tr> <td>中度心身障害者</td> <td>43人</td> <td>57人</td> <td>62人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,186人</td> <td>3,202人</td> <td>3,170人</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">対象者数</td> <td>重度心身障害者</td> <td>3,334人</td> <td>3,318人</td> <td>3,298人</td> </tr> <tr> <td>中度心身障害者</td> <td>125人</td> <td>141人</td> <td>155人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,459人</td> <td>3,459人</td> <td>3,453人</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">種別</td> <td rowspan="4">重度</td> <td>身体障害 1級</td> <td>1,972人</td> <td>1,905人</td> <td>1,881人</td> </tr> <tr> <td>身体障害 2級</td> <td>676人</td> <td>645人</td> <td>625人</td> </tr> <tr> <td>身体障害 3級</td> <td>262人</td> <td>253人</td> <td>267人</td> </tr> <tr> <td>療育A</td> <td>417人</td> <td>420人</td> <td>419人</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">中度</td> <td>特別児童 1級</td> <td>7人</td> <td>9人</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>精神障害 1級</td> <td>—</td> <td>86人</td> <td>99人</td> </tr> <tr> <td>特別児童 2級</td> <td>125人</td> <td>141人</td> <td>155人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">助成額</td> <td>306,734,395円</td> <td>313,732,007円</td> <td>311,247,100円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和元年10月から精神障害者保健福祉手帳1級所持者が適用</p>									H30	R1	R2	受給者数	重度心身障害者	3,143人	3,145人	3,108人	中度心身障害者	43人	57人	62人	計	3,186人	3,202人	3,170人	対象者数	重度心身障害者	3,334人	3,318人	3,298人	中度心身障害者	125人	141人	155人	計	3,459人	3,459人	3,453人	種別	重度	身体障害 1級	1,972人	1,905人	1,881人	身体障害 2級	676人	645人	625人	身体障害 3級	262人	253人	267人	療育A	417人	420人	419人	中度	特別児童 1級	7人	9人	7人	精神障害 1級	—	86人	99人	特別児童 2級	125人	141人	155人	助成額		306,734,395円	313,732,007円	311,247,100円
		H30	R1	R2																																																																							
受給者数	重度心身障害者	3,143人	3,145人	3,108人																																																																							
	中度心身障害者	43人	57人	62人																																																																							
	計	3,186人	3,202人	3,170人																																																																							
対象者数	重度心身障害者	3,334人	3,318人	3,298人																																																																							
	中度心身障害者	125人	141人	155人																																																																							
	計	3,459人	3,459人	3,453人																																																																							
種別	重度	身体障害 1級	1,972人	1,905人	1,881人																																																																						
		身体障害 2級	676人	645人	625人																																																																						
		身体障害 3級	262人	253人	267人																																																																						
		療育A	417人	420人	419人																																																																						
	中度	特別児童 1級	7人	9人	7人																																																																						
		精神障害 1級	—	86人	99人																																																																						
		特別児童 2級	125人	141人	155人																																																																						
助成額		306,734,395円	313,732,007円	311,247,100円																																																																							
成 果		重度心身障害者及び中度心身障害者に対し、医療費の負担軽減により積極的な医療機関の利用が可能となり、障害者福祉の増進が図られた。																																																																									
成果に係る評価		重度障害者等が安心して必要な医療を受けられるよう、今後も継続して事業を実施する必要がある。																																																																									
(単位：円)																																																																											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																								
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																					
	319,000,000	311,247,100	153,007,000			158,240,100																																																																					

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																																																																																													
	1 項	社会福祉費		第2節	生涯を通じて元気で健康な暮らしが実現できるようにする		()																																																																																																													
	8 目	子ども医療対策費		(1)	一人ひとりの健康づくりを推進する		()																																																																																																													
実施計画掲載ページ		P 75	中 事 業		子ども医療対策費																																																																																																															
事業コード		004-002-001-00074	事 業 名		子ども医療費助成事業																																																																																																															
目的及び事業内容		子どもに対する適正な医療の機会を確保し、子育てに伴う家庭の経済的負担の軽減を図ることを目的として、出生から中学3年生までの入院・通院に係る医療費の一部負担金を助成する。																																																																																																																		
取組実績		<p>・出生から中学3年生までの入院及び通院に係る医療費の一部負担金を助成した。 ・平成30年度から所得制限を撤廃しているが、依然として未申請者がいることから、市報、ホームページ及び各種子育て情報誌（子育てハンドブック等）による周知を行うとともに、未申請者への申請案内を送付した。</p> <p>【受給者内訳】（令和3年3月末現在）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>人数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象者数</td> <td>15,710人</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">受給者数</td> <td>県補助対象</td> <td>5,070人 32.27%</td> </tr> <tr> <td>独自拡大対象</td> <td>10,560人 67.22%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>15,630人</td> <td>99.49%</td> </tr> <tr> <td>未申請者数</td> <td>80人</td> <td>0.51%</td> </tr> </tbody> </table>							項目	人数	割合	対象者数	15,710人	-	受給者数	県補助対象	5,070人 32.27%	独自拡大対象	10,560人 67.22%	計	15,630人	99.49%	未申請者数	80人	0.51%																																																																																											
項目	人数	割合																																																																																																																		
対象者数	15,710人	-																																																																																																																		
受給者数	県補助対象	5,070人 32.27%																																																																																																																		
	独自拡大対象	10,560人 67.22%																																																																																																																		
計	15,630人	99.49%																																																																																																																		
未申請者数	80人	0.51%																																																																																																																		
成 果		<p>子育て世代の経済的負担の軽減が図られた。</p> <p>【一部負担金の助成状況】（助成額の単位：円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">受給者数</th> <th colspan="2">県補助対象</th> <th colspan="2">独自拡大対象</th> <th colspan="2">計</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>助成額</th> <th>件数</th> <th>助成額</th> <th>件数</th> <th>助成額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">H30</td> <td>国保</td> <td>2,598人</td> <td>15,639</td> <td>23,487,019</td> <td>18,171</td> <td>38,065,283</td> <td>33,810</td> <td>61,552,302</td> </tr> <tr> <td>社保</td> <td>13,956人</td> <td>99,340</td> <td>156,442,709</td> <td>121,703</td> <td>245,435,680</td> <td>221,043</td> <td>401,878,389</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>16,554人</td> <td>114,979</td> <td>179,929,728</td> <td>139,874</td> <td>283,500,963</td> <td>254,853</td> <td>463,430,691</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">R1</td> <td>国保</td> <td>2,411人</td> <td>13,552</td> <td>20,680,666</td> <td>17,974</td> <td>36,729,354</td> <td>31,526</td> <td>57,410,020</td> </tr> <tr> <td>社保</td> <td>13,753人</td> <td>96,175</td> <td>149,729,024</td> <td>129,685</td> <td>259,030,022</td> <td>225,860</td> <td>408,759,046</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>16,164人</td> <td>109,727</td> <td>170,409,690</td> <td>147,659</td> <td>295,759,376</td> <td>257,386</td> <td>466,169,066</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">R2</td> <td>国保</td> <td>2,248人</td> <td>8,719</td> <td>13,837,022</td> <td>13,583</td> <td>30,317,641</td> <td>22,302</td> <td>44,154,663</td> </tr> <tr> <td>社保</td> <td>13,382人</td> <td>66,917</td> <td>102,665,571</td> <td>97,593</td> <td>202,733,553</td> <td>164,510</td> <td>305,399,124</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>15,630人</td> <td>75,636</td> <td>116,502,593</td> <td>111,176</td> <td>233,051,194</td> <td>186,812</td> <td>349,553,787</td> </tr> </tbody> </table> <p>【未申請者割合】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">達成率</th> </tr> <tr> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>0.00%</td> <td>1.00%</td> <td>99.00%</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>0.00%</td> <td>0.55%</td> <td>99.45%</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>0.00%</td> <td>0.51%</td> <td>99.49%</td> </tr> </tbody> </table>							年度	区分	受給者数	県補助対象		独自拡大対象		計		件数	助成額	件数	助成額	件数	助成額	H30	国保	2,598人	15,639	23,487,019	18,171	38,065,283	33,810	61,552,302	社保	13,956人	99,340	156,442,709	121,703	245,435,680	221,043	401,878,389	計	16,554人	114,979	179,929,728	139,874	283,500,963	254,853	463,430,691	R1	国保	2,411人	13,552	20,680,666	17,974	36,729,354	31,526	57,410,020	社保	13,753人	96,175	149,729,024	129,685	259,030,022	225,860	408,759,046	計	16,164人	109,727	170,409,690	147,659	295,759,376	257,386	466,169,066	R2	国保	2,248人	8,719	13,837,022	13,583	30,317,641	22,302	44,154,663	社保	13,382人	66,917	102,665,571	97,593	202,733,553	164,510	305,399,124	計	15,630人	75,636	116,502,593	111,176	233,051,194	186,812	349,553,787	区分	成果指標		達成率	目標	実績	H30	0.00%	1.00%	99.00%	R1	0.00%	0.55%	99.45%	R2	0.00%	0.51%	99.49%
年度	区分	受給者数	県補助対象		独自拡大対象		計																																																																																																													
			件数	助成額	件数	助成額	件数	助成額																																																																																																												
H30	国保	2,598人	15,639	23,487,019	18,171	38,065,283	33,810	61,552,302																																																																																																												
	社保	13,956人	99,340	156,442,709	121,703	245,435,680	221,043	401,878,389																																																																																																												
	計	16,554人	114,979	179,929,728	139,874	283,500,963	254,853	463,430,691																																																																																																												
R1	国保	2,411人	13,552	20,680,666	17,974	36,729,354	31,526	57,410,020																																																																																																												
	社保	13,753人	96,175	149,729,024	129,685	259,030,022	225,860	408,759,046																																																																																																												
	計	16,164人	109,727	170,409,690	147,659	295,759,376	257,386	466,169,066																																																																																																												
R2	国保	2,248人	8,719	13,837,022	13,583	30,317,641	22,302	44,154,663																																																																																																												
	社保	13,382人	66,917	102,665,571	97,593	202,733,553	164,510	305,399,124																																																																																																												
	計	15,630人	75,636	116,502,593	111,176	233,051,194	186,812	349,553,787																																																																																																												
区分	成果指標		達成率																																																																																																																	
	目標	実績																																																																																																																		
H30	0.00%	1.00%	99.00%																																																																																																																	
R1	0.00%	0.55%	99.45%																																																																																																																	
R2	0.00%	0.51%	99.49%																																																																																																																	
成果に係る評価		<p>一部負担金の助成状況は、前年度から大幅に減少しているが、新型コロナウイルス感染症の流行による受診控えや、感染症予防対策によるインフルエンザ等の流行抑制が影響したものと推測している。今後子どもの適正な医療機会の確保並びに子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、事業を継続する必要がある。</p>																																																																																																																		
予算の執行状況		<p>(単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">予算額</th> <th rowspan="2">決算額</th> <th colspan="4">決算額の財源内訳</th> </tr> <tr> <th>国(県)支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>399,089,000</td> <td>358,741,634</td> <td>123,041,000</td> <td></td> <td></td> <td>235,700,634</td> </tr> </tbody> </table>							予算額	決算額	決算額の財源内訳				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	399,089,000	358,741,634	123,041,000			235,700,634																																																																																												
予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																																																		
		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																															
399,089,000	358,741,634	123,041,000			235,700,634																																																																																																															

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																										
	1 項	社会福祉費		第2節	地域全体で子どもたちを育成する		()																										
	11 目	市民相談センター費		(2)	青少年を健全に育成する		()																										
実施計画掲載ページ		P 34	中 事 業		少年センター運営費																												
事業コード		002-002-002-00144	事 業 名		青少年健全育成事業																												
目的及び事業内容		少年の非行防止及び非行対策に関し、関係機関、学校、関係団体及び民間有志者の密接な連携のもとに、広く地域社会の理解と協力を求め、総合的かつ効果的な活動を推進し、少年の健全な育成を図る。																															
取組実績		<p>1 少年補導員による街頭補導活動の実施 各地区に配置している少年補導員による毎月の街頭補導、県下一斉警戒パトロール等を実施した。街頭補導活動においては、少年補導員147名により、少年非行の早期発見、未然防止及び少年の健全育成を目的に、遊技場、駅、公園などを中心に実施した。</p> <p>2 少年相談 引きこもりや教育問題に悩む親等からの相談に対応した。</p> <p>3 地域における不審者対策ネットワークの推進 ネットワークの会員と地域の団体等が、年4回ほど児童の下校時に同行し、市内全小学校の通学路のパトロールを実施した。また、不審者情報を市ホームページに適宜掲載し注意喚起を行った。</p> <p>4 地域における青少年健全育成の推進 地域で青少年健全育成活動を実施する団体で構成する市民会議による、市民総ぐるみの積極的な地域活動の推進のための支援を行った。</p>																															
成 果		<p>学校や地域等の関係機関との有機的な連携のもと、街頭補導やパトロール等を実施することにより、青少年の非行防止と健全育成に寄与した。</p> <p>＜街頭補導実績＞</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">実施回数</th> <th rowspan="2">出勤延人数</th> <th rowspan="2">声かけ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>486回</td> <td>1,350人</td> <td>625件</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>483回</td> <td>1,280人</td> <td>429件</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>401回</td> <td>1,078人</td> <td>186件</td> </tr> </tbody> </table> <p>＜少年相談実績＞</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>10件</td> <td>8件</td> <td>14件</td> </tr> </tbody> </table>							年度	区分	実施回数	出勤延人数	声かけ数	H30	486回	1,350人	625件	R1	483回	1,280人	429件	R2	401回	1,078人	186件	年度	H30	R1	R2	件数	10件	8件	14件
年度	区分	実施回数	出勤延人数	声かけ数																													
					H30	486回	1,350人	625件																									
R1	483回	1,280人	429件																														
R2	401回	1,078人	186件																														
年度	H30	R1	R2																														
件数	10件	8件	14件																														
成果に係る評価		<p>本事業で重点的に行っているのが各関係機関団体・学校から推薦された147名の少年補導員による街頭補導である。</p> <p>令和2年度は新型コロナウイルスの影響による臨時休校や外出自粛等のため街頭補導の実施回数や声かけ数が大幅に減少したものの、学校再開に伴い、巡回や「愛の一声」（挨拶、気軽な会話、安全指導等）活動を推進したことで、子どもたちに対し、健全育成、事故防止、不審者抑止の対策が図られた。少年相談については、スクールソーシャルワーカーや石巻圏子ども・若者総合相談センター等の他の相談機関が増えたこともあり、少年センターにおける年間相談件数は伸び悩んでいる状況にある。今後は少年センターにおける相談事業等の見直しも含め検討していく必要がある。</p> <p>また、青少年健全育成市民会議においては、震災以降休止状態となっていた青葉地区の再開に向けて取り組んだ結果、令和3年度の再開につながった。</p>																															
予算の執行状況		<p>(単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">予算額</th> <th rowspan="2">決算額</th> <th colspan="4">決算額の財源内訳</th> </tr> <tr> <th>国(県)支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6,973,000</td> <td>6,142,440</td> <td>300,000</td> <td></td> <td></td> <td>5,842,440</td> </tr> </tbody> </table>							予算額	決算額	決算額の財源内訳				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	6,973,000	6,142,440	300,000			5,842,440									
予算額	決算額	決算額の財源内訳																															
		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																												
6,973,000	6,142,440	300,000			5,842,440																												

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																																																																																																																									
	1 項	社会福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()																																																																																																																																									
	11 目	市民相談センター費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()																																																																																																																																									
実施計画掲載ページ	P91		中 事業	市民相談センター事業費																																																																																																																																												
事業コード	004-003-001-00145	事業名	市民相談事業（家庭児童相談・市民相談）																																																																																																																																													
目的及び事業内容	<p>子育てなどの家庭児童・母子相談をはじめ、市民生活全般にわたる相談など、複雑多様な相談一つの窓口で受理し、適切な支援に繋げるにより市民生活の利便性と福祉の向上を図る。 また、専門的事案の支援として、仙台弁護士会への委託による定期的な無料法律相談を実施している。</p>																																																																																																																																															
取組実績	<p>1 市民相談 市民相談担当職員1人を配置し、市民生活全般の相談等を実施した。 2 家庭児童相談 家庭児童相談員1人を配置し、以下の相談等を実施した。 ・家庭児童相談 ・女性相談 ・養育支援訪問利用相談 ・障害児通所サービス利用に係る相談 ・助産施設利用相談 ・母子生活支援施設利用相談など 3 弁護士による無料法律相談 年24回実施（毎月2回、第2・第4火曜日）</p>																																																																																																																																															
成果	<p>相談者の福祉向上を図るため、各種相談に対して適切な助言及び援助を行った。 また、無料法律相談を実施することにより、専門的事案の早期解決の一助を担った。</p> <p>1 市民相談実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>内訳</th> <th>行政</th> <th>事故等</th> <th>相続</th> <th>不動産</th> <th>離婚</th> <th>親族家族問題</th> <th>法律</th> <th>近隣問題</th> <th>窓口紹介</th> <th>生活困窮</th> <th>健康</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td></td> <td>83</td> <td>3</td> <td>49</td> <td>29</td> <td>10</td> <td>28</td> <td>11</td> <td>121</td> <td>139</td> <td>32</td> <td>34</td> <td>26</td> <td>565</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td></td> <td>67</td> <td>5</td> <td>74</td> <td>22</td> <td>16</td> <td>27</td> <td>4</td> <td>97</td> <td>106</td> <td>30</td> <td>5</td> <td>77</td> <td>530</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td></td> <td>44</td> <td>3</td> <td>43</td> <td>9</td> <td>7</td> <td>45</td> <td>10</td> <td>86</td> <td>87</td> <td>35</td> <td>8</td> <td>137</td> <td>514</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 家庭児童相談実績 ※R1から相談分類変更</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">内訳</th> <th colspan="2">家庭児童相談関係</th> <th colspan="3">母子相談関係</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>家族関係</th> <th>児童その他</th> <th>離婚</th> <th>婦人特有</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td></td> <td>85</td> <td>38</td> <td>17</td> <td>-</td> <td>149</td> <td>289</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td></td> <td>73</td> <td>38</td> <td>26</td> <td>88</td> <td>19</td> <td>244</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td></td> <td>48</td> <td>30</td> <td>44</td> <td>80</td> <td>30</td> <td>232</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 無料法律相談実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>内訳</th> <th>回数</th> <th>金銭貸借</th> <th>不動産</th> <th>相続</th> <th>離婚</th> <th>親族</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td></td> <td>24</td> <td>50</td> <td>16</td> <td>37</td> <td>26</td> <td>19</td> <td>34</td> <td>182</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td></td> <td>24</td> <td>65</td> <td>29</td> <td>25</td> <td>35</td> <td>15</td> <td>28</td> <td>197</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td></td> <td>24</td> <td>49</td> <td>30</td> <td>42</td> <td>27</td> <td>11</td> <td>53</td> <td>212</td> </tr> </tbody> </table>							年度	内訳	行政	事故等	相続	不動産	離婚	親族家族問題	法律	近隣問題	窓口紹介	生活困窮	健康	その他	合計	H30		83	3	49	29	10	28	11	121	139	32	34	26	565	R1		67	5	74	22	16	27	4	97	106	30	5	77	530	R2		44	3	43	9	7	45	10	86	87	35	8	137	514	年度	内訳	家庭児童相談関係		母子相談関係			合計	家族関係	児童その他	離婚	婦人特有	その他	H30		85	38	17	-	149	289	R1		73	38	26	88	19	244	R2		48	30	44	80	30	232	年度	内訳	回数	金銭貸借	不動産	相続	離婚	親族	その他	合計	H30		24	50	16	37	26	19	34	182	R1		24	65	29	25	35	15	28	197	R2		24	49	30	42	27	11	53	212
年度	内訳	行政	事故等	相続	不動産	離婚	親族家族問題	法律	近隣問題	窓口紹介	生活困窮	健康	その他	合計																																																																																																																																		
H30		83	3	49	29	10	28	11	121	139	32	34	26	565																																																																																																																																		
R1		67	5	74	22	16	27	4	97	106	30	5	77	530																																																																																																																																		
R2		44	3	43	9	7	45	10	86	87	35	8	137	514																																																																																																																																		
年度	内訳	家庭児童相談関係		母子相談関係			合計																																																																																																																																									
		家族関係	児童その他	離婚	婦人特有	その他																																																																																																																																										
H30		85	38	17	-	149	289																																																																																																																																									
R1		73	38	26	88	19	244																																																																																																																																									
R2		48	30	44	80	30	232																																																																																																																																									
年度	内訳	回数	金銭貸借	不動産	相続	離婚	親族	その他	合計																																																																																																																																							
H30		24	50	16	37	26	19	34	182																																																																																																																																							
R1		24	65	29	25	35	15	28	197																																																																																																																																							
R2		24	49	30	42	27	11	53	212																																																																																																																																							
成果に係る評価	<p>市民相談はここ数年500件を上回っており、相談内容も単一の相談にとどまらず様々な要因が重なった相談が増加した。また、家庭児童相談については、減少傾向となっており、子育て支援に関わるNPO団体等、関係機関に相談窓口が増えたことが要因のひとつとして考えられるが、複雑化・多様化する相談に対し継続的に関わって解決した事例が多くなっている。 相談者は複合的な問題を抱えていることが多いため、今後も丁寧な傾聴に努めるとともに、専門的事案は弁護士による無料法律相談につなぐ等、関係機関・団体と連携し、問題解決に向けて必要な支援を行っていく必要がある。</p>																																																																																																																																															
予算の執行状況	(単位: 円)																																																																																																																																															
予算額	3,400,000	決算額	決算額の財源内訳																																																																																																																																													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																																																										
		3,360,974				3,360,974																																																																																																																																										

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																																																
	1 項	社会福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()																																																																
	12 目	権利擁護推進費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()																																																																
実施計画掲載ページ	P92		中 事業	要保護児童対策事業費																																																																			
事業コード	004-003-001-00147	事業名	要保護児童対策事業																																																																				
目的及び事業内容	<p>要保護児童対策地域協議会の支援の対象者は、要保護児童（保護者に監護させることが不相当であると認められる児童等）、要支援児童（保護者の養育を支援することが特に必要と認められる児童等）、特定妊婦（出産後の養育について出産前において特に支援が必要とされる妊婦）であり、要保護児童等に対する適切な支援を行うために情報交換を行いながら、それぞれのケースに対応した支援を協議し速やかに対応する。また、児童虐待防止研修会等の開催やリーフレットの作成・配布などの啓発を通して虐待に対する認識を深める。</p>																																																																						
取組実績	<p>1 石巻市要保護児童対策地域協議会 (1) 代表者会議の開催 1回 各分野の関係機関等の代表者19名で構成され、要保護児童等の現状と支援に関する全体把握等について情報交換を行った。 (2) 実務者会議の開催（進行管理ケース数：市213人、児628人 合計841人） ・全体実務者会議 2回 要保護児童等の実態把握や協議会の事業計画等について協議・検討した。 ・ブロック別実務者会議 4ブロック×3回 進行管理している各ケースの情報共有と今後の支援策について確認した。 (3) 個別ケース検討会議（カンファレンスを含む） 98回 各ケースの状況把握と問題点の確認を行い、支援の役割分担等について協議した。</p> <p>2 児童虐待防止啓発事業 (1) 「子どもの日常生活調査」の実施（小学校7校・6年生183人） (2) 児童虐待防止講演会 子育て支援課との共催により、子どもの貧困対策・児童虐待防止研修会を開催し、参加者に対して、虐待防止等に関する理解の促進を図ることができた。 日時:令和3年1月29日(金) 場所:ささえあいセンター 参加者:60人 (3) リーフレットを市内小学校1年生（保護者向け）及び母子手帳交付者に配布 (4) 新聞広告の掲載（年4回）</p> <p>3 専門カウンセリング事業 保護者やDV被害者の心理的ケアや支援を行うため、心理カウンセラー等によるカウンセリングを実施した。 32回開催 実利用者15人 延べ利用者48人</p>																																																																						
成果	<p>関係機関との連携により、児童虐待ケースの重症化防止と要保護児童等の安全確保が図られた。 対応実績推移 (単位: 人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="3">新規(再起含む)</th> <th colspan="3">前年度からの継続</th> <th colspan="3">合計</th> <th colspan="3">終結ケース(再掲)</th> </tr> <tr> <th>市</th> <th>児相</th> <th>計</th> <th>市</th> <th>児相</th> <th>計</th> <th>市</th> <th>児相</th> <th>計</th> <th>市</th> <th>児相</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>96</td> <td>506</td> <td>602</td> <td>97</td> <td>97</td> <td>194</td> <td>193</td> <td>603</td> <td>796</td> <td>99</td> <td>406</td> <td>505</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>106</td> <td>473</td> <td>579</td> <td>81</td> <td>144</td> <td>225</td> <td>187</td> <td>617</td> <td>804</td> <td>86</td> <td>453</td> <td>539</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>110</td> <td>483</td> <td>593</td> <td>103</td> <td>145</td> <td>248</td> <td>213</td> <td>628</td> <td>841</td> <td>62</td> <td>483</td> <td>545</td> </tr> </tbody> </table>							年度	新規(再起含む)			前年度からの継続			合計			終結ケース(再掲)			市	児相	計	市	児相	計	市	児相	計	市	児相	計	H30	96	506	602	97	97	194	193	603	796	99	406	505	R1	106	473	579	81	144	225	187	617	804	86	453	539	R2	110	483	593	103	145	248	213	628	841	62	483	545
年度	新規(再起含む)			前年度からの継続			合計			終結ケース(再掲)																																																													
	市	児相	計	市	児相	計	市	児相	計	市	児相	計																																																											
H30	96	506	602	97	97	194	193	603	796	99	406	505																																																											
R1	106	473	579	81	144	225	187	617	804	86	453	539																																																											
R2	110	483	593	103	145	248	213	628	841	62	483	545																																																											
成果に係る評価	<p>本市の要保護対象児童対応件数は、市(虐待防止センター)、児相(県東部児童相談所)ともに増加傾向にあり、近年の児童虐待に対する社会的関心の高まりにより通報数が増加したこと等が要因と考えられ、今後も関係機関等との連携を強化し情報共有に努めることにより、要保護児童等の早期発見や未然防止、適切な支援を継続して行う必要がある。 また、児童虐待の未然防止に向けた啓発事業を実施して市民への周知に努めるとともに、専門カウンセリング事業の実施により、心理的ケアを図るなど各種事業において大きな効果が得られた。今後子どもたちを虐待から守るための体制強化・支援の充実にも努めていくことが重要である。</p>																																																																						
予算の執行状況	(単位: 円)																																																																						
予算額	3,319,082	決算額	決算額の財源内訳																																																																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																	
		3,123,300				1,761,300																																																																	

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																																																														
	1 項	社会福祉費		第4節	安心と誇りを持って住み続けられる高齢者福祉を充実する		()																																																																														
	12 目	権利擁護推進費		(4)	認知症高齢者と家族を支援する		()																																																																														
実施計画掲載ページ		P101	中 事 業		虐待防止センター事業費																																																																																
事業コード		004-004-004-00611	事 業 名		虐待防止センター事業																																																																																
目的及び事業内容		<p>高齢者虐待や障害者虐待、ドメスティックバイオレンスは尊厳を著しく侵し、その自立及び社会参加に深刻な影響を与えることから、虐待等の未然防止や重症化を防ぐための体制整備を行い、地域において尊厳ある生活を維持し、安心して暮らせることを目的とする。</p> <p>また、事業の複雑化・重症化に伴い、専門的見地からの支援が必要となるケースが増加してきたことから、虐待対応への専門的知識と技術を持つ専門職を配置し、体制を整備するとともに、虐待に対する理解促進と未然防止のための啓発事業の実施のほか、重症化防止及び権利擁護のため支援事業を行う。</p>																																																																																			
取組実績		<p>虐待を受けた高齢者・障害者及びDV被害者の保護並びに自立支援と養護者に対する支援措置等を実施して重症化の防止を図るとともに、虐待防止の啓発に向けて周知に取り組んだ。</p> <p>1 高齢者虐待防止事業</p> <p>(1) 老人特例保護措置⇒ 令和2年度利用人数 2人 (延べ111日利用)</p> <p>(2) 緊急一時保護事業(家庭内暴力防止支援事業)⇒ 令和2年度利用人数 2人 (延べ71日利用)</p> <p>(3) 高齢者権利擁護委託事業⇒ 権利擁護支援のため弁護士相談委託</p> <p>2 障害者虐待防止事業</p> <p>(1) 障害者虐待家庭訪問個別支援事業⇒ 令和2年度利用人数 1人 3回(22時間利用)</p> <p>(2) 緊急一時保護事業⇒ 令和2年度利用人数 2人 (延べ53日利用)</p> <p>3 DV被害者支援事業</p> <p>(1) DV被害者支援施策</p> <p>ア 緊急一時保護⇒ 令和2年度実績 2件</p> <p>イ 母子生活支援施設入所措置⇒ 3世帯6名利用中(令和3年3月31日現在)</p> <p>ウ 保護命令申請同行支援事務</p> <p>エ 住民基本台帳事務における支援措置(住民票、戸籍附票の閲覧制限)</p> <p>(2) 専門カウンセリング及び弁護士相談による助言</p> <p>(3) 配偶者暴力相談支援センター事業⇒相談対応89人(延べ215件対応)、証明書発行10人</p> <p>4 DV・虐待防止の啓発事業</p> <p>(1) パンフレットの作成 3種 2,400部</p> <p>(2) ラジオ石巻による放送 週2回(火・木)</p>																																																																																			
成 果		<p>高齢者・障害者等の虐待及びDVの未然防止対策や早期発見のため、研修会・啓発講演等を実施するとともに、要援護者・被害者等に対し迅速で適切な支援を実施した。</p> <p>各種虐待の新規相談実績 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">虐待種別</th> <th colspan="3">相談件数</th> <th colspan="3">虐待確認</th> <th colspan="3">一時保護</th> <th colspan="3">入所措置</th> </tr> <tr> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高齢者</td> <td>40</td> <td>75</td> <td>77</td> <td>36</td> <td>73</td> <td>64</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>障害者</td> <td>7</td> <td>15</td> <td>21</td> <td>4</td> <td>12</td> <td>18</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>DV・女性相談</td> <td>31</td> <td>35</td> <td>57</td> <td>16</td> <td>23</td> <td>43</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>78</td> <td>125</td> <td>155</td> <td>56</td> <td>108</td> <td>125</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>							虐待種別	相談件数			虐待確認			一時保護			入所措置			H30	R1	R2	H30	R1	R2	H30	R1	R2	H30	R1	R2	高齢者	40	75	77	36	73	64	0	2	2	2	1	2	障害者	7	15	21	4	12	18	0	0	2	0	0	0	DV・女性相談	31	35	57	16	23	43	1	1	2	1	0	1	合 計	78	125	155	56	108	125	1	3	6	3	1	3
虐待種別	相談件数			虐待確認			一時保護			入所措置																																																																											
	H30	R1	R2	H30	R1	R2	H30	R1	R2	H30	R1	R2																																																																									
高齢者	40	75	77	36	73	64	0	2	2	2	1	2																																																																									
障害者	7	15	21	4	12	18	0	0	2	0	0	0																																																																									
DV・女性相談	31	35	57	16	23	43	1	1	2	1	0	1																																																																									
合 計	78	125	155	56	108	125	1	3	6	3	1	3																																																																									
成果に係る評価		<p>本市の高齢者虐待、障害者虐待の相談件数は増加傾向にあり、相談を受けた事案の多くが複雑化・重症化していることから対応に苦慮しているが、地域包括支援センター等の関係機関との連携を図りながら困難事例に対応した。また、DV・女性相談についても、事案が複合化・深刻化していることから、弁護士やカウンセラー等による相談事業のほか、配偶者暴力相談支援センター事業における証明書発行や保護命令関係業務を実施し、被害者等の心身の回復と安全確保を優先し適切な支援を行うことができた。</p> <p>虐待等への対応については、専門的な知見からの支援が求められるため、精神保健福祉士、虐待防止専門官(警察OB)や教員OB等を配置しているが、今後も職員の資質向上と体制の整備を図り、各種虐待及びDVの防止に努めていく必要がある。</p>																																																																																			
予算の執行状況		(単位:円)																																																																																			
予算額	決算額	決算額の財源内訳					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																											
		9,672,918	9,132,977	6,737,203							2,395,774																																																																										

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																									
	1 項	社会福祉費		第1節	お互いに支えあい生活できる仕組みを構築する		()																									
	13 目	生活困窮者自立支援費		(2)	生活保護制度等を適正に運用する		()																									
実施計画掲載ページ		P68	中 事 業		自立相談支援事業費、住居確保給付事業費																											
事業コード		004-001-002-01106	事 業 名		生活困窮者自立支援事業																											
目的及び事業内容		<p>「各種制度の狭間」にある生活困窮者に対し、就労その他の自立に関する支援や情報の提供等によって、課題が複雑化・深刻化する前に、困窮状態からの脱却を支援し自立の促進を図る。</p>																														
取組実績		<p>1 自立相談支援事業(必須事業)</p> <p>令和2年度は相談支援員を1名増員したことにより、より一層生活困窮者に対する支援内容の強化につながった。</p> <p>2 住居確保給付金事業(必須事業)</p> <p>離職等により住居を失った者等に対し、求職活動を要件に住居確保給付金を支給し、安定した住居の確保と就労自立を図った。</p> <p>3 就労準備支援事業(任意事業)</p> <p>一般就労に向けた手厚い支援が必要な生活困窮者及び生活保護受給者に対して、就労の前段階として必要な生活習慣の形成や就労意欲の向上を図った。</p> <p>4 家計改善支援事業(任意事業)</p> <p>生活困窮者世帯の家計管理においては、収入・支出の見える化を図り、お金の管理能力を身につける支援を実施した。</p> <p>5 生活困窮者の子どもの学習・生活支援事業(任意事業)</p> <p>貧困連鎖の防止の観点から、家庭の諸事情により学習塾や放課後児童クラブに通えない子供に対して、学びの場の提供や居場所の提供、基礎的な生活習慣、親への養育相談等を通じて家庭全体への支援を図った。</p>																														
成 果		<p>支援が必要な相談者に対して、抱えている課題を早期に把握し、必要な情報提供や助言などを計画的かつ包括的に支援したことで、新規相談申請に至らずとも相談者の自立助長が図られた。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の長期化により住居確保給付金の相談件数が増加し、支給要件の緩和もあり支給件数の増加につながった。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">生活困窮者自立支援事業</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延べ相談件数</td> <td>395件</td> <td>1,034件</td> </tr> <tr> <td>新規相談申請件数</td> <td>135件</td> <td>212件</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">住居確保給付金事業</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>申請件数</td> <td>1件</td> <td>25件</td> </tr> <tr> <td>支給件数</td> <td>1件</td> <td>21件</td> </tr> </tbody> </table>							生活困窮者自立支援事業			年度	R1	R2	延べ相談件数	395件	1,034件	新規相談申請件数	135件	212件	住居確保給付金事業			年度	R1	R2	申請件数	1件	25件	支給件数	1件	21件
生活困窮者自立支援事業																																
年度	R1	R2																														
延べ相談件数	395件	1,034件																														
新規相談申請件数	135件	212件																														
住居確保給付金事業																																
年度	R1	R2																														
申請件数	1件	25件																														
支給件数	1件	21件																														
成果に係る評価		<p>新型コロナウイルス感染症の影響で相談件数は大幅に増加しているが、生活困窮者が抱える多様な複合的な課題を包括的に受け止め、深刻化する前に情報提供や各関係機関へのつなぎにより、新規相談申請や生活保護に至らなくとも終結できたことは、本事業の強みであると言える。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の長期化により、離職や居住を失う恐れのある相談者に対し、住居確保給付金を支給したことで、安定した住居の確保と就労自立が図られたことから、引き続き積極的な事業展開を図っていく必要がある。</p>																														
予算の執行状況		(単位:円)																														
予算額	決算額	決算額の財源内訳					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																						
		69,337,000	49,638,158	29,332,749							20,305,409																					

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章		復興計画	()																					
	1 項	社会福祉費		第 節			()																					
	14 目	東日本大震災関係費		()			()																					
実施計画掲載ページ			中 事 業	ささえあいセンター建設事業費																								
事業コード			事 業 名	(仮称)ささえあいセンター整備事業(津波復興拠点整備分) 〔復興交付金〕〔復興基金〕																								
目的及び事業内容		本市は、震災により、地域力が衰退し、地域コミュニティの低下や住民の孤立・孤独化を招く恐れがあることから、地域での助け合いや支え合うことのできる社会づくりを推進していく必要がある。このことから石巻市ささえあいセンターは、全ての市民が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療、保健、介護、福祉を地域と連携して一体的に提供する「地域包括ケアを推進する拠点」として整備することで、地域での助け合いや支え合うことのできる社会づくりの礎となることを目的とする。なお、災害時には福祉避難所として、迅速かつ適切な被災者支援を行うことを目的とする。																										
取組実績		<p>1 ささえあいセンター建設概要</p> <p>(1) 敷地面積 2,944.66㎡</p> <p>(2) 構造/規模 鉄骨造/地上3階建</p> <p>(3) 延床面積 4,256.61㎡</p> <p>2 令和2年度備品購入費</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>整備内容</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>諸室関連(机、イス等)</td> <td>39,354,260円</td> </tr> <tr> <td>館内設備関連(OA機器、ブラインド等)</td> <td>4,207,797円</td> </tr> <tr> <td>子育て関連(遊具、絵本等)</td> <td>6,171,340円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>49,733,397円</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 総事業費</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業費内容</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①用地・調査設計・事務費</td> <td>617,257,142円</td> </tr> <tr> <td>②工事請負費</td> <td>1,685,279,200円</td> </tr> <tr> <td>③工事監理業務委託料</td> <td>24,192,000円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>2,326,728,342円</td> </tr> </tbody> </table>							整備内容	事業費	諸室関連(机、イス等)	39,354,260円	館内設備関連(OA機器、ブラインド等)	4,207,797円	子育て関連(遊具、絵本等)	6,171,340円	合 計	49,733,397円	事業費内容	事業費	①用地・調査設計・事務費	617,257,142円	②工事請負費	1,685,279,200円	③工事監理業務委託料	24,192,000円	合 計	2,326,728,342円
整備内容	事業費																											
諸室関連(机、イス等)	39,354,260円																											
館内設備関連(OA機器、ブラインド等)	4,207,797円																											
子育て関連(遊具、絵本等)	6,171,340円																											
合 計	49,733,397円																											
事業費内容	事業費																											
①用地・調査設計・事務費	617,257,142円																											
②工事請負費	1,685,279,200円																											
③工事監理業務委託料	24,192,000円																											
合 計	2,326,728,342円																											
成 果		用地契約については、平成26年度から平成30年度で完了した。建設工事については、平成31年1月11日に着工し令和2年3月25日に完成した。地域包括ケアを推進する拠点として、令和2年5月30日供用開始した。																										
成果に係る評価		地域における支え合う地域づくりの推進を図るために、地域のつながりの重要性を広く市民に周知・啓発するとともに、地域住民等と連携・協働した事業を推進することが必要である。また、災害時には福祉避難所の機能を有することから、迅速かつ適切な要支援者の支援を行うことが必要である。																										
(単位:円)																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																						
	50,000,000	49,733,397			42,106,477	7,626,920																						

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																																																																				
	2 項	老人福祉費		第 4 節	安心と誇りを持って住み続けられる高齢者福祉を充実する		()																																																																																				
	1 目	老人福祉総務費		(1)	生きがいがつくりと社会参加を支援する		()																																																																																				
実施計画掲載ページ		P92	中 事 業	敬老祝金支給事業費																																																																																							
事業コード		004-004-001-00086	事 業 名	敬老祝金支給事業																																																																																							
目的及び事業内容		88歳を迎える高齢者に敬老祝金を、100歳を迎える高齢者に特別敬老祝金を支給することにより、長寿を祝い、敬老の意を表すとともに、高齢者福祉の関心を深め、福祉の向上を図る。																																																																																									
取組実績		<p>1 敬老祝金等支給実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>区分</th> <th>金額</th> <th>人数</th> <th>支給額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">H30</td> <td>88歳</td> <td>10,000円</td> <td>917人</td> <td>9,170,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">100歳</td> <td>75,000円</td> <td>3人</td> <td>225,000円</td> </tr> <tr> <td>150,000円</td> <td>40人</td> <td>6,000,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td>960人</td> <td>15,395,000円</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>区分</th> <th>金額</th> <th>人数</th> <th>支給額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">R1</td> <td>88歳</td> <td>10,000円</td> <td>916人</td> <td>9,160,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">100歳</td> <td>75,000円</td> <td>4人</td> <td>300,000円</td> </tr> <tr> <td>150,000円</td> <td>30人</td> <td>4,500,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td>950人</td> <td>13,960,000円</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>区分</th> <th>金額</th> <th>人数</th> <th>支給額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">R2</td> <td>88歳</td> <td>10,000円</td> <td>1,005人</td> <td>10,050,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">100歳</td> <td>75,000円</td> <td>3人</td> <td>225,000円</td> </tr> <tr> <td>150,000円</td> <td>76人</td> <td>11,400,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td>1,084人</td> <td>21,675,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 受給資格及び支給額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>祝金</th> <th>受給資格者</th> <th>支給額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>敬老祝金 88歳</td> <td>88歳になる年の9月1日において市内に住所を有する者</td> <td>10,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">特別敬老祝金 100歳</td> <td rowspan="3">100歳の誕生日において市内に引き続き3年以上住所を有する者</td> <td>H30~R2 3年以上10年未満</td> <td>75,000円</td> </tr> <tr> <td>10年以上</td> <td>150,000円</td> </tr> <tr> <td>R3以降 3年以上10年未満</td> <td>50,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>10年以上</td> <td>100,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※高齢者人口の増加による事業費の増加が見込まれることから、平成30年度より特別敬老祝金の金額を改正し、令和2年度までは経過措置期間とした。</p>							年度	区分	金額	人数	支給額	H30	88歳	10,000円	917人	9,170,000円	100歳	75,000円	3人	225,000円	150,000円	40人	6,000,000円	計			960人	15,395,000円	年度	区分	金額	人数	支給額	R1	88歳	10,000円	916人	9,160,000円	100歳	75,000円	4人	300,000円	150,000円	30人	4,500,000円	計			950人	13,960,000円	年度	区分	金額	人数	支給額	R2	88歳	10,000円	1,005人	10,050,000円	100歳	75,000円	3人	225,000円	150,000円	76人	11,400,000円	計			1,084人	21,675,000円	祝金	受給資格者	支給額	敬老祝金 88歳	88歳になる年の9月1日において市内に住所を有する者	10,000円	特別敬老祝金 100歳	100歳の誕生日において市内に引き続き3年以上住所を有する者	H30~R2 3年以上10年未満	75,000円	10年以上	150,000円	R3以降 3年以上10年未満	50,000円		10年以上	100,000円
年度	区分	金額	人数	支給額																																																																																							
H30	88歳	10,000円	917人	9,170,000円																																																																																							
	100歳	75,000円	3人	225,000円																																																																																							
		150,000円	40人	6,000,000円																																																																																							
計			960人	15,395,000円																																																																																							
年度	区分	金額	人数	支給額																																																																																							
R1	88歳	10,000円	916人	9,160,000円																																																																																							
	100歳	75,000円	4人	300,000円																																																																																							
		150,000円	30人	4,500,000円																																																																																							
計			950人	13,960,000円																																																																																							
年度	区分	金額	人数	支給額																																																																																							
R2	88歳	10,000円	1,005人	10,050,000円																																																																																							
	100歳	75,000円	3人	225,000円																																																																																							
		150,000円	76人	11,400,000円																																																																																							
計			1,084人	21,675,000円																																																																																							
祝金	受給資格者	支給額																																																																																									
敬老祝金 88歳	88歳になる年の9月1日において市内に住所を有する者	10,000円																																																																																									
特別敬老祝金 100歳	100歳の誕生日において市内に引き続き3年以上住所を有する者	H30~R2 3年以上10年未満	75,000円																																																																																								
		10年以上	150,000円																																																																																								
		R3以降 3年以上10年未満	50,000円																																																																																								
	10年以上	100,000円																																																																																									
成 果		高齢者に対し、敬老祝金等を支給し、長寿を祝い、敬老の意を表することで、高齢者福祉の関心を深め、福祉の向上を図ることができた。																																																																																									
成果に係る評価		長年に渡り社会の発展に貢献された高齢者に対し、祝金を支給し、長寿を祝い、敬意を表することで、高齢者福祉への関心が深まるとともに、周囲の高齢者の健康への意識も高まり、福祉の向上が図られた。																																																																																									
(単位:円)																																																																																											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																								
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																					
	21,837,158	21,837,158				21,837,158																																																																																					

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																																																																																							
	2 項	老人福祉費		第4節	安心と誇りを持って住み続けられる高齢者福祉を充実する		()																																																																																																							
	1 目	老人福祉総務費		(1)	生きがいがつくりと社会参加を支援する		()																																																																																																							
実施計画掲載ページ		P 93	中 事 業		敬老会費																																																																																																									
事業コード		004-004-001-00087	事 業 名		敬老会開催事業																																																																																																									
目的及び事業内容		77歳以上の高齢者を対象に敬老会を開催し、長年の功績と長寿を祝い、敬老の意を表するとともに心身の健康意識の向上を図る。																																																																																																												
取組実績		<p>1 令和2年度実績 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、市内全地区で市主催の敬老会を中止とした。代替事業として対象者全員に市長直筆のメッセージ及び市内保育所児童からのメッセージを添えて記念品（保険証カードケース）を送付した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>石巻</th> <th>河北</th> <th>雄勝</th> <th>河南</th> <th>桃生</th> <th>北上</th> <th>牡鹿</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>発送者数</td> <td>14,494人</td> <td>1,881人</td> <td>364人</td> <td>2,868人</td> <td>1,166人</td> <td>495人</td> <td>599人</td> <td>21,867人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 平成30年度及び令和元年度の実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>区分</th> <th>石巻</th> <th>河北</th> <th>雄勝</th> <th>河南</th> <th>桃生</th> <th>北上</th> <th>牡鹿</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">H30</td> <td>対象者数</td> <td>13,708人</td> <td>1,934人</td> <td>412人</td> <td>2,833人</td> <td>1,214人</td> <td>484人</td> <td>636人</td> <td>21,221人</td> </tr> <tr> <td>出席者数</td> <td>613人</td> <td>260人</td> <td>62人</td> <td>304人</td> <td>242人</td> <td>73人</td> <td>98人</td> <td>1,652人</td> </tr> <tr> <td>出席率</td> <td>4.5%</td> <td>13.4%</td> <td>15.0%</td> <td>10.7%</td> <td>19.9%</td> <td>15.1%</td> <td>15.4%</td> <td>7.8%</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">R1</td> <td>対象者数</td> <td>14,108人</td> <td>1,922人</td> <td>390人</td> <td>2,856人</td> <td>1,176人</td> <td>479人</td> <td>627人</td> <td>21,558人</td> </tr> <tr> <td>出席者数</td> <td>676人</td> <td>243人</td> <td>68人</td> <td>391人</td> <td>225人</td> <td>77人</td> <td>102人</td> <td>1,782人</td> </tr> <tr> <td>記念品のみ</td> <td>812人</td> <td>70人</td> <td>13人</td> <td>100人</td> <td>19人</td> <td>32人</td> <td>30人</td> <td>1,076人</td> </tr> <tr> <td>出席率</td> <td>4.8%</td> <td>12.6%</td> <td>17.4%</td> <td>13.7%</td> <td>19.1%</td> <td>16.1%</td> <td>16.3%</td> <td>8.3%</td> </tr> <tr> <td>参加率</td> <td>10.5%</td> <td>16.3%</td> <td>20.8%</td> <td>17.2%</td> <td>20.7%</td> <td>22.8%</td> <td>21.1%</td> <td>13.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※出席率は対象者数に対する出席者数の割合、参加率は出席者数に記念品受け取りのみの方を含めた割合。</p>							区分	石巻	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	合計	発送者数	14,494人	1,881人	364人	2,868人	1,166人	495人	599人	21,867人	年度	区分	石巻	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	合計	H30	対象者数	13,708人	1,934人	412人	2,833人	1,214人	484人	636人	21,221人	出席者数	613人	260人	62人	304人	242人	73人	98人	1,652人	出席率	4.5%	13.4%	15.0%	10.7%	19.9%	15.1%	15.4%	7.8%	R1	対象者数	14,108人	1,922人	390人	2,856人	1,176人	479人	627人	21,558人	出席者数	676人	243人	68人	391人	225人	77人	102人	1,782人	記念品のみ	812人	70人	13人	100人	19人	32人	30人	1,076人	出席率	4.8%	12.6%	17.4%	13.7%	19.1%	16.1%	16.3%	8.3%	参加率	10.5%	16.3%	20.8%	17.2%	20.7%	22.8%	21.1%	13.3%
区分	石巻	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	合計																																																																																																						
発送者数	14,494人	1,881人	364人	2,868人	1,166人	495人	599人	21,867人																																																																																																						
年度	区分	石巻	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	合計																																																																																																					
H30	対象者数	13,708人	1,934人	412人	2,833人	1,214人	484人	636人	21,221人																																																																																																					
	出席者数	613人	260人	62人	304人	242人	73人	98人	1,652人																																																																																																					
	出席率	4.5%	13.4%	15.0%	10.7%	19.9%	15.1%	15.4%	7.8%																																																																																																					
R1	対象者数	14,108人	1,922人	390人	2,856人	1,176人	479人	627人	21,558人																																																																																																					
	出席者数	676人	243人	68人	391人	225人	77人	102人	1,782人																																																																																																					
	記念品のみ	812人	70人	13人	100人	19人	32人	30人	1,076人																																																																																																					
	出席率	4.8%	12.6%	17.4%	13.7%	19.1%	16.1%	16.3%	8.3%																																																																																																					
	参加率	10.5%	16.3%	20.8%	17.2%	20.7%	22.8%	21.1%	13.3%																																																																																																					
成 果		市主催の敬老会中止に伴う代替事業として、初の試みとなる市長の直筆メッセージ及び市内保育所児童からのメッセージを同封した記念品を対象者全員に送付することで、長年の功績と長寿を祝い、敬老の意を表することができた。 また、市内保育所児童からのメッセージを本庁舎1階イオン石巻駅前店に展示することにより、多くの市民に高齢者福祉への関心と理解を深めてもらうことができた。																																																																																																												
成果に係る評価		敬老会の出席率は、震災以降、例年10%以下と低調な状況が続いたことから、会場での写真撮影を企画するなど、出席率向上に向けた取組を行ったが、以前として10%以下の低い出席率となっている。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、高齢者が一堂に会する敬老会は感染リスクが高くなることから、今後、事業のあり方について検討する必要がある。																																																																																																												
(単位：円)																																																																																																														
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																																																																																									
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																						
	11,594,255		11,583,413					11,583,413																																																																																																						

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																																			
	2 項	老人福祉費		第4節	安心と誇りを持って住み続けられる高齢者福祉を充実する		()																																																			
	1 目	老人福祉総務費		(1)	生きがいがつくりと社会参加を支援する		()																																																			
実施計画掲載ページ		P 93	中 事 業		高齢者保健福祉事業費																																																					
事業コード		004-004-001-00106	事 業 名		老人クラブ活動費補助事業																																																					
目的及び事業内容		高齢者の孤立感の解消と社会交流を図り、高齢者の生きがいを高めるため、老人クラブ及び老人クラブ連合会に対し活動費補助金を交付することにより、老人クラブ等の自主的活動を支援する。																																																								
取組実績		<p>1 老人クラブに対する補助金</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準</th> <th>単価</th> <th>クラブ数</th> <th>会員数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10人以上35人未満</td> <td>34,000円</td> <td>43クラブ</td> <td>909人</td> <td>1,462,000円</td> </tr> <tr> <td>35人以上70人未満</td> <td>50,000円</td> <td>23クラブ</td> <td>890人</td> <td>1,150,000円</td> </tr> <tr> <td>70人以上100人未満</td> <td>60,000円</td> <td>2クラブ</td> <td>141人</td> <td>120,000円</td> </tr> <tr> <td>100人以上</td> <td>70,000円</td> <td>1クラブ</td> <td>160人</td> <td>70,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>69クラブ</td> <td>2,100人</td> <td>2,802,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 老人クラブ連合会に対する補助金</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内訳</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基本割</td> <td>1,143,000円</td> </tr> <tr> <td>会員数割</td> <td>150円×2,130人=319,500円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,462,500円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※会員数割の基準日は4月1日</p> <p>3 クラブ数及び会員数推移（年度末数値）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>クラブ数</th> <th>会員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>84クラブ</td> <td>2,762人</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>78クラブ</td> <td>2,421人</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>69クラブ</td> <td>2,100人</td> </tr> </tbody> </table>							基準	単価	クラブ数	会員数	金額	10人以上35人未満	34,000円	43クラブ	909人	1,462,000円	35人以上70人未満	50,000円	23クラブ	890人	1,150,000円	70人以上100人未満	60,000円	2クラブ	141人	120,000円	100人以上	70,000円	1クラブ	160人	70,000円	計		69クラブ	2,100人	2,802,000円	内訳	金額	基本割	1,143,000円	会員数割	150円×2,130人=319,500円	計	1,462,500円	区分	クラブ数	会員数	H30	84クラブ	2,762人	R1	78クラブ	2,421人	R2	69クラブ	2,100人
基準	単価	クラブ数	会員数	金額																																																						
10人以上35人未満	34,000円	43クラブ	909人	1,462,000円																																																						
35人以上70人未満	50,000円	23クラブ	890人	1,150,000円																																																						
70人以上100人未満	60,000円	2クラブ	141人	120,000円																																																						
100人以上	70,000円	1クラブ	160人	70,000円																																																						
計		69クラブ	2,100人	2,802,000円																																																						
内訳	金額																																																									
基本割	1,143,000円																																																									
会員数割	150円×2,130人=319,500円																																																									
計	1,462,500円																																																									
区分	クラブ数	会員数																																																								
H30	84クラブ	2,762人																																																								
R1	78クラブ	2,421人																																																								
R2	69クラブ	2,100人																																																								
成 果		各老人クラブ及び老人クラブ連合会へ活動費補助金を交付することで、老人クラブ等の自主的活動が支援でき、地域社会及び関係諸団体等との社会交流、高齢者の生きがいの向上と福祉の増進が図られた。																																																								
成果に係る評価		令和元年度より団体数、会員数ともに減少となり、震災以降の会員減少が続いている。市報に会員募集案内を掲載するなど老人クラブの存在をアピールする取組を行っているが、会員の高齢化に伴う役員等の担い手不足により、会員増加には至らなかった。また、令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により活動を自粛したクラブもあった。 老人クラブは高齢者の生きがいを高め、孤立感の解消と社会交流を図っていることから、今後もその存在を周知するとともに、本事業を継続し、自主的活動を支援する必要がある。																																																								
(単位：円)																																																										
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																																					
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																		
	4,264,587		4,264,500		1,639,488			2,625,012																																																		

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()			
	2 項	老人福祉費		第4節	安心と誇りを持って住み続けられる高齢者福祉を充実する		()			
	2 目	在宅老人福祉費		(2)	生活支援を充実する		()			
実施計画掲載ページ	P 96		中 事 業	ひとりぐらし老人等緊急通報システム事業費						
事業コード	004-004-002-00099	事 業 名	ひとり暮らし老人等緊急通報システム事業							
目的及び事業内容	在宅のひとり暮らし高齢者等に対し、緊急通報システム機器を貸与し、緊急事態に迅速な対応ができる体制を整備して、日常生活の安全を確保するとともに、精神的な不安を解消して福祉の増進を図る。									
取組実績	1 緊急通報システム設置状況									
	年度	区 分	全 体	本 庁	河 北	雄 勝	河 南	桃 生	北 上	牡 鹿
	H30	年度末設置者数	286人	186人	30人	8人	28人	16人	12人	6人
		新規設置者数	33人	22人	1人	0人	6人	1人	2人	1人
	R1	年度末設置者数	291人	184人	28人	14人	29人	17人	13人	6人
		新規設置者数	33人	19人	1人	6人	3人	3人	1人	0人
	R2	年度末設置者数	252人	160人	22人	13人	28人	15人	10人	4人
		新規設置者数	33人	14人	5人	2人	7人	4人	1人	0人
	※被災者見守りシステムとの合算設置者数 平成30年度516人、令和元年度535人、令和2年度490人									
	【参考：被災者見守りシステム設置状況等】									
年度	区 分	全 体	本 庁	河 北	雄 勝	河 南	桃 生	北 上	牡 鹿	
H30	年度末設置者数	230人	217人	4人	1人	3人	2人	0人	3人	
	新規設置者数	32人	32人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
R1	年度末設置者数	244人	231人	4人	1人	3人	1人	0人	4人	
	新規設置者数	35人	35人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
R2	年度末設置者数	238人	224人	6人	1人	3人	1人	0人	3人	
	新規設置者数	30人	26人	3人	0人	1人	0人	0人	0人	
※令和2年度予算の執行状況 予算額：5,990,000円、決算額5,259,845円（財源は、全額被災者支援総合交付金） なお、被災者見守りシステム事業は令和2年度で終了し、令和3年度から本事業へ統合している。										
2 対応実績										
年度	通報種類			対応内容						
	非常ボタン	センサー 不働通知	救急搬送	介助依頼 (転倒など)	押し間違い・無断外 泊等異常なし					
H30	226件	100件	19件	5件	302件					
R1	198件	127件	38件	6件	281件					
R2	213件	123件	14件	5件	317件					
成 果	在宅のひとり暮らし高齢者等に緊急通報システム機器を貸与することで、日常生活の安全確保及び精神的な不安解消につながり、福祉の増進を図ることができた。									
成果に係る評価	令和2年度の設置者数は昨年度と比較すると減少しているが、ひとり暮らしの高齢者数は増加しており、家庭や地域の関係性の希薄化が進む中、緊急時の連絡や安否確認の上で非常に有効なシステムであると考えられる。今後も高齢者が安心して暮らしていくために、高齢者及び地域の支援者等への周知の仕方を検討し、新規設置者の増加を図っていく必要がある。									
(単位：円)										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源				
	5,192,000	4,872,752			4,872,752					

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()				
	2 項	老人福祉費		第4節	安心と誇りを持って住み続けられる高齢者福祉を充実する		()				
	2 目	在宅老人福祉費		(3)	介護保険制度・介護予防を充実する		()				
実施計画掲載ページ	P 100		中 事 業	デイサービス事業関係費							
事業コード	004-004-003-00091	事 業 名	生きがいデイサービス事業								
目的及び事業内容	65歳以上の家に閉じこもりがちで心身の機能は自立している高齢者が利用できるサービスで、生活に関する相談や指導、ゲームなどによる日常動作訓練、各種教養講座、健康チェックなどを行い、対象者の自立生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上等を図ることを目的とする。										
取組実績	各地区の公共施設や集会所において、バイタルチェックやうちわ卓球などの運動、健康相談などを実施するとともに、地区によっては送迎を行い、利便性を高め、高齢者が参加しやすい環境を整えることにより、高齢者の閉じこもり防止に努めた。										
	1 登録者及び会場数										
			区分	本 庁	河 北	雄 勝	河 南	桃 生	北 上	牡 鹿	計
			登録者	67人	20人	58人	151人	144人	81人	24人	545人
			会場数	8か所	2か所	5か所	6か所	17か所	8か所	2か所	48か所
	2 利用状況										
	年度	区分	本 庁	河 北	雄 勝	河 南	桃 生	北 上	牡 鹿	計	
	H30	実施回数	199回	20回	41回	304回	204回	140回	100回	1,008回	
		延利用者数	1,554人	335人	291人	2,825人	1,612人	1,289人	752人	8,658人	
	R1	実施回数	183回	19回	40回	283回	186回	140回	85回	936回	
延利用者数		1,290人	245人	299人	2,687人	1,453人	1,265人	638人	7,877人		
R2	実施回数	145回	20回	35回	250回	168回	118回	72回	808回		
	延利用者数	973人	175人	240人	2,134人	1,134人	992人	448人	6,096人		
成 果	創作活動や日常動作訓練を通じて、高齢者の心身機能の維持向上に資することができ、在宅高齢者の福祉の増進が図られた。										
成果に係る評価	新型コロナウイルス感染症の影響により4月及び5月は事業を休止したため、実施回数、延利用者数ともに例年より減少したものの、高齢者の閉じこもりを防止するとともに、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上等が図られ、一定の事業効果が上がっている。 これまでも財源確保、事業費の見直しについては課題としていたが、令和3年度の契約に当たり、委託事業者と協議した結果、会場の規模に応じ、職員の人数を見直し、委託料を減額している。										
(単位：円)											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳								
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源					
	50,180,032	42,671,077			41,555,127	1,115,950					

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																					
	2 項	老人福祉費		第4節	安心と誇りを持って住み続けられる高齢者福祉を充実する		()																																					
	2 目	在宅老人福祉費		(2)	生活支援を充実する		()																																					
実施計画掲載ページ		P 97	中 事 業		在宅高齢者サービス事業費																																							
事業コード		004-004-002-01105	事 業 名		在宅高齢者サービス事業																																							
目的及び事業内容																																												
在宅において福祉サービスを必要とする高齢者（非課税世帯等）に対し、日常生活等の必要となる介護保険制度以外のサービスを提供する。																																												
取組実績																																												
在宅の高齢者やその家族が必要とする福祉サービスを提供し、支援をするために、5つの事業を実施した。																																												
1 外出支援サービス																																												
<table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>本庁</th> <th>河北</th> <th>雄勝</th> <th>河南</th> <th>桃生</th> <th>北上</th> <th>牡鹿</th> <th>計</th> </tr> <tr> <td>助成券交付者数</td> <td>125人</td> <td>35人</td> <td>7人</td> <td>78人</td> <td>22人</td> <td>9人</td> <td>3人</td> <td>279人</td> </tr> <tr> <td>利用件数</td> <td>354件</td> <td>81件</td> <td>7件</td> <td>84件</td> <td>24件</td> <td>7件</td> <td>0件</td> <td>557件</td> </tr> <tr> <td colspan="8"></td> <td>金額 2,032,900円</td> </tr> </table>									区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計	助成券交付者数	125人	35人	7人	78人	22人	9人	3人	279人	利用件数	354件	81件	7件	84件	24件	7件	0件	557件									金額 2,032,900円
区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計																																				
助成券交付者数	125人	35人	7人	78人	22人	9人	3人	279人																																				
利用件数	354件	81件	7件	84件	24件	7件	0件	557件																																				
								金額 2,032,900円																																				
2 寝具洗濯乾燥消毒サービス																																												
<table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>本庁</th> <th>河北</th> <th>雄勝</th> <th>河南</th> <th>桃生</th> <th>北上</th> <th>牡鹿</th> <th>計</th> </tr> <tr> <td>助成券交付者数</td> <td>10人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>3人</td> <td>0人</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>利用件数</td> <td>10件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>2件</td> <td>2件</td> <td>0件</td> <td>14件</td> </tr> <tr> <td colspan="8"></td> <td>金額 68,880円</td> </tr> </table>									区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計	助成券交付者数	10人	0人	0人	0人	1人	3人	0人	14人	利用件数	10件	0件	0件	0件	2件	2件	0件	14件									金額 68,880円
区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計																																				
助成券交付者数	10人	0人	0人	0人	1人	3人	0人	14人																																				
利用件数	10件	0件	0件	0件	2件	2件	0件	14件																																				
								金額 68,880円																																				
3 訪問理美容サービス																																												
<table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>本庁</th> <th>河北</th> <th>雄勝</th> <th>河南</th> <th>桃生</th> <th>北上</th> <th>牡鹿</th> <th>計</th> </tr> <tr> <td>助成券交付者数</td> <td>19人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>3人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>23人</td> </tr> <tr> <td>利用件数</td> <td>44件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>3件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>47件</td> </tr> <tr> <td colspan="8"></td> <td>金額 70,500円</td> </tr> </table>									区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計	助成券交付者数	19人	1人	0人	3人	0人	0人	0人	23人	利用件数	44件	0件	0件	3件	0件	0件	0件	47件									金額 70,500円
区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計																																				
助成券交付者数	19人	1人	0人	3人	0人	0人	0人	23人																																				
利用件数	44件	0件	0件	3件	0件	0件	0件	47件																																				
								金額 70,500円																																				
4 老人日常生活用具給付事業																																												
<table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>本庁</th> <th>河北</th> <th>雄勝</th> <th>河南</th> <th>桃生</th> <th>北上</th> <th>牡鹿</th> <th>計</th> </tr> <tr> <td>利用件数</td> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>19,580円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>19,580円</td> </tr> </table>									区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計	利用件数	1件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	1件	金額	19,580円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	19,580円									
区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計																																				
利用件数	1件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	1件																																				
金額	19,580円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	19,580円																																				
5 バリアフリー住宅普及促進事業																																												
<table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>本庁</th> <th>河北</th> <th>雄勝</th> <th>河南</th> <th>桃生</th> <th>北上</th> <th>牡鹿</th> <th>計</th> </tr> <tr> <td>利用件数</td> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>90,000円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>90,000円</td> </tr> </table>									区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計	利用件数	1件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	1件	金額	90,000円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	90,000円									
区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計																																				
利用件数	1件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	1件																																				
金額	90,000円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	90,000円																																				
成 果																																												
サービスを提供することで、対象者の生活支援及び介護者の負担軽減が図られた。																																												
<table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>交付者数実績</th> <th>利用件数実績</th> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>424人</td> <td>1,051件</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>380人</td> <td>885件</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>318人</td> <td>620件</td> </tr> </table>									区分	交付者数実績	利用件数実績	H30	424人	1,051件	R1	380人	885件	R2	318人	620件																								
区分	交付者数実績	利用件数実績																																										
H30	424人	1,051件																																										
R1	380人	885件																																										
R2	318人	620件																																										
成果に係る評価																																												
令和元年度に比べ、交付者数・利用件数共に減少しているが、新型コロナウイルス感染症による影響と思われる。 外出支援サービスについては、地区毎の利用状況に偏りがあることから、助成内容の見直しを検討する必要がある。また、高齢化率の上昇により、今後も一定のニーズが見込まれるため、引き続き市報やチラシでの周知徹底に努めるとともに、高齢者を支える地域包括支援センター等と連携し、事業を継続する必要がある。																																												
(単位：円)																																												
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																																								
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																					
		3,485,968	2,290,093			2,290,093																																						

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																															
	2 項	老人福祉費		第4節	安心と誇りを持って住み続けられる高齢者福祉を充実する		()																																															
	4 目	老人保護費		(2)	生活支援を充実する		()																																															
実施計画掲載ページ		P 96	中 事 業		老人保護対策費																																																	
事業コード		004-004-002-00092	事 業 名		老人保護対策事業																																																	
目的及び事業内容																																																						
老人福祉法に基づき、65歳以上の高齢者であって、在宅において日常生活を営むのに支障がある者に対して、心身の状況、その置かれている環境の状況等を総合的に勘案して、老人ホームへの入所措置を行い、老人福祉の増進に資する。																																																						
取組実績																																																						
老人保護対策事業（老人ホーム入所措置）を実施した。																																																						
1 生活相談受付																																																						
養護老人ホームの入所に際し、市民からの生活相談に応じた。																																																						
<table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>入所相談件数</th> <th>その他の相談件数</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>51件</td> <td>110件</td> <td>161件</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>28件</td> <td>85件</td> <td>113件</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>22件</td> <td>81件</td> <td>103件</td> </tr> </table>									区分	入所相談件数	その他の相談件数	合計	H30	51件	110件	161件	R1	28件	85件	113件	R2	22件	81件	103件																														
区分	入所相談件数	その他の相談件数	合計																																																			
H30	51件	110件	161件																																																			
R1	28件	85件	113件																																																			
R2	22件	81件	103件																																																			
※ その他の相談の主なもの、成年後見に関する相談、経済的な生活相談、親族問題等である。																																																						
2 生活実態調査																																																						
養護老人ホームの入所を希望する者の生活状況等の実態調査を行った。																																																						
3 老人ホーム入所判定委員会の開催																																																						
養護老人ホームへ措置する者の適否を審査した。																																																						
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">開催回数</th> <th colspan="2">入所判定人数</th> <th colspan="2">結果</th> </tr> <tr> <th>適</th> <th>否</th> <th>適</th> <th>否</th> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>2回</td> <td>12人</td> <td>12人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>2回</td> <td>13人</td> <td>13人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>2回</td> <td>15人</td> <td>15人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> </table>									区分	開催回数	入所判定人数		結果		適	否	適	否	H30	2回	12人	12人	0人	0人	R1	2回	13人	13人	0人	0人	R2	2回	15人	15人	0人	0人																		
区分	開催回数	入所判定人数		結果																																																		
		適	否	適	否																																																	
H30	2回	12人	12人	0人	0人																																																	
R1	2回	13人	13人	0人	0人																																																	
R2	2回	15人	15人	0人	0人																																																	
4 養護老人ホームへの措置																																																						
養護老人ホーム措置者数																																																						
<table border="1"> <tr> <th rowspan="3">年度</th> <th rowspan="3">年度当初入所者数</th> <th colspan="2">増減</th> <th rowspan="3">合計</th> <th colspan="4">年度末入所者数</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">新規入所者数</th> <th rowspan="2">退所者数</th> <th colspan="4">内訳</th> </tr> <tr> <th>万生園(石巻市)</th> <th>ひばり園(美里町)</th> <th>松寿園(名取市)</th> <th>松風荘(名取市)</th> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>84人</td> <td>8人</td> <td>13人</td> <td>79人</td> <td>64人</td> <td>12人</td> <td>1人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>79人</td> <td>14人</td> <td>15人</td> <td>78人</td> <td>61人</td> <td>14人</td> <td>2人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>78人</td> <td>15人</td> <td>15人</td> <td>78人</td> <td>61人</td> <td>15人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> </tr> </table>									年度	年度当初入所者数	増減		合計	年度末入所者数				新規入所者数	退所者数	内訳				万生園(石巻市)	ひばり園(美里町)	松寿園(名取市)	松風荘(名取市)	H30	84人	8人	13人	79人	64人	12人	1人	2人	R1	79人	14人	15人	78人	61人	14人	2人	1人	R2	78人	15人	15人	78人	61人	15人	1人	1人
年度	年度当初入所者数	増減		合計	年度末入所者数																																																	
		新規入所者数	退所者数		内訳																																																	
					万生園(石巻市)	ひばり園(美里町)	松寿園(名取市)	松風荘(名取市)																																														
H30	84人	8人	13人	79人	64人	12人	1人	2人																																														
R1	79人	14人	15人	78人	61人	14人	2人	1人																																														
R2	78人	15人	15人	78人	61人	15人	1人	1人																																														
※ 3の入所判定（適）の人数と4の新規入所者数が異なるのは、入所時期が翌年度となる等の理由による。																																																						
成 果																																																						
老人ホーム入所に係る生活相談、生活実態調査、老人ホーム入所判定委員会を経て、環境的、経済的等の理由により、在宅での生活が困難な高齢者を老人ホームへ入所措置することにより、老人福祉の増進が図られた。																																																						
成果に係る評価																																																						
在宅での生活が困難である高齢者を対象に老人福祉法に基づく入所措置をすることにより、生きがいを持ち、健全で安らかな生活を営む環境を提供できることから、今後も事業を継続する必要がある。																																																						
(単位：円)																																																						
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																		
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																															
		238,561,000	235,141,463			28,342,853	206,798,610																																															

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																																																							
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()																																																																							
	1 目	児童福祉総務費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()																																																																							
実施計画掲載ページ		P 87	中 事 業	民間保育所助成費																																																																										
事業コード		004-003-001-00129	事 業 名	民間保育所助成事業																																																																										
目的及び事業内容																																																																														
<p>市内に設置されている民間認可外保育施設の適正な運営と職員の研究活動の促進を図るため、3歳未満の保育を行い、利用児童が6人以上で1日の保育時間が8時間を超え、かつ保育を通常午後まで行っている等の要件を満たす施設に対して補助金を交付する。</p>																																																																														
取組実績																																																																														
<p>■認可外保育施設の適正な運営を図るため、要件を満たす施設に補助金を交付した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施設名</th> <th rowspan="2">職員数</th> <th rowspan="2">対象延べ児童数</th> <th colspan="4">補助金額内訳</th> </tr> <tr> <th>施設運営費</th> <th>児童保育費</th> <th>職員研究奨励費</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保育所ちびっこランド石巻向陽園</td> <td>5人</td> <td>159人</td> <td>22,000円</td> <td>1,281,000円</td> <td>222,000円</td> <td>1,525,000円</td> </tr> <tr> <td>託児室 びよちゃんらんど</td> <td>4人</td> <td>83人</td> <td>55,000円</td> <td>904,000円</td> <td>163,500円</td> <td>1,122,500円</td> </tr> <tr> <td>託児所 Petit Ange</td> <td>3人</td> <td>54人</td> <td>22,000円</td> <td>594,000円</td> <td>175,500円</td> <td>791,500円</td> </tr> <tr> <td>ハビネス保育園 へびた</td> <td>5人</td> <td>178人</td> <td>55,000円</td> <td>1,796,000円</td> <td>245,500円</td> <td>2,096,500円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>17人</td> <td>474人</td> <td>154,000円</td> <td>4,575,000円</td> <td>806,500円</td> <td>5,535,500円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※過去5年間の推移（入所児童数は、各年度4月1日現在）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象施設数</td> <td>3施設</td> <td>3施設</td> <td>3施設</td> <td>5施設</td> <td>4施設</td> </tr> <tr> <td>対象施設定員数</td> <td>180人</td> <td>60人</td> <td>65人</td> <td>96人</td> <td>96人</td> </tr> <tr> <td>入所児童数</td> <td>93人</td> <td>32人</td> <td>23人</td> <td>26人</td> <td>31人</td> </tr> </tbody> </table>									施設名	職員数	対象延べ児童数	補助金額内訳				施設運営費	児童保育費	職員研究奨励費	計	保育所ちびっこランド石巻向陽園	5人	159人	22,000円	1,281,000円	222,000円	1,525,000円	託児室 びよちゃんらんど	4人	83人	55,000円	904,000円	163,500円	1,122,500円	託児所 Petit Ange	3人	54人	22,000円	594,000円	175,500円	791,500円	ハビネス保育園 へびた	5人	178人	55,000円	1,796,000円	245,500円	2,096,500円	合計	17人	474人	154,000円	4,575,000円	806,500円	5,535,500円	項目	H28	H29	H30	R1	R2	対象施設数	3施設	3施設	3施設	5施設	4施設	対象施設定員数	180人	60人	65人	96人	96人	入所児童数	93人	32人	23人	26人	31人
施設名	職員数	対象延べ児童数	補助金額内訳																																																																											
			施設運営費	児童保育費	職員研究奨励費	計																																																																								
保育所ちびっこランド石巻向陽園	5人	159人	22,000円	1,281,000円	222,000円	1,525,000円																																																																								
託児室 びよちゃんらんど	4人	83人	55,000円	904,000円	163,500円	1,122,500円																																																																								
託児所 Petit Ange	3人	54人	22,000円	594,000円	175,500円	791,500円																																																																								
ハビネス保育園 へびた	5人	178人	55,000円	1,796,000円	245,500円	2,096,500円																																																																								
合計	17人	474人	154,000円	4,575,000円	806,500円	5,535,500円																																																																								
項目	H28	H29	H30	R1	R2																																																																									
対象施設数	3施設	3施設	3施設	5施設	4施設																																																																									
対象施設定員数	180人	60人	65人	96人	96人																																																																									
入所児童数	93人	32人	23人	26人	31人																																																																									
成 果																																																																														
<p>交付要件を満たす認可外保育施設4施設に対し、補助金を交付することにより、適正な運営及び職員の資質向上を支援することができた。対象施設数は令和元年度から1施設減少したものの、入所児童数は増加しており、低年齢児の受入れを促すとともに、低年齢児保育の重要性の啓発と促進を図ることができた。</p>																																																																														
成果に係る評価																																																																														
<p>保護者の就労の変化や保育の無償化により、今後も保育需要が増すことが想定される。待機児童解消に向けた保育の受け皿として、認可外保育所も一定の役割を果たしていることから、本事業を継続して実施し、施設の適正な運営と職員の資質向上を図る必要がある。</p>																																																																														
(単位：円)																																																																														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																								
	6,478,000	5,535,500	2,084,000			3,451,500																																																																								

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																																																					
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()																																																																					
	1 目	児童福祉総務費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()																																																																					
実施計画掲載ページ		P 89	中 事 業	民間保育所助成費																																																																								
事業コード		004-003-001-01026	事 業 名	民間保育所建設補助事業																																																																								
目的及び事業内容																																																																												
<p>保育所整備事業を行う民間事業者に、予算の範囲内において補助金を交付し、保育所の待機児童を解消するとともに、安心して子どもを育てられる環境を整備することを目的とする。</p> <p>石巻市民間保育所建設助成事業補助金交付要綱に基づく保育所等施設整備事業等に対し、それぞれの規定により算出した額の範囲内で交付する。</p>																																																																												
取組実績																																																																												
<p>民間の認可保育施設において、0歳児と1歳児の受入拡充のため、保育室の増設工事に対して補助金を交付した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施主体</th> <td colspan="2">社会福祉法人 夢みの里</td> </tr> <tr> <th>国要綱名</th> <td colspan="2">保育所等整備交付金要綱</td> </tr> <tr> <th>国補助率</th> <td colspan="2">2/3</td> </tr> <tr> <th>市補助率</th> <td colspan="2">1/12</td> </tr> <tr> <th>事業者</th> <td colspan="2">1/4</td> </tr> <tr> <th>実施箇所</th> <td>レインボーインターナショナルフ リスクール</td> <td>リトルマメイド インターナショナルフ リスクール</td> </tr> <tr> <th>総事業費</th> <td>25,741,820円</td> <td>8,643,800円</td> </tr> <tr> <th>国補助金</th> <td>17,161,000円</td> <td>5,762,000円</td> </tr> <tr> <th>市補助金</th> <td>2,145,000円</td> <td>720,000円</td> </tr> </thead> </table>									実施主体	社会福祉法人 夢みの里		国要綱名	保育所等整備交付金要綱		国補助率	2/3		市補助率	1/12		事業者	1/4		実施箇所	レインボーインターナショナルフ リスクール	リトルマメイド インターナショナルフ リスクール	総事業費	25,741,820円	8,643,800円	国補助金	17,161,000円	5,762,000円	市補助金	2,145,000円	720,000円																																									
実施主体	社会福祉法人 夢みの里																																																																											
国要綱名	保育所等整備交付金要綱																																																																											
国補助率	2/3																																																																											
市補助率	1/12																																																																											
事業者	1/4																																																																											
実施箇所	レインボーインターナショナルフ リスクール	リトルマメイド インターナショナルフ リスクール																																																																										
総事業費	25,741,820円	8,643,800円																																																																										
国補助金	17,161,000円	5,762,000円																																																																										
市補助金	2,145,000円	720,000円																																																																										
成 果																																																																												
<p>両施設ともに増築工事を行い、3歳未満児21人分の入所受入枠を確保できた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">レインボー ※1</th> <th rowspan="2">増減</th> <th colspan="2">リトルマメイド ※2</th> <th rowspan="2">増減</th> </tr> <tr> <th>整備前</th> <th>整備後</th> <th>整備前</th> <th>整備後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0歳児</td> <td>0</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>1歳児</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>0</td> <td>6</td> <td>12</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>2歳児</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>0</td> <td>6</td> <td>12</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>3歳児</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>0</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>4歳児</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>0</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>5歳児</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>0</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>69</td> <td>75</td> <td>6</td> <td>60</td> <td>75</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table> <p>3歳未満児増員内訳</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>0歳児</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>1歳児</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>2歳児</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>21人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 レインボーインターナショナルフ リスクール ※2 リトルマメイド インターナショナルフ リスクール</p>										レインボー ※1		増減	リトルマメイド ※2		増減	整備前	整備後	整備前	整備後	0歳児	0	6	6	3	6	3	1歳児	12	12	0	6	12	6	2歳児	12	12	0	6	12	6	3歳児	15	15	0	15	15	0	4歳児	15	15	0	15	15	0	5歳児	15	15	0	15	15	0	合計	69	75	6	60	75	15	0歳児	9人	1歳児	6人	2歳児	6人	合計	21人
	レインボー ※1		増減	リトルマメイド ※2		増減																																																																						
	整備前	整備後		整備前	整備後																																																																							
0歳児	0	6	6	3	6	3																																																																						
1歳児	12	12	0	6	12	6																																																																						
2歳児	12	12	0	6	12	6																																																																						
3歳児	15	15	0	15	15	0																																																																						
4歳児	15	15	0	15	15	0																																																																						
5歳児	15	15	0	15	15	0																																																																						
合計	69	75	6	60	75	15																																																																						
0歳児	9人																																																																											
1歳児	6人																																																																											
2歳児	6人																																																																											
合計	21人																																																																											
成果に係る評価																																																																												
<p>待機児童の中で最も多い3歳未満児の受入枠が増えたことにより、保護者の就労支援と待機児童解消の一助となったが、今後も引き続き事業を継続し、待機児童の解消に取り組む必要がある。</p>																																																																												
(単位：円)																																																																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																						
	28,603,000	25,788,000	22,923,000			2,865,000																																																																						

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																																																																																																																		
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()																																																																																																																																		
	1 目	児童福祉総務費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()																																																																																																																																		
実施計画掲載ページ		P 87	中 事 業		私立認可保育所運営費																																																																																																																																				
事業コード		004-003-001-00130	事 業 名		私立保育所助成事業																																																																																																																																				
目的及び事業内容		私立認可保育所に運営費を給付し、運営の安定化を図ることにより、保育を必要とする保護者への支援と児童福祉の増進を図る。 また、延長保育実施施設に対して補助金を交付することで、安定した運営を図り、保育時間延長を希望する保護者の就労支援を行う。																																																																																																																																							
取組実績		<p>1 私立認可保育所16施設に対して、子ども・子育て支援法に基づき、子どものための教育・保育給付費の給付を行った。</p> <p>2 私立認可保育所15施設が実施している延長保育事業に対して、石巻市時間延長保育事業費補助金交付要綱に基づき交付を行った。</p> <p>【委託料等の内訳】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>施設数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>16</td> <td>1,424,996,240円</td> </tr> <tr> <td>補助金（延長保育）</td> <td>15</td> <td>7,322,000円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>—</td> <td>1,432,318,240円</td> </tr> </tbody> </table>								施設数	金額	委託料	16	1,424,996,240円	補助金（延長保育）	15	7,322,000円	合計	—	1,432,318,240円																																																																																																																					
	施設数	金額																																																																																																																																							
委託料	16	1,424,996,240円																																																																																																																																							
補助金（延長保育）	15	7,322,000円																																																																																																																																							
合計	—	1,432,318,240円																																																																																																																																							
成 果		<p>私立認可保育所の安定的な運営と延長保育事業の実施により、各保育所の特色を生かした保育内容により保育の質が向上し、就労支援と児童福祉の増進が図られ、保護者が安心して児童を預けられる環境が整えられた。（※延長保育事業は、各保育所で実施。但し、なかよし保育園を除く。）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">保 育 所 名</th> <th rowspan="2">認可定員</th> <th colspan="3">入所児童数（4月1日現在）</th> <th rowspan="2">延長保育</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>なかよし保育園</td> <td>60人</td> <td>63人</td> <td>61人</td> <td>61人</td> <td></td> <td>一時預かり事業実施</td> </tr> <tr> <td>ひまわり保育園</td> <td>90人</td> <td>88人</td> <td>87人</td> <td>91人</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>インターナショナル「リスクール」ノッチ</td> <td>70人</td> <td>71人</td> <td>67人</td> <td>71人</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ブルーバードインターナショナル「リスクール」</td> <td>100人</td> <td>106人</td> <td>94人</td> <td>97人</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>石巻ひがし保育園</td> <td>60人</td> <td>57人</td> <td>58人</td> <td>58人</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>石巻たから保育園</td> <td>60人</td> <td>56人</td> <td>48人</td> <td>58人</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>さくら保育園</td> <td>75人</td> <td>88人</td> <td>80人</td> <td>75人</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ケヤキズあゆみの保育園</td> <td>99人</td> <td>69人</td> <td>91人</td> <td>92人</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>乳幼児保育園ミルク</td> <td>85人</td> <td>55人</td> <td>76人</td> <td>84人</td> <td>○</td> <td>病後児保育事業実施</td> </tr> <tr> <td>レインボーインターナショナル「リスクール」</td> <td>70人</td> <td>36人</td> <td>62人</td> <td>69人</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ケヤキズさくらまち保育園</td> <td>90人</td> <td>47人</td> <td>65人</td> <td>87人</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ケヤキズのぞみの保育園</td> <td>90人</td> <td>48人</td> <td>69人</td> <td>92人</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>リトルメイドインターナショナル「リスクール」</td> <td>45人</td> <td>18人</td> <td>34人</td> <td>34人</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>広瀬保育所</td> <td>60人</td> <td>70人</td> <td>55人</td> <td>60人</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>メロン保育園</td> <td>140人</td> <td>158人</td> <td>159人</td> <td>155人</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アリス保育園</td> <td>70人</td> <td>73人</td> <td>76人</td> <td>73人</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,264人</td> <td>1,085人</td> <td>1,166人</td> <td>1,257人</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							保 育 所 名	認可定員	入所児童数（4月1日現在）			延長保育	備考	H30	R1	R2	なかよし保育園	60人	63人	61人	61人		一時預かり事業実施	ひまわり保育園	90人	88人	87人	91人	○		インターナショナル「リスクール」ノッチ	70人	71人	67人	71人	○		ブルーバードインターナショナル「リスクール」	100人	106人	94人	97人	○		石巻ひがし保育園	60人	57人	58人	58人	○		石巻たから保育園	60人	56人	48人	58人	○		さくら保育園	75人	88人	80人	75人	○		ケヤキズあゆみの保育園	99人	69人	91人	92人	○		乳幼児保育園ミルク	85人	55人	76人	84人	○	病後児保育事業実施	レインボーインターナショナル「リスクール」	70人	36人	62人	69人	○		ケヤキズさくらまち保育園	90人	47人	65人	87人	○		ケヤキズのぞみの保育園	90人	48人	69人	92人	○		リトルメイドインターナショナル「リスクール」	45人	18人	34人	34人	○		広瀬保育所	60人	70人	55人	60人	○		メロン保育園	140人	158人	159人	155人	○		アリス保育園	70人	73人	76人	73人	○		合計	1,264人	1,085人	1,166人	1,257人		
保 育 所 名	認可定員	入所児童数（4月1日現在）			延長保育	備考																																																																																																																																			
		H30	R1	R2																																																																																																																																					
なかよし保育園	60人	63人	61人	61人		一時預かり事業実施																																																																																																																																			
ひまわり保育園	90人	88人	87人	91人	○																																																																																																																																				
インターナショナル「リスクール」ノッチ	70人	71人	67人	71人	○																																																																																																																																				
ブルーバードインターナショナル「リスクール」	100人	106人	94人	97人	○																																																																																																																																				
石巻ひがし保育園	60人	57人	58人	58人	○																																																																																																																																				
石巻たから保育園	60人	56人	48人	58人	○																																																																																																																																				
さくら保育園	75人	88人	80人	75人	○																																																																																																																																				
ケヤキズあゆみの保育園	99人	69人	91人	92人	○																																																																																																																																				
乳幼児保育園ミルク	85人	55人	76人	84人	○	病後児保育事業実施																																																																																																																																			
レインボーインターナショナル「リスクール」	70人	36人	62人	69人	○																																																																																																																																				
ケヤキズさくらまち保育園	90人	47人	65人	87人	○																																																																																																																																				
ケヤキズのぞみの保育園	90人	48人	69人	92人	○																																																																																																																																				
リトルメイドインターナショナル「リスクール」	45人	18人	34人	34人	○																																																																																																																																				
広瀬保育所	60人	70人	55人	60人	○																																																																																																																																				
メロン保育園	140人	158人	159人	155人	○																																																																																																																																				
アリス保育園	70人	73人	76人	73人	○																																																																																																																																				
合計	1,264人	1,085人	1,166人	1,257人																																																																																																																																					
成果に係る評価		<p>少子化の傾向ではあるが、保護者の就労の変化や幼児教育・保育の無償化により、今後も入所希望は増加すると見込まれることや、待機児童の発生している観点からも、私立認可保育施設が担う役割は重要であるので、今後も引き続き事業を継続する必要がある。</p>																																																																																																																																							
（単位：円）																																																																																																																																									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																																																																						
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																																																			
	1,454,726,000	1,432,318,240	1,186,085,599		56,553,540	189,679,101																																																																																																																																			

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章		復興計画	()																																																																							
	3 項	児童福祉費		第 節			()																																																																							
	1 目	児童福祉総務費		()			()																																																																							
実施計画掲載ページ			中 事 業		地域型保育事業運営費																																																																									
事業コード			事 業 名		地域型保育事業																																																																									
目的及び事業内容		本市の地域型保育事業所（小規模保育事業所）に運営費を支弁して、地域型保育事業の運営の安定化を図ることにより、保育の受け皿を確保し、保育を必要とする保護者への支援と児童福祉の増進を図る。																																																																												
取組実績		<p>地域型保育事業所（小規模保育事業所）に対して、運営費を支弁し、運営の安定化を図り、保育の受け皿の確保に取り組んだ。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業所名</th> <th>認可年月</th> <th>給付費等の額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>GENKIっこ保育園石巻園</td> <td>H27.4</td> <td>31,503,380円</td> </tr> <tr> <td>ケヤキズへびた保育園</td> <td>H27.4</td> <td>43,734,220円</td> </tr> <tr> <td>ピーターパン石巻南中里園</td> <td>H28.4</td> <td>37,187,600円</td> </tr> <tr> <td>ケヤキズにばんやち保育園</td> <td>H28.4</td> <td>41,612,500円</td> </tr> <tr> <td>ちるびよ</td> <td>H28.4</td> <td>45,167,200円</td> </tr> <tr> <td>石巻中里メリー保育園</td> <td>H29.4</td> <td>31,109,600円</td> </tr> <tr> <td>ハビネス保育園</td> <td>H29.4</td> <td>45,001,360円</td> </tr> <tr> <td>吉田保育園</td> <td>H29.7</td> <td>41,304,520円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>316,620,380円</td> </tr> </tbody> </table>							事業所名	認可年月	給付費等の額	GENKIっこ保育園石巻園	H27.4	31,503,380円	ケヤキズへびた保育園	H27.4	43,734,220円	ピーターパン石巻南中里園	H28.4	37,187,600円	ケヤキズにばんやち保育園	H28.4	41,612,500円	ちるびよ	H28.4	45,167,200円	石巻中里メリー保育園	H29.4	31,109,600円	ハビネス保育園	H29.4	45,001,360円	吉田保育園	H29.7	41,304,520円	合計		316,620,380円																																								
事業所名	認可年月	給付費等の額																																																																												
GENKIっこ保育園石巻園	H27.4	31,503,380円																																																																												
ケヤキズへびた保育園	H27.4	43,734,220円																																																																												
ピーターパン石巻南中里園	H28.4	37,187,600円																																																																												
ケヤキズにばんやち保育園	H28.4	41,612,500円																																																																												
ちるびよ	H28.4	45,167,200円																																																																												
石巻中里メリー保育園	H29.4	31,109,600円																																																																												
ハビネス保育園	H29.4	45,001,360円																																																																												
吉田保育園	H29.7	41,304,520円																																																																												
合計		316,620,380円																																																																												
成 果		<p>子ども・子育て支援法に基づく支弁を行うことで、事業が安定的に運営でき、保護者の就労支援と児童福祉の増進に努めた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業所名</th> <th rowspan="2">認可定員</th> <th colspan="4">入所児童数（4月1日現在）</th> </tr> <tr> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>GENKIっこ保育園石巻園</td> <td>12人</td> <td>12人</td> <td>12人</td> <td>12人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>保育園ほこあぼこ</td> <td>15人</td> <td>10人</td> <td>10人</td> <td>10人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ケヤキズへびた保育園</td> <td>19人</td> <td>16人</td> <td>18人</td> <td>19人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ピーターパン石巻南中里園</td> <td>19人</td> <td>18人</td> <td>16人</td> <td>15人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ケヤキズにばんやち保育園</td> <td>19人</td> <td>17人</td> <td>19人</td> <td>19人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ちるびよ</td> <td>19人</td> <td>17人</td> <td>17人</td> <td>15人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>石巻中里メリー保育園</td> <td>19人</td> <td>19人</td> <td>9人</td> <td>14人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ハビネス保育園</td> <td>19人</td> <td>12人</td> <td>18人</td> <td>18人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>吉田保育園</td> <td>19人</td> <td>17人</td> <td>17人</td> <td>19人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>160人</td> <td>138人</td> <td>126人</td> <td>131人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							事業所名	認可定員	入所児童数（4月1日現在）				H30年度	R1年度	R2年度		GENKIっこ保育園石巻園	12人	12人	12人	12人		保育園ほこあぼこ	15人	10人	10人	10人		ケヤキズへびた保育園	19人	16人	18人	19人		ピーターパン石巻南中里園	19人	18人	16人	15人		ケヤキズにばんやち保育園	19人	17人	19人	19人		ちるびよ	19人	17人	17人	15人		石巻中里メリー保育園	19人	19人	9人	14人		ハビネス保育園	19人	12人	18人	18人		吉田保育園	19人	17人	17人	19人		合計	160人	138人	126人	131人	
事業所名	認可定員	入所児童数（4月1日現在）																																																																												
		H30年度	R1年度	R2年度																																																																										
GENKIっこ保育園石巻園	12人	12人	12人	12人																																																																										
保育園ほこあぼこ	15人	10人	10人	10人																																																																										
ケヤキズへびた保育園	19人	16人	18人	19人																																																																										
ピーターパン石巻南中里園	19人	18人	16人	15人																																																																										
ケヤキズにばんやち保育園	19人	17人	19人	19人																																																																										
ちるびよ	19人	17人	17人	15人																																																																										
石巻中里メリー保育園	19人	19人	9人	14人																																																																										
ハビネス保育園	19人	12人	18人	18人																																																																										
吉田保育園	19人	17人	17人	19人																																																																										
合計	160人	138人	126人	131人																																																																										
成果に係る評価		<p>地域型保育事業所（小規模保育事業所）は、待機児童が多い0歳児から2歳児までの保育の受け皿の拡大に寄与している。児童数が減少しているにも関わらず、保護者の就労の変化により、特に0歳から2歳児の入所申し込みは、今後も増加傾向が続くものと予想しており、その保育需要への主要な受け皿としても期待しているところである。今後は、小規模保育事業所の卒園児受け入れを切れ目のないよう調整を図り入所を促進する。</p>																																																																												
（単位：円）																																																																														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																											
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																																																								
	334,250,960	316,620,380	249,470,887			67,149,493																																																																								

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																																					
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()																																																					
	1 目	児童福祉総務費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()																																																					
実施計画掲載ページ	P 90		中 事 業	保育士確保支援事業費																																																								
事業コード	004-003-001-01238	事 業 名	保育士確保支援事業																																																									
目的及び事業内容	本市の保育士不足を解消するため、市内私立認可保育施設に常勤保育士等として新たに勤務する者に対し、就労支援金及び資格取得支援金を助成し、保育士資格取得の促進、保育施設への就職及び離職防止につなげ、安定した保育施設の運営を図るもの。																																																											
取組実績	令和2年度は、20名(新規：13名、継続：7名)に対し、就労支援金として2,300,000円を交付した。																																																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>補助金額</th> <th colspan="2">R1</th> <th colspan="2">R2</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th></th> <th>人数</th> <th>交付額</th> <th>人数</th> <th>交付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">就労支援金</td> <td>就労開始時</td> <td>転入有</td> <td>200,000円</td> <td>1人</td> <td>200,000円</td> <td>3人</td> <td>600,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>転入無</td> <td>100,000円</td> <td>6人</td> <td>600,000円</td> <td>10人</td> <td>1,000,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>勤続1年後</td> <td>100,000円</td> <td>13人</td> <td>1,300,000円</td> <td>7人</td> <td>700,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">資格取得支援金</td> <td>最大100,000円</td> <td>0人</td> <td>0円</td> <td>0人</td> <td>0円</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>最大300,000円</td> <td>20人</td> <td>2,100,000円</td> <td>20人</td> <td>2,300,000円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								区 分		補助金額	R1		R2					人数	交付額	人数	交付額	就労支援金	就労開始時	転入有	200,000円	1人	200,000円	3人	600,000円		転入無	100,000円	6人	600,000円	10人	1,000,000円		勤続1年後	100,000円	13人	1,300,000円	7人	700,000円	資格取得支援金		最大100,000円	0人	0円	0人	0円		計		最大300,000円	20人	2,100,000円	20人	2,300,000円	
区 分		補助金額	R1		R2																																																							
			人数	交付額	人数	交付額																																																						
就労支援金	就労開始時	転入有	200,000円	1人	200,000円	3人	600,000円																																																					
		転入無	100,000円	6人	600,000円	10人	1,000,000円																																																					
		勤続1年後	100,000円	13人	1,300,000円	7人	700,000円																																																					
資格取得支援金		最大100,000円	0人	0円	0人	0円																																																						
計		最大300,000円	20人	2,100,000円	20人	2,300,000円																																																						
成 果	令和2年度新たに私立認可保育所、小規模保育所に採用された13名の保育士及び前年度採用され継続して就労している7名の保育士に対し、就労支援金を助成し、保育士の就職支援、離職防止及び安定した保育人材の確保が図られた。																																																											
成果に係る評価	<p>保育士資格の新規取得者及び就労に寄与するため、本市が独自に実施している本事業について、関係機関等への周知を強化し、保育士の確保に努め、保育環境の充実を推進する必要がある。</p> <p>また、本事業については、令和2年度で終了予定であったが、保育士不足の現状を踏まえ、今後も保育施設の安定的な継続を維持する必要があることから令和5年度まで事業の継続を行う。</p> <p>なお、令和6年度以降の継続については、再編計画の進捗や保育士の有効求人倍率等を確認したうえで検討する。</p>																																																											
予算の執行状況	(単位：円)																																																											
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																						
	2,400,000	2,300,000				2,300,000																																																						

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																											
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()																											
	1 目	児童福祉総務費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()																											
実施計画掲載ページ	P 91		中 事 業	母子支援事業費																														
事業コード	004-003-001-00146	事 業 名	助産施設入所助成事業																															
目的及び事業内容	母子保健上必要があるにもかかわらず、経済的な理由により入院助産を受けることができない妊産婦に対し出産費用を助成することにより、安心して出産ができるよう助産施設への入所を図る。																																	
取組実績	<p>1 助産施設 県内8施設が対象</p> <table border="1"> <tr> <td>石巻赤十字病院</td> <td>仙台医療センター</td> <td>東北大学病院</td> </tr> <tr> <td>仙台市立病院</td> <td>仙台赤十字病院</td> <td>気仙沼市立病院</td> </tr> <tr> <td>大崎市民病院</td> <td>スズキ記念病院</td> <td></td> </tr> </table> <p>2 利用対象者</p> <table border="1"> <tr> <td>保健上必要</td> <td>異常分娩のおそれがある場合だけでなく、正常分娩の予想であっても住居が狭小であるとか、多子世帯で人手がない、あるいは、不衛生等のため家庭環境が劣悪で安全な分娩が期待できない場合等</td> </tr> <tr> <td>経済的理由</td> <td>一般の産科病院、診療所または助産所へ入院するための費用の全額を自分で負担することができない場合等</td> </tr> </table>								石巻赤十字病院	仙台医療センター	東北大学病院	仙台市立病院	仙台赤十字病院	気仙沼市立病院	大崎市民病院	スズキ記念病院		保健上必要	異常分娩のおそれがある場合だけでなく、正常分娩の予想であっても住居が狭小であるとか、多子世帯で人手がない、あるいは、不衛生等のため家庭環境が劣悪で安全な分娩が期待できない場合等	経済的理由	一般の産科病院、診療所または助産所へ入院するための費用の全額を自分で負担することができない場合等													
石巻赤十字病院	仙台医療センター	東北大学病院																																
仙台市立病院	仙台赤十字病院	気仙沼市立病院																																
大崎市民病院	スズキ記念病院																																	
保健上必要	異常分娩のおそれがある場合だけでなく、正常分娩の予想であっても住居が狭小であるとか、多子世帯で人手がない、あるいは、不衛生等のため家庭環境が劣悪で安全な分娩が期待できない場合等																																	
経済的理由	一般の産科病院、診療所または助産所へ入院するための費用の全額を自分で負担することができない場合等																																	
成 果	<p>経済的な理由により、助産施設を利用できない妊産婦の安全な出産確保が図られた。利用者は就労困難や家族等の支援が乏しい場合が多いため、より安心して出産できるよう、相談・申請の段階において、保健師及び家庭児童相談員による適切な母子支援を行い、安心して出産できる体制づくりに努めた。</p> <p>(利用実績)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">利用施設名</th> <th rowspan="2">利用者数</th> <th colspan="2">区 分</th> </tr> <tr> <th>普通分娩</th> <th>帝王切開</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>石巻赤十字病院</td> <td>6人</td> <td>5</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>石巻赤十字病院</td> <td>4人</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R2</td> <td>石巻赤十字病院</td> <td>4人</td> <td>4</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>東北大学病院</td> <td>1人</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>								年度	利用施設名	利用者数	区 分		普通分娩	帝王切開	H30	石巻赤十字病院	6人	5	1	R1	石巻赤十字病院	4人	2	2	R2	石巻赤十字病院	4人	4	0	東北大学病院	1人	0	1
年度	利用施設名	利用者数	区 分																															
			普通分娩	帝王切開																														
H30	石巻赤十字病院	6人	5	1																														
R1	石巻赤十字病院	4人	2	2																														
R2	石巻赤十字病院	4人	4	0																														
	東北大学病院	1人	0	1																														
成果に係る評価	<p>毎年、特定妊婦からの相談によるものが多く、出産費用とその後の養育費用は大きな負担となっていることから、この助成制度を利用することで金銭面での悩みが軽減し、安全な分娩に繋げることができた。</p> <p>今後も経済的理由等により入院助産を受けることができない方が安心して出産できるよう、病院及び各関係機関と連携を図りながら、より良い養育環境づくりに努めていく。</p> <p>児童福祉法に基づく安全な出産を確保するための施策であり、今後とも継続して実施していく必要がある。</p>																																	
予算の執行状況	(単位：円)																																	
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																												
	4,060,000	3,008,271	2,062,663			945,608																												

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																	
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()																	
	1 目	児童福祉総務費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()																	
実施計画掲載ページ	P 92		中 事 業	母子支援事業費																				
事業コード	004-003-001-00148	事 業 名	養育支援訪問事業（ホームヘルパー支援事業）																					
目的及び事業内容	<p>要保護児童対策の一環として、養育支援が特に必要であると判断した家庭に対し、保健師、助産師、ホームヘルパー等がその居宅を訪問し、養育に関する指導・助言等を行い、当該家庭の適切な養育の確保を図る。</p>																							
取組実績	<p>育児に対する強い不安や不衛生な生活環境にあるなど、特に養育支援が必要とされる家庭に対しホームヘルパー、保健師、助産師等を派遣し、家事援助や育児支援を行い、適切な養育環境の確保を実施した。</p> <p>1 対象者 (1) 生活環境等が不適切な養育状態にあり、虐待の恐れがある家庭 (2) 出産後、間もない時期（概ね1年程度）の養育者が育児ストレス等により強い不安を抱える家庭 (3) 若年の妊婦、望まない妊娠などで妊娠前から継続的な支援が必要とする家庭</p> <p>2 支援内容 (1) ホームヘルパーによる育児、家事の援助 (2) 保健師、助産師などによる専門的な育児指導及び栄養指導</p> <p>3 派遣可否の決定 「養育支援個別ケース検討会議」を開催し決定</p> <p>4 支援基準 1回2時間以内、1日2回まで</p> <p>5 委託先 社会福祉法人 石巻市社会福祉協議会</p>																							
成 果	<p>ホームヘルパー等による育児・家事の援助及び子どもの養育に関する指導・助言などを行うことで、家事負担や育児不安の軽減が図られ、養育環境の改善と子どもの安全が守られた。</p> <p>【ホームヘルパー派遣利用実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用世帯数</th> <th>利用延回数</th> <th>派遣時間数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>2世帯</td> <td>103回</td> <td>103時間</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>1世帯</td> <td>4回</td> <td>4時間</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>5世帯</td> <td>213回</td> <td>201時間</td> </tr> </tbody> </table>								年度	利用世帯数	利用延回数	派遣時間数	H30	2世帯	103回	103時間	R1	1世帯	4回	4時間	R2	5世帯	213回	201時間
年度	利用世帯数	利用延回数	派遣時間数																					
H30	2世帯	103回	103時間																					
R1	1世帯	4回	4時間																					
R2	5世帯	213回	201時間																					
成果に係る評価	<p>関係機関・団体との連携により、ヘルパーが母親に寄り添いながら、買い物支援や食事の介助等を行ったが、ヘルパーを派遣しその家庭に入り込むことは、虐待リスクの軽減にも繋がることから、特に養育支援が必要とされる家庭や若年齢で出産するケースには重要な事業である。</p> <p>今後も子どもの安定した養育環境を確保するとともに、母親の育児ストレスが少しでも解消されるよう、サポート体制の充実に努め、本事業を継続して実施していく必要がある。</p>																							
(単位：円)																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																		
	708,000	450,240	300,000				150,240																	

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																							
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()																																							
	1 目	児童福祉総務費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()																																							
実施計画掲載ページ	P 84		中 事 業	子ども・子育て支援事業費																																										
事業コード	004-003-001-01045	事 業 名	子育て世代包括支援センター事業（地域子ども・子育て利用者支援事業）																																											
目的及び事業内容	<p>妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援を実施し、安心して子どもを生み育てられる環境づくりを目的とする。子ども又はその保護者に身近な場所での、教育・保育・保健その他の子ども・子育て支援の情報提供及び必要に応じ相談・助言等を行うとともに、関係機関との連携調整等を行う。</p>																																													
取組実績	<p>妊娠期から出産・子育て期までの各ステージを包括的に網羅する仕組みとして、地域子ども・子育て利用者支援事業を子育て世代包括支援センター事業と位置づけ平成28年11月より実施。基本型を子育て支援課、特定型を子ども保育課、母子保健型を健康推進課に置き、総合支所市民福祉課も一体化した体制とする。基本型の機能として子育て支援課では子育てに関する相談及び講話を実施。より子育て世代が身近で相談しやすい体制作りのために、民間子育て支援団体へも業務委託している。</p> <p>※民間子育て支援団体：特定非営利活動法人ベビースマイル石巻（平成28年11月から）、特定非営利活動法人石巻復興支援ネットワーク（令和2年7月から）</p> <p>基本型…「利用者支援」と「地域連携」を担い、妊産婦、生活、発育（発達）、医学的問題、家庭環境等に関する相談及び情報提供を行う。 パート助産師が、市内の子育て支援センターを巡回し子どもの成長測定等を実施する際に子育てに関する専門的な相談及び講話を行う。</p> <p>特定型…市の窓口において、保育所入所に関する相談を行う。 母子保健型…保健師等の専門職が関係機関と協力しながら、妊産婦及び乳幼児に関する専門的な相談を行う。</p>																																													
成 果	<p>基本型の機能としては、委託箇所を増設し、体制強化が図られた。また、事業としては、子育て支援センターに助産師が出向出張相談の充実に努め、ホームページ内に「教えて助産師さん」として、助産師からの妊娠、子育てに関するアドバイス情報を発信することで、一人で悩まず子育てできる環境づくりが図られた。</p> <p>相談件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">基本型</th> <th rowspan="2">特定型</th> <th rowspan="2">母子保健型</th> <th rowspan="2">計</th> </tr> <tr> <th>直営</th> <th>委託</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28年度</td> <td>31件</td> <td>137件</td> <td>170件</td> <td>402件</td> <td>740件</td> </tr> <tr> <td>H29年度</td> <td>183件</td> <td>793件</td> <td>524件</td> <td>877件</td> <td>2,377件</td> </tr> <tr> <td>H30年度</td> <td>369件</td> <td>505件</td> <td>411件</td> <td>816件</td> <td>2,101件</td> </tr> <tr> <td>R1年度</td> <td>627件</td> <td>747件</td> <td>677件</td> <td>741件</td> <td>2,792件</td> </tr> <tr> <td>R2年度</td> <td>201件</td> <td>378件</td> <td>695件</td> <td>814件</td> <td>2,088件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和2年度は新型コロナウイルス感染予防から予約制での相談になり相談件数が減少した。</p>								年度	基本型		特定型	母子保健型	計	直営	委託	H28年度	31件	137件	170件	402件	740件	H29年度	183件	793件	524件	877件	2,377件	H30年度	369件	505件	411件	816件	2,101件	R1年度	627件	747件	677件	741件	2,792件	R2年度	201件	378件	695件	814件	2,088件
年度	基本型		特定型	母子保健型	計																																									
	直営	委託																																												
H28年度	31件	137件	170件	402件	740件																																									
H29年度	183件	793件	524件	877件	2,377件																																									
H30年度	369件	505件	411件	816件	2,101件																																									
R1年度	627件	747件	677件	741件	2,792件																																									
R2年度	201件	378件	695件	814件	2,088件																																									
成果に係る評価	<p>新型コロナウイルス感染予防から予約制で実施することにより、基本型の相談件数が減少したが、各種の相談に対し必要な情報提供・助言を行い、必要に応じて、より専門的な窓口へ丁寧につなぐことが、利用者の育児への不安の軽減につながり、子育てしやすい環境づくりの一助となっている。</p>																																													
(単位：円)																																														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																								
	15,694,000	15,076,692	10,050,000				5,026,692																																							

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																									
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()																									
	1 目	児童福祉総務費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()																									
実施計画掲載ページ		P 83	中 事 業		子ども・子育て支援事業費																											
事業コード		004-003-001-00140	事 業 名		病後児等保育事業																											
目的及び事業内容		児童の保護者が就労等により病気の児童を保育することが困難である場合において、保育需要に対応するため、市が業務を委託した保育所において病気の回復期の児童を一時的に保育するほか、保育中に体調不良となった児童へ緊急対応することにより、保護者が安心して子育てができる環境を整備し、もって児童の福祉の向上を図ることを目的とする。																														
取組実績		<p>1 病後児保育対応型 平成29年4月より特定非営利活動法人乳幼児保育園ミルクに業務を委託し開始。児童が病気の「回復期」であり、かつ、集団保育が困難な期間において、当該保育所等に付設された専用スペースで一時的に保育を実施。保育所・幼稚園等に通園している児童及び市内に住所を有する児童で概ね生後6か月から就学前の児童。1日の定員は3名。看護師、保育士を1名ずつ配置。職員は利用の少ない日に、市内保育所等に対し感染症流行状況、予防策等の情報提供や巡回支援等を適宜実施した。</p> <p>2 体調不良児対応型 平成28年9月より特定非営利活動法人乳幼児保育園ミルクに業務を委託し開始。本保育所に通所する児童が保育中に微熱を出すなど「体調不良」となった場合に保健的な対応等を図る事業。看護師を1名配置し、預かる児童は2名まで。 担当看護師は、実施保育所における児童全体の健康管理、衛生管理等の保健的な対応を日常的に行うとともに、地域の子育て支援センターを会場に子育て家庭や妊産婦等に対する相談支援を、地域のニーズに応じて定期的実施した。</p>																														
成果		<p>病後児対応型は、新型コロナウイルス感染症予防から年間利用者数が減少したが、感染症予防策の情報提供等を行う回数は増加した。また、体調不良時対応型は、担当看護師による子育て支援センターでの保健講話や相談支援の実施が定着してきているが、感染症予防から人数制限しての相談支援等を実施してきた結果、相談人数が若干減少している。</p> <p>1 病後児対応型</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>年間利用者</th> <th>感染症予防策情報提供等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30年度</td> <td>63人</td> <td>132回</td> </tr> <tr> <td>R元年度</td> <td>143人</td> <td>92回</td> </tr> <tr> <td>R2年度</td> <td>72人</td> <td>165回</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 体調不良児対応型</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>年間利用者</th> <th>相談支援等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30年度</td> <td>234人</td> <td>105人</td> </tr> <tr> <td>R元年度</td> <td>213人</td> <td>308人</td> </tr> <tr> <td>R2年度</td> <td>224人</td> <td>230人</td> </tr> </tbody> </table>							年度	年間利用者	感染症予防策情報提供等	H30年度	63人	132回	R元年度	143人	92回	R2年度	72人	165回	年度	年間利用者	相談支援等	H30年度	234人	105人	R元年度	213人	308人	R2年度	224人	230人
年度	年間利用者	感染症予防策情報提供等																														
H30年度	63人	132回																														
R元年度	143人	92回																														
R2年度	72人	165回																														
年度	年間利用者	相談支援等																														
H30年度	234人	105人																														
R元年度	213人	308人																														
R2年度	224人	230人																														
成果に係る評価		<p>本事業の開始以降、事業の周知を継続的に図りつつ、病後児保育対応型は、対象児童を市内に住所を有している児童等に応げるなど、保護者が安心して子育てができる環境の整備に努めており、一定の成果を残すことができている。 令和3年度は、事前登録におけるオンライン登録をさらに強化し、コロナ禍における状況に留意し、推進を図っていく。</p>																														
(単位：円)																																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																										
	9,598,000	9,079,000	6,052,000			3,027,000																										

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																										
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()																										
	1 目	児童福祉総務費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()																										
実施計画掲載ページ		P 86	中 事 業		子ども・子育て支援事業費																												
事業コード		004-003-001-01221	事 業 名		小学校入学祝金支給事業																												
目的及び事業内容		第2子、第3子を設ける家庭が減少していることから、人口減少を止めることと子育て家庭が第2子、第3子を安心して産める子育て支援の環境の充実の一つとして第2子以降に入学祝金を支給している。																															
取組実績		<p>平成30年度より第2子以降の子どもを持つ保護者に入学祝金の対象者を拡大して実施した。市報及び市のホームページに掲載して周知を図るとともに、市内各小学校1年生に申請書を配付し、対象者の確実な支給に努めた。</p> <p>【支給状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>第3子以降</th> <th>第2子</th> <th>支給者合計</th> <th>支給額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>162人</td> <td></td> <td>162人</td> <td>4,860,000円</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>157人</td> <td>346人</td> <td>503人</td> <td>15,090,000円</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>180人</td> <td>369人</td> <td>549人</td> <td>16,470,000円</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>203人</td> <td>405人</td> <td>608人</td> <td>18,240,000円</td> </tr> </tbody> </table>							年度	第3子以降	第2子	支給者合計	支給額	H29	162人		162人	4,860,000円	H30	157人	346人	503人	15,090,000円	R1	180人	369人	549人	16,470,000円	R2	203人	405人	608人	18,240,000円
年度	第3子以降	第2子	支給者合計	支給額																													
H29	162人		162人	4,860,000円																													
H30	157人	346人	503人	15,090,000円																													
R1	180人	369人	549人	16,470,000円																													
R2	203人	405人	608人	18,240,000円																													
成果		<p>第2子以降の子で小学校に入学する児童を監護する保護者等に対して、小学校入学祝金として1人につき3万円を支給することによって、少子化対策の推進及び子育て家庭等における経済的負担の軽減に一定の成果があった。</p>																															
成果に係る評価		<p>第2子以降の子で小学校に入学する児童を監護する保護者等に対して、安定した子育てしやすい環境を整えることに寄与している。 また、本事業を継続的に実施することにより少子化対策の一助となっている。</p>																															
(単位：円)																																	
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																														
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																											
	18,364,294	18,364,294	3,045,000			15,319,294																											

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																									
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()																									
	1 目	児童福祉総務費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()																									
実施計画掲載ページ		P 85	中 事 業	子育て支援センター管理費																												
事業コード	004-003-001-01046	事 業 名	地域子ども・子育て支援拠点事業																													
目的及び事業内容																																
<p>家庭や地域における子育て機能の低下や子育て中の親の孤独感、不安感の増大等に対応するため、地域において子育て親子の交流等を促進する子育て支援拠点の設置を推進することにより、地域の子育て支援機能の充実を図り、もって子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援する。</p>																																
<p>基本事業</p> <p>(1) 子育て親子が気軽かつ自由に利用できる場の提供</p> <p>(2) 子育てに不安、悩み等を持つ子育て親子に対する相談及び援助の実施</p> <p>(3) 子育て親子が必要とする身近な地域の子育て支援に関する情報の提供</p> <p>(4) 子育て及び子育て支援に関する講習等を月1回以上実施</p> <p>子育て支援センター開設か所 (12か所)</p> <table border="1"> <tr> <td>湊子育て支援センター</td> <td>湊こども園内</td> <td>北上子育て支援センター</td> <td>相川保育所内</td> </tr> <tr> <td>渡波子育て支援センター</td> <td>渡波保育所内</td> <td>杜鹿子育て支援センター</td> <td>杜鹿保健福祉センター内</td> </tr> <tr> <td>河北子育て支援センター</td> <td>飯野川保育所内</td> <td>釜子育て支援センター</td> <td>釜保育所内</td> </tr> <tr> <td>雄勝子育て支援センター</td> <td>雄勝保育所内</td> <td>なかよし保育園地域子育て支援センター</td> <td>なかよし保育園内</td> </tr> <tr> <td>河南子育て支援センター</td> <td>河南農村環境改善センター内</td> <td>NPO法人ベビースマイル石巻</td> <td>石巻市蛇田字土和田</td> </tr> <tr> <td>桃生子育て支援センター</td> <td>桃生バイオ研修センター内</td> <td>NPO法人にじいろクレヨン</td> <td>石巻市大街道西二丁目</td> </tr> </table>									湊子育て支援センター	湊こども園内	北上子育て支援センター	相川保育所内	渡波子育て支援センター	渡波保育所内	杜鹿子育て支援センター	杜鹿保健福祉センター内	河北子育て支援センター	飯野川保育所内	釜子育て支援センター	釜保育所内	雄勝子育て支援センター	雄勝保育所内	なかよし保育園地域子育て支援センター	なかよし保育園内	河南子育て支援センター	河南農村環境改善センター内	NPO法人ベビースマイル石巻	石巻市蛇田字土和田	桃生子育て支援センター	桃生バイオ研修センター内	NPO法人にじいろクレヨン	石巻市大街道西二丁目
湊子育て支援センター	湊こども園内	北上子育て支援センター	相川保育所内																													
渡波子育て支援センター	渡波保育所内	杜鹿子育て支援センター	杜鹿保健福祉センター内																													
河北子育て支援センター	飯野川保育所内	釜子育て支援センター	釜保育所内																													
雄勝子育て支援センター	雄勝保育所内	なかよし保育園地域子育て支援センター	なかよし保育園内																													
河南子育て支援センター	河南農村環境改善センター内	NPO法人ベビースマイル石巻	石巻市蛇田字土和田																													
桃生子育て支援センター	桃生バイオ研修センター内	NPO法人にじいろクレヨン	石巻市大街道西二丁目																													
取組実績																																
<p>親子・家庭・地域社会の交わりをつくりだす場が定着し、主任児童委員をはじめとする地域住民との連携が図られている。また、支援センターの指導員は、利用親子の身近な相談業務を行い、育児不安解消の一助に繋げている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>項目</th> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>電話・来所・訪問 (相談件数)</td> <td>3,268件</td> <td>3,179件</td> <td>1,845件</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>子育てサークル支援 (支援件数)</td> <td>550件</td> <td>678件</td> <td>306件</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>親子教室・遊びの広場 (参加親子数)</td> <td>16,701組</td> <td>13,590組</td> <td>8,032組</td> </tr> </tbody> </table>									No.	項目	H30年度	R1年度	R2年度	1	電話・来所・訪問 (相談件数)	3,268件	3,179件	1,845件	2	子育てサークル支援 (支援件数)	550件	678件	306件	3	親子教室・遊びの広場 (参加親子数)	16,701組	13,590組	8,032組				
No.	項目	H30年度	R1年度	R2年度																												
1	電話・来所・訪問 (相談件数)	3,268件	3,179件	1,845件																												
2	子育てサークル支援 (支援件数)	550件	678件	306件																												
3	親子教室・遊びの広場 (参加親子数)	16,701組	13,590組	8,032組																												
成果																																
<p>親子教室・遊びの広場の利用者が年々減少しており、出生数の減少や、3歳未満の子どもの保育施設利用の増加が関係していると考えられる。また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予約制にして、人数制限を設けて開催した結果、大幅に減少した。子育ての悩みや不安を気兼ねなく相談できる場所としての機能や、子育てサークル支援による地域との交流活動を通じた地域における子育て親子の交流等を促進するという機能を充実し本事業の推進を図っていく。</p>																																
成果に係る評価																																
(単位：円)																																
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																											
	76,123,000		70,303,302		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																								
				46,868,000			23,435,302																									

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																																																																	
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()																																																																																	
	1 目	児童福祉総務費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()																																																																																	
実施計画掲載ページ		P 83	中 事 業	子ども・子育て支援事業費																																																																																				
事業コード	004-003-001-00133	事 業 名	ファミリーサポート事業																																																																																					
目的及び事業内容																																																																																								
<p>・市民が相互に行う育児援助活動に対し、その活動を支援することにより安心して子育てができる環境づくりを推進する。</p> <p>・仕事と家庭の両立や保護者の急用等により子ども(市内在住で概ね生後2ヶ月から小学6年生)を預かってほしい場合に、石巻市ファミリーサポートセンターへ登録した会員同士がそれぞれの信頼のもとに相互援助活動を行う。</p>																																																																																								
取組実績																																																																																								
<p>1 事業委託先 特定非営利活動法人 ベビースマイル石巻</p> <p>2 事務局開局日及び体制 月曜日から土曜日 午前9時～午後4時 3名のアドバイザー配置</p> <p>3 会員数 (1) 協力会員 89人 (2) 利用会員 387人 (3) 両方会員 72人</p> <p>4 利用件数 2,411件</p> <p>5 協力会員の研修の実施 ・新規協力会員の初回研修 3回 ・既協会員のステップアップ研修 3回</p> <p>6 事業PRの推進 ・会報の発行 5回 ・会員の交流会 1回</p>																																																																																								
<p>平成30年度から民間事業者への業務委託により実施し、より利用しやすい体制としたことで会員登録数及び利用件数の増加傾向が継続している。</p>																																																																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">利用件数</th> <th colspan="4">成果指標</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>区分</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>達成率等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仕事(仕事復帰準備含む)</td> <td>704件</td> <td>514件</td> <td>410件</td> <td>H30</td> <td>1,500件</td> <td>1,443件</td> <td>96%</td> </tr> <tr> <td>保育所・幼稚園の送り</td> <td>344件</td> <td>232件</td> <td>340件</td> <td>R1</td> <td>1,500件</td> <td>1,763件</td> <td>118%</td> </tr> <tr> <td>保育所・幼稚園の迎え</td> <td>140件</td> <td>166件</td> <td>216件</td> <td>R2</td> <td>1,500件</td> <td>2,411件</td> <td>161%</td> </tr> <tr> <td>小学校への送迎</td> <td>3件</td> <td>4件</td> <td>155件</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>保護者の外出の際の援助</td> <td>98件</td> <td>58件</td> <td>170件</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>放課後児童クラブの迎え</td> <td>38件</td> <td>79件</td> <td>509件</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>278件</td> <td>710件</td> <td>611件</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,605件</td> <td>1,763件</td> <td>2,411件</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									利用件数				成果指標				項目	H30年度	R1年度	R2年度	区分	目標値	実績値	達成率等	仕事(仕事復帰準備含む)	704件	514件	410件	H30	1,500件	1,443件	96%	保育所・幼稚園の送り	344件	232件	340件	R1	1,500件	1,763件	118%	保育所・幼稚園の迎え	140件	166件	216件	R2	1,500件	2,411件	161%	小学校への送迎	3件	4件	155件					保護者の外出の際の援助	98件	58件	170件					放課後児童クラブの迎え	38件	79件	509件					その他	278件	710件	611件					合計	1,605件	1,763件	2,411件				
利用件数				成果指標																																																																																				
項目	H30年度	R1年度	R2年度	区分	目標値	実績値	達成率等																																																																																	
仕事(仕事復帰準備含む)	704件	514件	410件	H30	1,500件	1,443件	96%																																																																																	
保育所・幼稚園の送り	344件	232件	340件	R1	1,500件	1,763件	118%																																																																																	
保育所・幼稚園の迎え	140件	166件	216件	R2	1,500件	2,411件	161%																																																																																	
小学校への送迎	3件	4件	155件																																																																																					
保護者の外出の際の援助	98件	58件	170件																																																																																					
放課後児童クラブの迎え	38件	79件	509件																																																																																					
その他	278件	710件	611件																																																																																					
合計	1,605件	1,763件	2,411件																																																																																					
成果																																																																																								
<p>コロナ禍においても、民間事業者による広報活動の成果や利用しやすい体制の強化により、会員登録数及び利用件数は増加している。特に小学校への送迎や放課後児童クラブの迎えについては、各施設に対し、チラシの配布、事業説明を行ってきた結果、利用者の増加に繋がっている。なお、利用者の中には複雑な問題を抱えている場合もあるため、更なる研修の強化と関係機関の連携を図っていく。</p>																																																																																								
成果に係る評価																																																																																								
(単位：円)																																																																																								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																																																																			
	5,400,000		4,996,140		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																
				3,330,000			1,666,140																																																																																	

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																												
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()																																												
	1 目	児童福祉総務費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()																																												
実施計画掲載ページ		P 85	中 事 業		子ども・子育て支援事業費																																														
事業コード		004-003-001-01055	事 業 名		助産師による産前産後「心とからだのトータルケア」推進事業																																														
目的及び事業内容		妊娠期から子育て期にわたり、妊産婦が相談や講座等で専門職である助産師と関わることにより、妊娠・出産・育児に関する正しい知識を習得し、安心して産前産後を過ごし、子育てできることを目的とする。																																																	
取組実績		<p>同事業は、石巻市役所2階授乳室で助産師による妊産婦相談を実施した。</p> <p>令和2年7月からは、ささえあいセンター内の石巻復興支援ネットワークに委託している。</p> <p>1 心とからだのトータルケア推進事業 要予約 会場：ささえあいセンターいっしょえきまえ内 内容：妊婦向け講座 出産準備の講話や、沐浴体験・妊婦体験等を通して子育てについて学ぶ。</p> <p>2 妊産婦相談（対面相談・オンライン相談）要予約 会場：ささえあいセンターいっしょえきまえ内 内容：母乳育児等の個別相談</p>																																																	
成 果		<p>助産師の専門性を活かした妊婦向け講座と妊産婦相談については継続して実施することで、妊娠期から子育て期に関する知識を獲得することができた。事業終了時には、アンケートを実施し、集計結果から子育てに関して関心が高い結果となった。</p> <p>1 妊婦向け講座</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>回数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>17回</td> <td>167人</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>14回</td> <td>131人</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>11回</td> <td>147人</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>7回</td> <td>48人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 妊産婦相談</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">回数</th> <th colspan="3">参加者数</th> </tr> <tr> <th>妊婦</th> <th>産婦</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>48回</td> <td>11人</td> <td>148人</td> <td>159人</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>48回</td> <td>2人</td> <td>158人</td> <td>160人</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>46回</td> <td>0人</td> <td>130人</td> <td>130人</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>44回</td> <td>6人</td> <td>63人</td> <td>69人</td> </tr> </tbody> </table>								回数	参加者数	H29	17回	167人	H30	14回	131人	R1	11回	147人	R2	7回	48人		回数	参加者数			妊婦	産婦	合計	H29	48回	11人	148人	159人	H30	48回	2人	158人	160人	R1	46回	0人	130人	130人	R2	44回	6人	63人	69人
	回数	参加者数																																																	
H29	17回	167人																																																	
H30	14回	131人																																																	
R1	11回	147人																																																	
R2	7回	48人																																																	
	回数	参加者数																																																	
		妊婦	産婦	合計																																															
H29	48回	11人	148人	159人																																															
H30	48回	2人	158人	160人																																															
R1	46回	0人	130人	130人																																															
R2	44回	6人	63人	69人																																															
成果に係る評価		令和2年度は、新型コロナウイルス感染予防から予約制とし、参加人数を制限しながら事業を進めた。妊娠期から、助産師による専門的な相談及び講座を受けることで知識を獲得し子育て期を安心して過ごすことに寄与できたと考えられる。子育て世代包括支援センター事業に包含して行うことで、妊娠期からのより切れ目のない支援となっているため、さらに、その機能を充実させていく。																																																	
(単位：円)																																																			
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																														
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																											
	1,221,000		648,845		324,000			324,845																																											

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																			
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()																			
	2 目	児童手当費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()																			
実施計画掲載ページ		P 81	中 事 業		児童手当費																					
事業コード		004-003-001-00124	事 業 名		児童手当支給事業																					
目的及び事業内容		<p>中学校修了前の児童を養育している保護者に、児童手当を支給することにより、家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的とする。</p> <p>3歳未満及び小学生までの第3子以降 15,000円 小学生までの第1子、第2子及び中学生まで 10,000円 所得制限以上の所得がある者は中学生まで一律 5,000円</p>																								
取組実績		<p>【令和2年度支給状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>支給対象延べ人数</th> <th>支給総額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>随時払</td> <td>2,532人</td> <td>26,160,000円</td> </tr> <tr> <td>定例払</td> <td>167,295人</td> <td>1,841,165,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>169,827人</td> <td>1,867,325,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※定例払・・・2月、6月、10月（前月までの4か月分を支給） 随時払・・・定例払の月を除く各月（資格喪失者等）</p>								支給対象延べ人数	支給総額	随時払	2,532人	26,160,000円	定例払	167,295人	1,841,165,000円	計	169,827人	1,867,325,000円						
	支給対象延べ人数	支給総額																								
随時払	2,532人	26,160,000円																								
定例払	167,295人	1,841,165,000円																								
計	169,827人	1,867,325,000円																								
成 果		<p>児童を養育している保護者に手当を支給することにより、生活の安定と次代の社会を担う児童の健全育成が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>支給対象延児童数</th> <th>支給総額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>192,127人</td> <td>2,128,610,000円</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>187,098人</td> <td>2,064,210,000円</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>181,387人</td> <td>1,995,510,000円</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>175,592人</td> <td>1,928,295,000円</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>169,827人</td> <td>1,867,325,000円</td> </tr> </tbody> </table>							年度	支給対象延児童数	支給総額	H28	192,127人	2,128,610,000円	H29	187,098人	2,064,210,000円	H30	181,387人	1,995,510,000円	R1	175,592人	1,928,295,000円	R2	169,827人	1,867,325,000円
年度	支給対象延児童数	支給総額																								
H28	192,127人	2,128,610,000円																								
H29	187,098人	2,064,210,000円																								
H30	181,387人	1,995,510,000円																								
R1	175,592人	1,928,295,000円																								
R2	169,827人	1,867,325,000円																								
成果に係る評価		対象児童数の減少により支給額は減少傾向にある。少子化が問題となっている現在、子育てしやすい環境づくりや社会形成が喫緊の課題となっており、当事業はその一助を担っている。今後も国の動向を踏まえて情報の発信と適正な給付に努め、子育て世帯の生活の安定を図る必要がある。																								
(単位：円)																										
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																					
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																		
	1,871,020,000		1,867,325,000		1,582,594,163			284,730,837																		

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																					
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()																																					
	3 目	児童扶養手当費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()																																					
実施計画掲載ページ		P 82		中 事 業	児童扶養手当費																																							
事業コード		004-003-001-00126		事 業 名	児童扶養手当支給事業																																							
<p>目的及び事業内容</p> <p>父又は母と生計を同じくしていない児童が育成される家庭の生活の安定と自立の促進に寄与するため、当該児童について児童扶養手当を支給し、児童の福祉の向上を図る。</p>																																												
<p>取組実績</p> <p>1 支給要件 下記に該当する児童を養育している者（父、母又は養育者）に支給される。 ・父母が婚姻を解消、又は死亡した児童 ・婚姻によらず未婚で出生した児童 ・父又は母が政令で定める程度の障害にある児童 など</p> <p>2 手当額 R2.4月～ 全部支給 43,160円 一部支給 43,150円～10,180円 2人目 全部支給 10,190円 一部支給 10,180円～ 5,100円 3人目以降 全部支給 6,110円 一部支給 6,100円～ 3,060円</p> <p>3 児童扶養手当支給の実施 父又は母と生計を同じくしていない児童が育成される家庭に支給した。 支給対象者 1,273人、支給額 707,283,970円</p> <p>4 現況届の実施 児童扶養手当受給者の前年所得、認定後の資格要件及び生活状況の確認を行った。</p>																																												
<p>成 果</p> <p>父又は母と生計を同じくしていない児童について児童扶養手当を支給することにより、家庭生活の安定と自立の促進に寄与し、児童福祉の増進が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>支給対象者数</th> <th>支給対象児童数</th> <th>支給額</th> <th>支給対象月</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>1,525人</td> <td>2,170人</td> <td>775,250,320円</td> <td>H27年12月からH28年11月</td> <td>12か月分</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>1,436人</td> <td>2,126人</td> <td>765,328,750円</td> <td>H28年12月からH29年11月</td> <td>12か月分</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>1,407人</td> <td>2,079人</td> <td>729,148,250円</td> <td>H29年12月からH30年11月</td> <td>12か月分</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>1,344人</td> <td>1,998人</td> <td>905,463,220円</td> <td>H30年12月からR2年2月</td> <td>15か月分</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>1,273人</td> <td>1,943人</td> <td>707,283,970円</td> <td>R2年3月からR3年2月</td> <td>12か月分</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和元年度は児童扶養手当法の改正による支払回数及び対象月の改定のため、15か月分を支給した。</p>									年度	支給対象者数	支給対象児童数	支給額	支給対象月		H28	1,525人	2,170人	775,250,320円	H27年12月からH28年11月	12か月分	H29	1,436人	2,126人	765,328,750円	H28年12月からH29年11月	12か月分	H30	1,407人	2,079人	729,148,250円	H29年12月からH30年11月	12か月分	R1	1,344人	1,998人	905,463,220円	H30年12月からR2年2月	15か月分	R2	1,273人	1,943人	707,283,970円	R2年3月からR3年2月	12か月分
年度	支給対象者数	支給対象児童数	支給額	支給対象月																																								
H28	1,525人	2,170人	775,250,320円	H27年12月からH28年11月	12か月分																																							
H29	1,436人	2,126人	765,328,750円	H28年12月からH29年11月	12か月分																																							
H30	1,407人	2,079人	729,148,250円	H29年12月からH30年11月	12か月分																																							
R1	1,344人	1,998人	905,463,220円	H30年12月からR2年2月	15か月分																																							
R2	1,273人	1,943人	707,283,970円	R2年3月からR3年2月	12か月分																																							
<p>成果に係る評価</p> <p>支給対象者数は人口減少の影響等により減少傾向にある。自動物価スライド制により令和2年4月に手当額の増額改定があり、支援の拡大を図られているが、経済的に厳しい状況にあるひとり親家庭等の生活安定と福祉の増進を図るため、国においては、さらなる支援の拡充について検討しており、引き続き動向を注視する必要がある。</p>																																												
(単位：円)																																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																						
	709,764,000	707,283,970	235,863,812			471,420,158																																						

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																										
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()																										
	4 目	母子福祉費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()																										
実施計画掲載ページ		P 82		中 事 業	母子・父子家庭医療助成費																												
事業コード		004-003-001-00125		事 業 名	母子・父子家庭医療対策事業																												
<p>目的及び事業内容</p> <p>母子及び父子家庭に対し、医療費の助成を行い生活の安定と福祉の増進を図る。健康保険等により、本人の負担する自己負担額から次の金額を控除し助成する。 入院の場合 1レセプト 2,000円（食事療養費は除く。） 外来の場合 1レセプト 1,000円 ※所得制限あり</p>																																	
<p>取組実績</p> <p>1 助成対象者 ・母子・父子家庭の母、父及び児童 ・父母のいずれかが重度障害により就労困難な家庭の母、父及び児童 ・父母のいない児童など</p> <p>2 助成件数 10,177件</p> <p>3 助成金額 28,596,517円</p>																																	
<p>成 果</p> <p>母子・父子家庭等にかかる医療費の一部を助成することにより、当該家庭における適正な医療機関受診の機会を確保した。このことにより、当該家庭の経済的負担を軽減し、生活の安定と福祉の増進が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>所得制限内受給世帯数</th> <th>所得制限内受給者数</th> <th>助成件数</th> <th>助成金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>1,580世帯</td> <td>3,885人</td> <td>9,142件</td> <td>24,593,327円</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>1,459世帯</td> <td>3,410人</td> <td>10,449件</td> <td>28,107,208円</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>1,404世帯</td> <td>3,325人</td> <td>10,841件</td> <td>28,291,526円</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>1,367世帯</td> <td>3,251人</td> <td>10,177件</td> <td>28,596,517円</td> </tr> </tbody> </table>									年度	所得制限内受給世帯数	所得制限内受給者数	助成件数	助成金額	H29	1,580世帯	3,885人	9,142件	24,593,327円	H30	1,459世帯	3,410人	10,449件	28,107,208円	R1	1,404世帯	3,325人	10,841件	28,291,526円	R2	1,367世帯	3,251人	10,177件	28,596,517円
年度	所得制限内受給世帯数	所得制限内受給者数	助成件数	助成金額																													
H29	1,580世帯	3,885人	9,142件	24,593,327円																													
H30	1,459世帯	3,410人	10,449件	28,107,208円																													
R1	1,404世帯	3,325人	10,841件	28,291,526円																													
R2	1,367世帯	3,251人	10,177件	28,596,517円																													
<p>成果に係る評価</p> <p>所得制限内受給世帯数、所得制限内受給者数は減少しているが、助成金額は増加が続いている。これは受給者1人当たりの医療費の増加によるものと考えられる。 今後も医療費助成を実施することにより母子・父子家庭の経済的負担の軽減に寄与し、生活の安定と福祉の増進を図りたい。</p>																																	
(単位：円)																																	
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																														
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																											
	31,400,000	29,901,586	14,232,000			15,669,586																											

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																																							
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()																																																							
	4 目	母子福祉費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()																																																							
実施計画掲載ページ		P 86	中 事 業	母子家庭等自立支援給付金事業費																																																										
事業コード		004-003-001-01222	事 業 名	ひとり親家庭等自立支援事業																																																										
目的及び事業内容		ひとり親家庭等の親（母子家庭の母又は父子家庭の父）の経済的な自立を促進するため、就職の際に有利となり、生活の安定に資する資格を取得するための教育訓練受講等に係る経費について支援する。 1 自立支援教育訓練給付金 2 高等職業訓練促進給付金 3 高等職業訓練修了支援給付金 4 高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金																																																												
取組実績		<p>支給実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>支給件数</th> <th>支給額</th> <th>指定講座等の主な内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自立支援教育訓練給付金</td> <td>3件</td> <td>139,813円</td> <td>介護福祉士・宅地建物取引士</td> </tr> <tr> <td>高等職業訓練促進給付金</td> <td>7件</td> <td>7,667,000円</td> <td>看護師・准看護師・社会福祉士 幼稚園教諭・美容師</td> </tr> <tr> <td>高等職業訓練修了支援給付金</td> <td>2件</td> <td>50,000円</td> <td>看護師・准看護師</td> </tr> <tr> <td>高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金</td> <td>1件</td> <td>150,000円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							事業名	支給件数	支給額	指定講座等の主な内訳	自立支援教育訓練給付金	3件	139,813円	介護福祉士・宅地建物取引士	高等職業訓練促進給付金	7件	7,667,000円	看護師・准看護師・社会福祉士 幼稚園教諭・美容師	高等職業訓練修了支援給付金	2件	50,000円	看護師・准看護師	高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金	1件	150,000円																																			
事業名	支給件数	支給額	指定講座等の主な内訳																																																											
自立支援教育訓練給付金	3件	139,813円	介護福祉士・宅地建物取引士																																																											
高等職業訓練促進給付金	7件	7,667,000円	看護師・准看護師・社会福祉士 幼稚園教諭・美容師																																																											
高等職業訓練修了支援給付金	2件	50,000円	看護師・准看護師																																																											
高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金	1件	150,000円																																																												
成 果		<p>制度の周知に加え、ひとり親自身の自立への意識の高まりが大きく影響している。これら受講者に対し、経済的負担の軽減を図ることができ、ひとり親家庭の自立支援と福祉の向上が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>事業名</th> <th>支給件数</th> <th>支給額</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">H29</td> <td>自立支援教育訓練給付金</td> <td>6件</td> <td>322,186円</td> <td rowspan="3">7,643,186円</td> </tr> <tr> <td>高等職業訓練促進給付金</td> <td>7件</td> <td>7,146,000円</td> </tr> <tr> <td>高等職業訓練修了支援給付金</td> <td>4件</td> <td>175,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">H30</td> <td>自立支援教育訓練給付金</td> <td>5件</td> <td>275,184円</td> <td rowspan="3">10,370,684円</td> </tr> <tr> <td>高等職業訓練促進給付金</td> <td>11件</td> <td>9,895,500円</td> </tr> <tr> <td>高等職業訓練修了支援給付金</td> <td>4件</td> <td>200,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">R1</td> <td>自立支援教育訓練給付金</td> <td>4件</td> <td>138,000円</td> <td rowspan="3">7,431,000円</td> </tr> <tr> <td>高等職業訓練促進給付金</td> <td>8件</td> <td>7,268,000円</td> </tr> <tr> <td>高等職業訓練修了支援給付金</td> <td>1件</td> <td>25,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">R2</td> <td>自立支援教育訓練給付金</td> <td>3件</td> <td>139,813円</td> <td rowspan="3">8,006,813円</td> </tr> <tr> <td>高等職業訓練促進給付金</td> <td>7件</td> <td>7,667,000円</td> </tr> <tr> <td>高等職業訓練修了支援給付金</td> <td>2件</td> <td>50,000円</td> </tr> <tr> <td>高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金</td> <td>1件</td> <td>150,000円</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							年度	事業名	支給件数	支給額	合計	H29	自立支援教育訓練給付金	6件	322,186円	7,643,186円	高等職業訓練促進給付金	7件	7,146,000円	高等職業訓練修了支援給付金	4件	175,000円	H30	自立支援教育訓練給付金	5件	275,184円	10,370,684円	高等職業訓練促進給付金	11件	9,895,500円	高等職業訓練修了支援給付金	4件	200,000円	R1	自立支援教育訓練給付金	4件	138,000円	7,431,000円	高等職業訓練促進給付金	8件	7,268,000円	高等職業訓練修了支援給付金	1件	25,000円	R2	自立支援教育訓練給付金	3件	139,813円	8,006,813円	高等職業訓練促進給付金	7件	7,667,000円	高等職業訓練修了支援給付金	2件	50,000円	高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金	1件	150,000円		
年度	事業名	支給件数	支給額	合計																																																										
H29	自立支援教育訓練給付金	6件	322,186円	7,643,186円																																																										
	高等職業訓練促進給付金	7件	7,146,000円																																																											
	高等職業訓練修了支援給付金	4件	175,000円																																																											
H30	自立支援教育訓練給付金	5件	275,184円	10,370,684円																																																										
	高等職業訓練促進給付金	11件	9,895,500円																																																											
	高等職業訓練修了支援給付金	4件	200,000円																																																											
R1	自立支援教育訓練給付金	4件	138,000円	7,431,000円																																																										
	高等職業訓練促進給付金	8件	7,268,000円																																																											
	高等職業訓練修了支援給付金	1件	25,000円																																																											
R2	自立支援教育訓練給付金	3件	139,813円	8,006,813円																																																										
	高等職業訓練促進給付金	7件	7,667,000円																																																											
	高等職業訓練修了支援給付金	2件	50,000円																																																											
高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金	1件	150,000円																																																												
成果に係る評価		<p>自立支援教育訓練給付金、及び高等職業訓練促進給付金の給付状況については、令和元年度に引き続き令和2年度も介護職や医療職を中心とした受講者が多かった。 ひとり親家庭等自立支援事業の各年度の件数にばらつきがあるものの、問い合わせは増加している。 より多くのひとり親の経済的自立と福祉の増進に寄与できるよう、今後も本事業の一層の利用拡大を図っていく。</p>																																																												
(単位：円)																																																														
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																										
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																							
		8,899,000	8,006,813	7,854,000			152,813																																																							

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																			
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()																																			
	5 目	保育所費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()																																			
実施計画掲載ページ		P 88	中 事 業	保育所管理費																																						
事業コード		004-003-001-00132	事 業 名	延長保育事業																																						
目的及び事業内容		保護者の就労形態の多様化等により、保育時間延長の需要に対応するため、保育所及び子ども園で保育時間の延長を実施することにより、安心して子育てができる環境を整備し、家庭及び児童の福祉の向上を図る。																																								
取組実績		<p>平成27年度から子ども・子育て支援新制度により、保育の時間が、保育短時間（午前8時30分から午後4時30分まで）と保育標準時間（午前7時30分から午後6時30分まで）の2区分となった。 そのため、午前7時30分から午前8時30分までの1時間と午後4時30分から午後6時30分までの2時間が時間外保育となり、午後6時30分から午後7時までを延長保育という取り扱いになった。 令和2年度は、公立保育所25施設で、時間外保育を実施し、延長保育については、1施設で実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R2年度</th> <th>施設数</th> <th>時間外保育</th> <th>延長保育</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公立保育所</td> <td>25</td> <td>401人</td> <td>12人</td> <td>413人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※過去5年間の推移（実利用人数）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>時間外保育</td> <td>333人</td> <td>533人</td> <td>603人</td> <td>455人</td> <td>401人</td> </tr> <tr> <td>延長保育</td> <td>17人</td> <td>21人</td> <td>15人</td> <td>13人</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>350人</td> <td>554人</td> <td>618人</td> <td>468人</td> <td>413人</td> </tr> </tbody> </table>							R2年度	施設数	時間外保育	延長保育	合計	公立保育所	25	401人	12人	413人		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	時間外保育	333人	533人	603人	455人	401人	延長保育	17人	21人	15人	13人	12人	合計	350人	554人	618人	468人	413人
R2年度	施設数	時間外保育	延長保育	合計																																						
公立保育所	25	401人	12人	413人																																						
	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度																																					
時間外保育	333人	533人	603人	455人	401人																																					
延長保育	17人	21人	15人	13人	12人																																					
合計	350人	554人	618人	468人	413人																																					
成 果		<p>保育の無償化に伴い、保育時間を保育短時間から保育標準時間に変更する世帯が増えたため、時間外保育を利用する世帯が減少したが、保育時間の延長があることで、日々の就労時間が一定していない保護者が安心して就労するための環境を整えることができた。</p>																																								
成果に係る評価		<p>保護者の就労形態の多様化等に伴い、保育時間を延長して児童を預けたいという保護者からの要望があることから、安心して子育てができる環境を整備し、児童福祉の向上を図るため、今後も時間外保育及び延長保育の継続的な実施が必要である。 また、保育士不足により、1施設のみで実施している延長保育について、保育士の確保に努めながら、延長保育実施施設の拡充を図る。</p>																																								
(単位：円)																																										
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																																						
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																			
		5,413,509	5,413,509			2,294,100	3,119,409																																			

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																						
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()																						
	5 目	保育所費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()																						
実施計画掲載ページ		P 90	中 事 業		(仮称)河北統合保育所施設整備事業費																								
事業コード		004-003-001-01286	事 業 名		(仮称)河北統合保育所施設整備事業																								
目的及び事業内容		<p>平成30年3月に策定した「石巻市公立幼稚園・保育所・こども園再編計画」により、大川保育所、大谷地保育所、二俣保育所の3保育所を統廃合し、公立保育所の建設を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度開所予定 ・施設規模は70人定員（0歳から5歳児までを受け入れるほか、障害児保育も実施する。） ・場 所 石巻市小船越字後223番2 ・土地面積 6,153.66㎡ ・建物面積 989.14㎡ 																											
取組実績		<p>(仮称)河北統合保育所の令和5年度の開所に向けて、建設地の地質調査や基本設計等を行った。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="3" style="text-align: center;">(単位：円)</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>実施期間</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地質調査業務</td> <td>令和2年6月2日～令和2年8月31日</td> <td>6,186,400</td> </tr> <tr> <td>測量設計業務</td> <td>令和2年6月23日～令和3年3月31日</td> <td>5,280,000</td> </tr> <tr> <td>基本設計業務</td> <td>令和2年7月3日～令和2年11月13日</td> <td>4,965,400</td> </tr> <tr> <td>実施設計業務</td> <td>令和2年12月9日～令和3年9月30日</td> <td>7,610,000</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">合計</td> <td>24,041,800</td> </tr> </tbody> </table>							(単位：円)			項目	実施期間	事業費	地質調査業務	令和2年6月2日～令和2年8月31日	6,186,400	測量設計業務	令和2年6月23日～令和3年3月31日	5,280,000	基本設計業務	令和2年7月3日～令和2年11月13日	4,965,400	実施設計業務	令和2年12月9日～令和3年9月30日	7,610,000	合計		24,041,800
(単位：円)																													
項目	実施期間	事業費																											
地質調査業務	令和2年6月2日～令和2年8月31日	6,186,400																											
測量設計業務	令和2年6月23日～令和3年3月31日	5,280,000																											
基本設計業務	令和2年7月3日～令和2年11月13日	4,965,400																											
実施設計業務	令和2年12月9日～令和3年9月30日	7,610,000																											
合計		24,041,800																											
成 果		(仮称)河北統合保育所として整備するため、建設予定地の地質調査業務及び測量設計業務、基本設計業務を完了し実施設計業務に着手した。																											
成果に係る評価		令和5年4月の開所に向け、実施設計業務の完了、建設工事の着手を図る。																											
(単位：円)																													
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																										
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																							
	52,572,000	24,041,800			24,041,800																								

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																									
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()																																									
	6 目	一時保育事業管理費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()																																									
実施計画掲載ページ		P 87	中 事 業		一時預かり事業関係費																																											
事業コード		004-003-001-00131	事 業 名		一時預かり事業																																											
目的及び事業内容		<p>保育所等を利用していない家庭において、保護者の仕事や入院、通院等突発的な事情により家庭保育が困難な場合に保育施設において、一時的に預かることにより、安心して子育てができる環境を整備し、あわせて児童福祉の向上を図る。</p>																																														
取組実績		<p>公立保育所（3施設）及び私立認可保育所（1施設）において、一時預かり事業を実施した。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2">実施保育所</th> <th>1日当たりの実施時間</th> <th>1日当たりの定員</th> <th>令和2年度延利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">公立</td> <td>鹿妻保育所</td> <td>8時間</td> <td>おおむね10人</td> <td>670人</td> </tr> <tr> <td>二俣保育所</td> <td>8時間</td> <td>おおむね5人</td> <td>41人</td> </tr> <tr> <td>北村保育所</td> <td>8時間</td> <td>おおむね5人</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>私立</td> <td>なかよし保育園</td> <td>8時間</td> <td>おおむね10人</td> <td>1,835人</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">合 計</td> <td>2,556人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※過去5年間の推移</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>延利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28年度</td> <td>2,664人</td> </tr> <tr> <td>H29年度</td> <td>3,189人</td> </tr> <tr> <td>H30年度</td> <td>2,466人</td> </tr> <tr> <td>R1年度</td> <td>2,558人</td> </tr> <tr> <td>R2年度</td> <td>2,556人</td> </tr> </tbody> </table>							実施保育所		1日当たりの実施時間	1日当たりの定員	令和2年度延利用者数	公立	鹿妻保育所	8時間	おおむね10人	670人	二俣保育所	8時間	おおむね5人	41人	北村保育所	8時間	おおむね5人	10人	私立	なかよし保育園	8時間	おおむね10人	1,835人	合 計				2,556人	年度	延利用者数	H28年度	2,664人	H29年度	3,189人	H30年度	2,466人	R1年度	2,558人	R2年度	2,556人
実施保育所		1日当たりの実施時間	1日当たりの定員	令和2年度延利用者数																																												
公立	鹿妻保育所	8時間	おおむね10人	670人																																												
	二俣保育所	8時間	おおむね5人	41人																																												
	北村保育所	8時間	おおむね5人	10人																																												
私立	なかよし保育園	8時間	おおむね10人	1,835人																																												
合 計				2,556人																																												
年度	延利用者数																																															
H28年度	2,664人																																															
H29年度	3,189人																																															
H30年度	2,466人																																															
R1年度	2,558人																																															
R2年度	2,556人																																															
成 果		<p>子育てに伴う保護者の身体的、精神的負担感を緩和し、仕事等の社会的活動と子育て等の家庭生活との両立を容易にすることができ、安心して子育てができるような環境整備を提供し、児童福祉の向上を図った。</p>																																														
成果に係る評価		<p>保育所等を利用していない子育て世帯の育児負担軽減を担い、需要が高い事業であることから、引き続き事業を継続する上で、保育士の確保に努め、子育ての負担軽減、安心して子育てができる環境整備を図り、児童福祉の向上を推進する また、事業への需要があることから、保護者のニーズ等を勘案し、実施する地域や施設を判断するとともに、安定した事業を実施する。</p>																																														
(単位：円)																																																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																										
	17,810,000	17,430,607	8,568,000		1,774,420		7,088,187																																									

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章		復興計画	()																																																		
	3 項	児童福祉費		第 節			()																																																		
	7 目	障害児福祉費		()			()																																																		
実施計画掲載ページ			中 事 業	かもめ学園管理費																																																					
事業コード			事 業 名	かもめ学園管理事業																																																					
目的及び事業内容		心身障害児に対して障害の克服に必要な機能訓練及び生活指導を行い、児童の健全な育成に資するとともに、保護者の就労支援等を図るため、かもめ学園内において児童発達支援事業等を実施する。																																																							
取組実績		<p>1 かもめ学園における児童福祉サービス等の提供（利用）状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="3">(1)児童発達支援</th> <th colspan="3">(2)放課後等デイサービス</th> <th colspan="3">(3)日中一時支援</th> </tr> <tr> <th>利用者数</th> <th>開設日数</th> <th>日平均</th> <th>利用者数</th> <th>開設日数</th> <th>日平均</th> <th>利用者数</th> <th>開設日数</th> <th>日平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>1,335人</td> <td>251日</td> <td>5.3人</td> <td>1,269人</td> <td>244日</td> <td>5.2人</td> <td>141人</td> <td>49日</td> <td>2.8人</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>1,223人</td> <td>245日</td> <td>4.9人</td> <td>1,323人</td> <td>243日</td> <td>5.4人</td> <td>146人</td> <td>40日</td> <td>3.6人</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>1,167人</td> <td>244日</td> <td>4.7人</td> <td>1,178人</td> <td>243日</td> <td>4.8人</td> <td colspan="3">R2年度は休止</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1) 児童発達支援 ○開設日等 月～金 9:30～13:30 未就学児童を対象に、発達段階に合わせた個別療育・集団療育を実施し、保護者に対し、助言及び指導を行った。</p> <p>(2) 放課後等デイサービス ○開設日等 月～金 14:30～17:30 就学児童を対象に、学齢期に必要な人と人との関係づくりを中心に療育を行い、コミュニケーションによる行動の促しや要求手段の獲得、意欲を引き出すことに重点を置いた支援を行った。</p> <p>(3) 日中一時支援事業 児童の日常生活の支援を行うとともに、日中における生活の場を提供し、見守りや必要な支援を実施するもの。</p> <p>(4) 保育所訪問事業 ※令和2年7月事業開始 訪問支援員が、障害児が集団生活を営む保育所等の施設を訪問し、施設スタッフ等に専門的な支援を行った。(実績：1人2件)</p> <p>2 指定管理者 社会福祉法人 石巻祥心会（期間：平成28年4月1日から令和8年3月31日まで）</p>							年度	(1)児童発達支援			(2)放課後等デイサービス			(3)日中一時支援			利用者数	開設日数	日平均	利用者数	開設日数	日平均	利用者数	開設日数	日平均	H30	1,335人	251日	5.3人	1,269人	244日	5.2人	141人	49日	2.8人	R1	1,223人	245日	4.9人	1,323人	243日	5.4人	146人	40日	3.6人	R2	1,167人	244日	4.7人	1,178人	243日	4.8人	R2年度は休止		
年度	(1)児童発達支援			(2)放課後等デイサービス			(3)日中一時支援																																																		
	利用者数	開設日数	日平均	利用者数	開設日数	日平均	利用者数	開設日数	日平均																																																
H30	1,335人	251日	5.3人	1,269人	244日	5.2人	141人	49日	2.8人																																																
R1	1,223人	245日	4.9人	1,323人	243日	5.4人	146人	40日	3.6人																																																
R2	1,167人	244日	4.7人	1,178人	243日	4.8人	R2年度は休止																																																		
成果		令和2年度に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止とした行事が多数あり、例年に比べ制限のある活動内容となっている。このような状況の中でも、保護者と事業所管理者が常に意見交換をし、気軽に要望・相談が行えるように努めているほか、「茶話会」を毎月定期的に開催し、親同士の交流や勉強会を行い保護者支援にも努めた。また、在宅心身障害児が通園により各種事業の利用を通じ、日常生活における基本動作の習得や集団生活の適応を訓練することで児童の健全な育成が図られた。																																																							
成果に係る評価		障害児の療育拠点として各種事業を実施するとともに、誰でも気軽に利用（相談）しやすい環境の整備に努めていく必要がある。また、乳幼児・学齢期における障害の早期発見・早期療育、さらには就学後も含めた継続的な切れ目のない障害児の支援体制強化が必要とされる。																																																							
(単位：円)																																																									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																			
	8,382,760	8,194,640				8,194,640																																																			

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																																																																																																														
	3 項	児童福祉費		第 3 節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()																																																																																																																														
	7 目	障害児福祉費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()																																																																																																																														
実施計画掲載ページ		P88	中 事 業	心身障害児通園支援費																																																																																																																																	
事業コード		004-003-001-00136	事 業 名	心身障害児通園対策事業																																																																																																																																	
目的及び事業内容		障害児保育を実施している保育所・こども園及びかもめ学園（13施設）に通園する児童の保護者に対し、交通費の一部助成を実施し、保護者の経済的支援を図る。																																																																																																																																			
取組実績		<p>1 助成内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道又はバス定期券運賃代 ・自家用車ガソリン代 <p>障害児保育を実施している保育所・こども園及びかもめ学園（13施設）に通園する児童の保護者に対し、通園に要する交通費の一部を交付することで、保護者の経済的支援や心身障害児の健全育成の推進を図り実施した。</p> <p>1 助成実績（R2）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道又はバス定期券運賃代 実績なし ・自家用車ガソリン代 助成対象者：31人、助成額：881,089円 																																																																																																																																			
成果		<p>障害児保育を実施している保育所・こども園及びかもめ学園に通園する児童の保護者に対し、通園に要する交通費の一部を交付することで、保護者の経済的支援や心身障害児の健全育成の推進が図られた。</p> <p>事業費及び対象者</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th colspan="2">H30年度</th> <th colspan="2">R1年度</th> <th colspan="2">R2年度</th> </tr> <tr> <th>対象者</th> <th>事業費</th> <th>対象者</th> <th>事業費</th> <th>対象者</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>かもめ学園</td> <td>8人</td> <td>90,955円</td> <td>7人</td> <td>108,978円</td> <td>8人</td> <td>95,442円</td> </tr> <tr> <td>石巻保育所</td> <td>5人</td> <td>188,577円</td> <td>3人</td> <td>148,533円</td> <td>2人</td> <td>49,113円</td> </tr> <tr> <td>渡波保育所</td> <td>1人</td> <td>18,808円</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>若草保育所</td> <td>2人</td> <td>54,572円</td> <td>1人</td> <td>31,901円</td> <td>3人</td> <td>91,338円</td> </tr> <tr> <td>ふたば保育所</td> <td>2人</td> <td>47,214円</td> <td>2人</td> <td>44,533円</td> <td>4人</td> <td>93,064円</td> </tr> <tr> <td>鹿妻保育所</td> <td>1人</td> <td>24,712円</td> <td>1人</td> <td>50,877円</td> <td>2人</td> <td>61,615円</td> </tr> <tr> <td>水押保育所</td> <td>1人</td> <td>27,506円</td> <td>2人</td> <td>41,789円</td> <td>2人</td> <td>44,039円</td> </tr> <tr> <td>井内保育所</td> <td>1人</td> <td>37,570円</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>飯野川保育所</td> <td>1人</td> <td>52,309円</td> <td>1人</td> <td>55,704円</td> <td>1人</td> <td>82,539円</td> </tr> <tr> <td>雄勝保育所</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1人</td> <td>59,239円</td> <td>1人</td> <td>51,721円</td> </tr> <tr> <td>和瀬保育所</td> <td>3人</td> <td>168,746円</td> <td>3人</td> <td>128,210円</td> <td>3人</td> <td>150,825円</td> </tr> <tr> <td>桃生新田保育所</td> <td>2人</td> <td>155,167円</td> <td>2人</td> <td>86,372円</td> <td>2人</td> <td>80,405円</td> </tr> <tr> <td>橋浦保育所</td> <td>2人</td> <td>90,843円</td> <td>2人</td> <td>74,644円</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>北上こども園</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>2人</td> <td>45,188円</td> </tr> <tr> <td>牡鹿保育所</td> <td>1人</td> <td>50,483円</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1人</td> <td>35,800円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>30人</td> <td>1,007,462円</td> <td>25人</td> <td>830,780円</td> <td>31人</td> <td>881,089円</td> </tr> </tbody> </table>							区 分	H30年度		R1年度		R2年度		対象者	事業費	対象者	事業費	対象者	事業費	かもめ学園	8人	90,955円	7人	108,978円	8人	95,442円	石巻保育所	5人	188,577円	3人	148,533円	2人	49,113円	渡波保育所	1人	18,808円	—	—	—	—	若草保育所	2人	54,572円	1人	31,901円	3人	91,338円	ふたば保育所	2人	47,214円	2人	44,533円	4人	93,064円	鹿妻保育所	1人	24,712円	1人	50,877円	2人	61,615円	水押保育所	1人	27,506円	2人	41,789円	2人	44,039円	井内保育所	1人	37,570円	—	—	—	—	飯野川保育所	1人	52,309円	1人	55,704円	1人	82,539円	雄勝保育所	—	—	1人	59,239円	1人	51,721円	和瀬保育所	3人	168,746円	3人	128,210円	3人	150,825円	桃生新田保育所	2人	155,167円	2人	86,372円	2人	80,405円	橋浦保育所	2人	90,843円	2人	74,644円	—	—	北上こども園	—	—	—	—	2人	45,188円	牡鹿保育所	1人	50,483円	—	—	1人	35,800円	合計	30人	1,007,462円	25人	830,780円	31人	881,089円
区 分	H30年度		R1年度		R2年度																																																																																																																																
	対象者	事業費	対象者	事業費	対象者	事業費																																																																																																																															
かもめ学園	8人	90,955円	7人	108,978円	8人	95,442円																																																																																																																															
石巻保育所	5人	188,577円	3人	148,533円	2人	49,113円																																																																																																																															
渡波保育所	1人	18,808円	—	—	—	—																																																																																																																															
若草保育所	2人	54,572円	1人	31,901円	3人	91,338円																																																																																																																															
ふたば保育所	2人	47,214円	2人	44,533円	4人	93,064円																																																																																																																															
鹿妻保育所	1人	24,712円	1人	50,877円	2人	61,615円																																																																																																																															
水押保育所	1人	27,506円	2人	41,789円	2人	44,039円																																																																																																																															
井内保育所	1人	37,570円	—	—	—	—																																																																																																																															
飯野川保育所	1人	52,309円	1人	55,704円	1人	82,539円																																																																																																																															
雄勝保育所	—	—	1人	59,239円	1人	51,721円																																																																																																																															
和瀬保育所	3人	168,746円	3人	128,210円	3人	150,825円																																																																																																																															
桃生新田保育所	2人	155,167円	2人	86,372円	2人	80,405円																																																																																																																															
橋浦保育所	2人	90,843円	2人	74,644円	—	—																																																																																																																															
北上こども園	—	—	—	—	2人	45,188円																																																																																																																															
牡鹿保育所	1人	50,483円	—	—	1人	35,800円																																																																																																																															
合計	30人	1,007,462円	25人	830,780円	31人	881,089円																																																																																																																															
成果に係る評価		障害児の受入れ施設に限られており、居住地から離れている施設を利用している児童保護者が多く、その経済的負担を軽減するため、通園に必要な経費の一部助成することにより、通園が少しでも容易になることで障害児の養育を支援し、福祉の増進にもつながることから事業の継続が必要である。																																																																																																																																			
(単位：円)																																																																																																																																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																																																																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																																															
	1,200,000	881,089				881,089																																																																																																																															

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																					
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()																																					
	8 目	児童厚生施設費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()																																					
実施計画掲載ページ		P 83	中 事 業	子どもセンター管理費																																								
事業コード	004-003-001-00142	事 業 名	子どもセンター事業																																									
目的及び事業内容	児童に健全な遊びと安心して過ごせる居場所を与え、その健康を増進し、子どもたちの声を運営に反映させるとともに、子どもの社会参加の推進を図るため、遊び・学び・集う場を提供する。あわせて子育て支援サークルや子育て中の保護者の交流を推進し、子育て環境の充実に寄与する。また、運動を主とする遊びを通して児童の体力増進や「石巻市子どもの権利に関する条例」に基づく児童の社会参加を推進する事業を実施する。																																											
取組実績	<p>1 開設日：祝日及び年末年始、毎月第1、3木曜日を除く毎日</p> <p>2 開設時間：午前9時30分～午後7時（小学生以下は午後5時まで※保護者等の同伴は除く。）</p> <p>3 事業内容</p> <p>(1) 遊び場・居場所の提供・・・開設日数 265日</p> <p>(2) 定期開催事業・イベント・・・開催回数 219回（定期開催、行事、子ども企画）</p> <p>(3) 子育て支援関係者の団体利用・・・利用団体数 24団体</p> <p>4 指定管理制度の導入 指定管理者 いしのまき子どもセンターコンソーシアム 指定期間 平成30年度～令和4年度</p> <p>5 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 休館中の取組み…オンらいつ、もしもしらいつ、どこでもらいつ、おさんぼらいつなど ・ 社会参加促進活動 意見交換会（まきトーク…コロナ下での生活やまちについてオンラインで話し合い）（R2.5） 子どもまちづくりクラブ（団体・機関の協力をもと2つのプロジェクト立ち上げ活動） ・ 地域連携・協働活動 出前講座（釜小学校にて、総合的な学習の時間に「子どもとまちづくり」をテーマに実施） いしのまき子どもの権利フォーラム及び子どもの権利条約全国フォーラム参加（R2.11） 移動児童館（らいつに来ることのできない地域の子どもたちに遊び場提供）（中瀬公園3回） 																																											
成 果	<p>新型コロナウイルス感染症予防対策を行いながらも、事業を継続できた。</p> <p>休館中の取組みに力を入れ、SNSを活用し、オンらいつ(YouTube生配信企画)や遊びの動画配信、どこでもらいつ(Zoomによる交流)を行った。また、もしもしらいつ(電話やLINEでの相談)のほか、おさんぼらいつ(アウトリーチ)などにより、子どもたちがつながる場、参加する場を確保することができた。通常事業は、規模等を縮小して行われた。</p> <p>また、Wi-Fi設置について、約2年間の話し合いを重ね、子どもたち自らがルールを定めて運営会議で報告し、決議され、令和2年10月から供用開始することができた。</p> <p>利用実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一 般 来 館</td> <td>20,212人</td> <td>19,170人</td> <td>19,404人</td> <td>16,980人</td> <td>11,719人</td> </tr> <tr> <td>定期事業・イベント</td> <td>5,735人</td> <td>4,930人</td> <td>6,371人</td> <td>5,428人</td> <td>3,059人</td> </tr> <tr> <td>団 体 利 用</td> <td>2,166人</td> <td>2,406人</td> <td>1,270人</td> <td>1,904人</td> <td>193人</td> </tr> <tr> <td>見 学</td> <td>658人</td> <td>411人</td> <td>677人</td> <td>276人</td> <td>192人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>28,771人</td> <td>26,917人</td> <td>27,722人</td> <td>24,588人</td> <td>15,163人</td> </tr> </tbody> </table>								区 分	H28	H29	H30	R1	R2	一 般 来 館	20,212人	19,170人	19,404人	16,980人	11,719人	定期事業・イベント	5,735人	4,930人	6,371人	5,428人	3,059人	団 体 利 用	2,166人	2,406人	1,270人	1,904人	193人	見 学	658人	411人	677人	276人	192人	合 計	28,771人	26,917人	27,722人	24,588人	15,163人
区 分	H28	H29	H30	R1	R2																																							
一 般 来 館	20,212人	19,170人	19,404人	16,980人	11,719人																																							
定期事業・イベント	5,735人	4,930人	6,371人	5,428人	3,059人																																							
団 体 利 用	2,166人	2,406人	1,270人	1,904人	193人																																							
見 学	658人	411人	677人	276人	192人																																							
合 計	28,771人	26,917人	27,722人	24,588人	15,163人																																							
成果に係る評価	石巻市内で活動する2団体によって構成されたコンソーシアムが指定管理を行って3年目となり、多様化する住民ニーズや子育て支援への専門性への対応に対し、コンソーシアムの強みを生かして、地域団体や施設、学校等と連携した取組みがなされている。 また、新型コロナによる休館中の取組みも、子どもに寄り添った対応が速やかに実現できている。 子どもセンターは、子どもの権利を柱に子どもが主体的に企画、活動することを重視しているが、Wi-Fi設置の取組みのように、子どもの意見と自主性を重んじた運営がなされており、子どもたちの居場所として重要な施設となっていくことから、事業を継続する必要がある。																																											
(単位：円)																																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																						
	31,157,400	31,157,000	14,600,000			16,557,000																																						

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																											
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()																																											
	8 目	児童厚生施設費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()																																											
実施計画掲載ページ		P 88	中 事 業	放課後児童クラブ関係費																																														
事業コード	004-003-001-00135	事 業 名	放課後児童クラブ事業（運営）																																															
目的及び事業内容	保護者の就労等により、日中保育ができない小学生を対象に、放課後等における遊びと生活の場として放課後児童クラブを開設し、児童の安全確保と健全育成を図る。																																																	
取組実績	<p>1 市内48か所に整備した児童クラブで、放課後家庭において保育ができない小学生の受け入れを行った。</p> <p>利用児童数（令和3年3月1日現在）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>石巻地区</th> <th>河北地区</th> <th>河南地区</th> <th>桃生地区</th> <th>北上地区</th> <th>牡鹿地区</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用児童数</td> <td>1,377人</td> <td>129人</td> <td>346人</td> <td>63人</td> <td>20人</td> <td>5人</td> <td>1,940人</td> </tr> <tr> <td>待機児童数</td> <td>23人</td> <td>3人</td> <td>19人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>45人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 利用負担金の災害減免実施状況（年間延べ）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>災害減免者数</td> <td>794人</td> <td>873人</td> <td>970人</td> <td>979人</td> <td>985人</td> </tr> <tr> <td>災害減免額</td> <td>18,152,250円</td> <td>19,085,000円</td> <td>21,398,000円</td> <td>21,302,500円</td> <td>19,933,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 放課後児童クラブ支援員等の質の向上対策 クラブの適正な運営や支援員等の質の向上を図るため、作業療法士と連携（業務委託）し、日常生活や集団生活で配慮を必要とする児童への対応方法について学ぶ機会を設けるとともに、巡回指導員を配置した。</p>									石巻地区	河北地区	河南地区	桃生地区	北上地区	牡鹿地区	合計	利用児童数	1,377人	129人	346人	63人	20人	5人	1,940人	待機児童数	23人	3人	19人	0人	0人	0人	45人		H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	災害減免者数	794人	873人	970人	979人	985人	災害減免額	18,152,250円	19,085,000円	21,398,000円	21,302,500円	19,933,000円
	石巻地区	河北地区	河南地区	桃生地区	北上地区	牡鹿地区	合計																																											
利用児童数	1,377人	129人	346人	63人	20人	5人	1,940人																																											
待機児童数	23人	3人	19人	0人	0人	0人	45人																																											
	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度																																													
災害減免者数	794人	873人	970人	979人	985人																																													
災害減免額	18,152,250円	19,085,000円	21,398,000円	21,302,500円	19,933,000円																																													
成 果	<p>1 令和元年度までに整備した施設も含め、全48の施設を活用し、令和元年度よりも多くの利用希望児童を受け入れたことで、日中保育ができない家庭の児童の健全育成が図られた。</p> <p>児童クラブ設置数・利用児童数・待機児童数一覧（各年度4月1日現在）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設置数</td> <td>43施設</td> <td>45施設</td> <td>47施設</td> <td>48施設</td> <td>48施設</td> </tr> <tr> <td>定員</td> <td>2,135人</td> <td>2,225人</td> <td>2,263人</td> <td>2,355人</td> <td>2,355人</td> </tr> <tr> <td>利用児童数</td> <td>1,872人</td> <td>1,983人</td> <td>2,044人</td> <td>2,079人</td> <td>2,127人</td> </tr> <tr> <td>待機児童数</td> <td>35人</td> <td>51人</td> <td>87人</td> <td>95人</td> <td>171人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 放課後児童クラブ利用負担金の災害減免を行うことで、被災した利用児童の世帯への支援が図られた。</p> <p>3 支援員等研修の一環とした作業療法士連携事業により、対応方法の習得等が図られた。また、巡回指導員を配置し、各クラブを巡回することで支援員等の情報共有も図られた。</p> <p>作業療法士によるコンサルテーション実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施クラブ、回数</td> <td>蛇田第一、石巻第一・第二、釜第二、湊、万石浦第三、須江第三、飯野川 各3回</td> <td>鹿妻第三、桃生第二 各3回</td> </tr> </tbody> </table>									H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	設置数	43施設	45施設	47施設	48施設	48施設	定員	2,135人	2,225人	2,263人	2,355人	2,355人	利用児童数	1,872人	1,983人	2,044人	2,079人	2,127人	待機児童数	35人	51人	87人	95人	171人		R元年度	R2年度	実施クラブ、回数	蛇田第一、石巻第一・第二、釜第二、湊、万石浦第三、須江第三、飯野川 各3回	鹿妻第三、桃生第二 各3回						
	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度																																													
設置数	43施設	45施設	47施設	48施設	48施設																																													
定員	2,135人	2,225人	2,263人	2,355人	2,355人																																													
利用児童数	1,872人	1,983人	2,044人	2,079人	2,127人																																													
待機児童数	35人	51人	87人	95人	171人																																													
	R元年度	R2年度																																																
実施クラブ、回数	蛇田第一、石巻第一・第二、釜第二、湊、万石浦第三、須江第三、飯野川 各3回	鹿妻第三、桃生第二 各3回																																																
成果に係る評価	令和元年度までに受け入れ枠の拡大を目的として施設の整備を行ってきたところだが、令和2年度は想定以上の利用希望があったために、待機児童数が増加する結果となった。 また、利用児童との接し方や児童クラブの質の向上を図るために、作業療法士との連携や、巡回指導員の配置を行ったところではあるが、全クラブへの浸透には至っていない状況である。 このような課題に加え、開設時間の延長、学習指導など、多様なニーズにも柔軟に対応し、質の向上を図るために民間事業者による事業運営を検討しながら事業を継続していく必要がある。																																																	
(単位：円)																																																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																												
	235,930,917	229,402,441	153,878,000			21,455,750	54,068,691																																											

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()	
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()	
	8 目	児童厚生施設費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()	
実施計画掲載ページ	P 90		中 事 業	放課後児童クラブ関係費				
事業コード	004-003-001-01180		事 業 名	石巻市放課後児童健全育成事業補助事業				
目的及び事業内容	放課後における児童健全育成を図るため、市が48の施設で放課後児童クラブを運営しているが、待機児童や開設時間の延長等のニーズもあることから、地域の事業者が実施する放課後児童クラブの事業に対し運営補助を行うことで、待機児童の解消や幅広いニーズへの対応を図る。							
取組実績	1 民間事業者が行う放課後児童健全育成事業について、令和2年度は整備事業など、10事業を追加する要綱改正を行い、補助対象事業の拡充を図った。							
	2 補助金交付対象事業者							
	年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度		
	補助金交付事業者	○特定非営利活動法人放課後子どもクラブBremen ○特定非営利活動法人にじいろクレヨン	○特定非営利活動法人放課後子どもクラブBremen ○特定非営利活動法人にじいろクレヨン	○特定非営利活動法人放課後子どもクラブBremen	○特定非営利活動法人放課後子どもクラブBremen	○特定非営利活動法人放課後子どもクラブBremen		
成 果	民間事業者への支援を継続することで、事業者による安定的な事業運営が図られるとともに、利用を希望する児童の受け入れ拡大、幅広いニーズへの対応が図られた。							
	補助金交付状況 (単位:円)							
	年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度		
	特定非営利活動法人放課後子どもクラブBremen	1,150,000	1,968,000	2,103,000	2,512,000	4,553,000		
	特定非営利活動法人にじいろクレヨン	1,296,000	2,163,000					
	特定非営利活動法人乳幼児保育園ミルク				2,031,000	3,076,000		
	合計	2,446,000	4,131,000	2,103,000	4,543,000	7,629,000		
成果に係る評価	放課後児童健全育成事業を実施する団体に対し、補助金を交付することで、事業が安定的に行うことができるとともに、市が行う放課後児童クラブでは対応できない保育のニーズに対応し、待機児童解消の一助となった。 また、様々な事業を可能とするために補助メニューを拡大し、充実を図った。 しかし、補助交付団体が2団体であるため、今後、放課後児童健全育成事業を行う団体を掘り起こし、受け皿を確保する必要がある。							
予算の執行状況	(単位:円)							
	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	13,583,000	7,629,000	5,084,000			2,545,000		

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()	
	4 項	生活保護費		第 節	お互いに支えあい生活できる仕組みを構築する		()	
	2 目	扶助費		()	生活保護制度等を適正に運用する		()	
実施計画掲載ページ	P 68		中 事 業	各種扶助費				
事業コード	004-001-002-00123		事 業 名	生活保護事業				
目的及び事業内容	生活に困窮する市民に対し、困窮の程度に応じて必要な保護を行い、最低限度の生活を保障するとともに、自立を助長することを目的として生活保護事業を実施する。							
取組実績	本事業の目的を達成するため、下記のとおり取り組んだ。							
	1 生活保護事業 (1) 実施体制：所長1名、査察指導員2名、現業員14名、医療・介護扶助担当者1名、経理担当1名、就労支援員2名、レセプト点検員2名、嘱託医1名 (2) 取組内容 ア 新規相談の受理 363世帯 (延べ483回) イ 新規申請の受理 223世帯 ウ 保護の新規開始 161世帯 (210名) エ 就労支援の実施 48名 (うち29名が就労に至った) オ 後発医薬品の利用促進 後発医薬品利用率 93.7%							
成 果	保護が必要な世帯に対し、国が定める保護基準による最低限度の生活を保障するとともに、その自立の助長を図ることができた。							
	1 年度ごとの被保護世帯数等 (年度平均数値)							
	年度	H28	H29	H30	R1	R2		
	被保護世帯数	1,111 世帯	1,146 世帯	1,176 世帯	1,222 世帯	1,253 世帯		
	被保護人員	1,455 人	1,492 人	1,516 人	1,561 人	1,587 人		
	保護率	9.84 %	10.19 %	10.48 %	10.92 %	11.24 %		
	※保護率=被保護人員÷人口×1,000 (単位: %=パーミル、千分率)							
	2 就労支援対象者の就業率等 (総合計画実施計画の活動指標・成果指標)							
	年度	H30	R1	R2				
	就労支援対象者	81 人	79 人	63 人				
	就労支援実施者	46 人	51 人	48 人				
	就労支援実施率 (活動指標、目標50.0%)	56.8 %	64.6 %	76.2 %				
	就業者数	11 人	29 人	29 人				
	就労支援対象者の就業率 (成果指標、目標20.0%)	13.6 %	36.7 %	46.0 %				
成果に係る評価	生活保護制度は、国民が健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を保障した憲法第25条の理念に基づく、社会保障制度における最後のセーフティネットとしての役割を果たしている。 本市の生活保護の動向は、平成23年の東日本大震災の影響により一時的に保護世帯数・人員ともに減少したが、平成24年度中には再び増加に転じ、以降、引き続き増加傾向で推移している。 今後、各種震災支援策の終了や新型コロナウイルスの感染拡大等、経済情勢や社会情勢の変化により新たに保護を必要とする市民が急激に増加することも見込まれることから、引き続き実施体制の整備を図り、また、生活困窮者自立支援事業等との連携により多層的なセーフティネットを構築し、生活に困窮している市民の最低限度の生活を確実に保障していく必要がある。							
予算の執行状況	(単位:円)							
	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	2,395,905,900	2,315,570,336	1,805,031,952			510,538,384		

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章	復興計画	(2)	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す																																				
	5 項	災害救助費				(1)	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保																																				
	2 目	東日本大震災関係費				(1)	被災者への生活支援																																				
実施計画掲載ページ		P181	中 事 業		東日本大震災援護費																																						
事業コード		002-101-001-00352	事 業 名		災害弔慰金・災害障害見舞金給付事業																																						
目的及び事業内容																																											
<p>自然災害により死亡された市民の遺族に対する災害弔慰金の支給を行い、また、自然災害により精神又は身体に著しい障害を受けた市民には災害障害見舞金の支給を行うことにより、市民の福祉及び生活の安定に資する。</p>																																											
取組実績																																											
<p>1 災害弔慰金支給件数及び金額</p> <p>(1) 生計維持者 (500万円) 支給実績なし</p> <p>(2) その他 (250万円) 1件</p> <p>2 災害障害見舞金支給件数及び金額</p> <p>(1) 生計維持者 (250万円) 支給実績なし</p> <p>(2) その他 (125万円) 支給実績なし</p>																																											
成果																																											
<p>震災で死亡された方の遺族に対し弔意を示すとともに、市民の福祉・生活の安定に寄与することができた。</p> <p>なお、令和2年度においては災害弔慰金（関連死）の支給が1件あった。</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="3">災害弔慰金支給状況</th> <th colspan="3">災害障害見舞金支給状況</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>年度</th> <th>件数</th> <th>金額</th> </tr> <tr> <td>H23-H30</td> <td>3,599 件</td> <td>10,613,750,000 円</td> <td>H23-H30</td> <td>6 件</td> <td>10,000,000 円</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>0 件</td> <td>0 円</td> <td>R1</td> <td>0 件</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>1 件</td> <td>2,500,000 円</td> <td>R2</td> <td>0</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,600 件</td> <td>10,616,250,000 円</td> <td>計</td> <td>6 件</td> <td>10,000,000 円</td> </tr> </table>								災害弔慰金支給状況			災害障害見舞金支給状況			年度	件数	金額	年度	件数	金額	H23-H30	3,599 件	10,613,750,000 円	H23-H30	6 件	10,000,000 円	R1	0 件	0 円	R1	0 件	0 円	R2	1 件	2,500,000 円	R2	0	0 円	計	3,600 件	10,616,250,000 円	計	6 件	10,000,000 円
災害弔慰金支給状況			災害障害見舞金支給状況																																								
年度	件数	金額	年度	件数	金額																																						
H23-H30	3,599 件	10,613,750,000 円	H23-H30	6 件	10,000,000 円																																						
R1	0 件	0 円	R1	0 件	0 円																																						
R2	1 件	2,500,000 円	R2	0	0 円																																						
計	3,600 件	10,616,250,000 円	計	6 件	10,000,000 円																																						
成果に係る評価																																											
<p>災害弔慰金の未支給者のうち、東日本大震災の被災により死亡された方の遺族の確認作業を完了している。</p> <p>行方不明者については、今後死亡認定された際には直接死としての申請が見込まれる。</p> <p>また、関連死に係る申請も見込まれるものの、カルテなどの法令上の保存年限（5年）が経過しており、震災との関連を挙証することが困難となっている。</p> <p>災害障害見舞金については、負傷又は疾病により精神や身体に著しい障害を受けた場合で、震災との因果関係がある場合を対象とするものであり、平成27年度から申請はない状況となっている。</p>																																											
(単位：円)																																											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																								
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																					
	2,833,580	2,674,146	1,875,000			799,146																																					

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 4 章	復興計画	()	安心して健やかに暮らせるまち																																																												
	5 項	災害救助費				()	お互いに支えあい生活できる仕組みを構築する																																																												
	2 目	東日本大震災関係費				()	みんなで支えあう地域づくりを推進する																																																												
実施計画掲載ページ		P 68	中 事 業		東日本大震災援護費																																																														
事業コード		004-001-001-01396	事 業 名		災害援護資金等債権回収事業〔復興基金〕																																																														
目的及び事業内容																																																																			
<p>自然災害により被災を受けた地域における被災世帯の生活の早期立て直しを図るため、被害を受けた世帯を対象として貸付を実行した災害援護資金の適正な債権回収を行うことで収率の向上を図る。</p>																																																																			
取組実績																																																																			
<p>1 貸付の対象</p> <p>(1) 被災日（平成23年3月11日）に、石巻市内に居住していた世帯</p> <p>(2) 世帯主が震災で1か月以上の療養期間が必要な負傷を負った世帯又は住居・家財に著しい損害を受けた世帯 ※ 世帯の人数により所得制限がある。</p> <p>2 貸付限度額 150万円～350万円 負傷の程度、損害の種類・程度で貸付限度額が変わる。</p> <p>3 貸付条件 利 率 連帯保証人あり 無利子 連帯保証人なし 据置期間経過後 年1.5% 償還期間 13年（据置期間を含む。） 据置期間 6年（世帯主の死亡や住居が全壊など特別の事情がある場合は8年） 償還方法 月賦・半年賦・年賦（元利均等償還・繰上償還可）</p> <p>4 申請期間 平成23年5月11日から令和4年3月31日まで</p> <p>5 災害援護資金貸付件数及び金額等</p> <p>(1) 貸付件数 1件</p> <p>(2) 貸付金総額 300,000円</p>																																																																			
成果																																																																			
<p>災害援護資金貸付により、被災者の生活の安定や早期の再建に寄与することができた。</p> <p>(令和3年3月31日現在の状況)</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="3">災害援護資金貸付状況</th> <th colspan="3">繰上償還状況</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>年度</th> <th>件数</th> <th>金額</th> </tr> <tr> <td>H23～H29</td> <td>3,049 件</td> <td>6,397,917,000 円</td> <td>H23～H29</td> <td>821 件</td> <td>925,534,605 円</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>8 件</td> <td>17,100,000 円</td> <td>H30</td> <td>381 件</td> <td>264,434,382 円</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>4 件</td> <td>7,000,000 円</td> <td>R1</td> <td>256 件</td> <td>139,394,454 円</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>1 件</td> <td>300,000 円</td> <td>R2</td> <td>142 件</td> <td>108,017,106 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,062 件</td> <td>6,422,317,000 円</td> <td>計</td> <td>1,600 件</td> <td>1,437,380,547 円</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>貸付総額 (A)</th> <th>償還 (B)</th> <th>免除 (C)</th> <th>残債権 (D)</th> <th>残割合 (E)</th> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>6,422,017,000 円</td> <td>2,061,120,459 円</td> <td>54,610,900 円</td> <td>4,306,285,641 円</td> <td>67.06%</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>6,422,317,000 円</td> <td>2,613,363,325 円</td> <td>129,074,211 円</td> <td>3,679,879,464 円</td> <td>57.30%</td> </tr> </table> <p>償還実績</p>								災害援護資金貸付状況			繰上償還状況			年度	件数	金額	年度	件数	金額	H23～H29	3,049 件	6,397,917,000 円	H23～H29	821 件	925,534,605 円	H30	8 件	17,100,000 円	H30	381 件	264,434,382 円	R1	4 件	7,000,000 円	R1	256 件	139,394,454 円	R2	1 件	300,000 円	R2	142 件	108,017,106 円	計	3,062 件	6,422,317,000 円	計	1,600 件	1,437,380,547 円	年度	貸付総額 (A)	償還 (B)	免除 (C)	残債権 (D)	残割合 (E)	R1	6,422,017,000 円	2,061,120,459 円	54,610,900 円	4,306,285,641 円	67.06%	R2	6,422,317,000 円	2,613,363,325 円	129,074,211 円	3,679,879,464 円	57.30%
災害援護資金貸付状況			繰上償還状況																																																																
年度	件数	金額	年度	件数	金額																																																														
H23～H29	3,049 件	6,397,917,000 円	H23～H29	821 件	925,534,605 円																																																														
H30	8 件	17,100,000 円	H30	381 件	264,434,382 円																																																														
R1	4 件	7,000,000 円	R1	256 件	139,394,454 円																																																														
R2	1 件	300,000 円	R2	142 件	108,017,106 円																																																														
計	3,062 件	6,422,317,000 円	計	1,600 件	1,437,380,547 円																																																														
年度	貸付総額 (A)	償還 (B)	免除 (C)	残債権 (D)	残割合 (E)																																																														
R1	6,422,017,000 円	2,061,120,459 円	54,610,900 円	4,306,285,641 円	67.06%																																																														
R2	6,422,317,000 円	2,613,363,325 円	129,074,211 円	3,679,879,464 円	57.30%																																																														
成果に係る評価																																																																			
<p>東日本大震災の被災者に対し、生活の再建に資する目的で貸付けを行った災害援護資金については、原資が国と県からの借入金であることから、償還期限までに全額返済する必要がある。</p> <p>令和2年度から窓口対応を含む債権回収業務を委託したことにより、事務の効率化が図られたほか、償還時期の勧奨が重層的に行えたことで、令和元年度末より残債権の10%以上が債権回収ができた。</p> <p>令和3年度はサービサーによる現地調査と訪問を行い、更なる債権回収が見込まれる。</p>																																																																			
(単位：円)																																																																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																													
	31,063,482	24,060,582		300,000	19,998,000	3,762,582																																																													

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章	復興計画	(2)	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す																																						
	5 項	災害救助費		第 節		(1)	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保																																						
	2 目	東日本大震災関係費		()		(1)	被災者への生活支援																																						
実施計画掲載ページ	P184		中 事 業	被災者生活支援事業費																																									
事業コード	002-101-004-00359	事 業 名	被災者生活支援事業																																										
目的及び事業内容	<p>応急仮設住宅等から復興公営住宅等の恒久住宅へ移転後も、様々な課題を抱える被災者に対する相談・生活支援を推進するとともに、被災者個々の孤立化防止のために新しい地域コミュニティを構築し、住民が地域内で課題を解決出来るよう地域力を高められるなど、「被災者支援総合交付金実施要綱」等に基づき、被災者生活支援事業を展開することにより、東日本大震災による被災者の生活支援を図るもの。</p> <p>1 被災者見守り・相談支援事業 2 被災者支援総合事業</p>																																												
取 組 実 績	<p>1 被災者見守り・相談支援事業 石巻市内の民生委員・児童委員協議会担当地区（16地区）に地域福祉コーディネーター、地域生活支援員等を配置し、地区内の復興公営住宅等の恒久住宅に移転した被災者への相談支援、見守り事業等を実施するとともに、地域コミュニティ支援活動を実施した。 ・復興公営住宅等生活相談支援事業</p> <p>2 被災者支援総合事業 様々な課題を抱えた被災者に対し、社会福祉士等の専門職による相談・生活支援事業等を実施した。 ・社会福祉士等相談支援事業</p>																																												
成 果	<p>東日本大震災により被災し、復興公営住宅等に再建した被災者に対する見守りや寄り添い支援、制度へのつなぎ、地域コミュニティ構築支援等を実施することにより、被災者の生活支援が図られた。</p> <p>復興公営住宅等生活相談支援事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>復興住宅訪問件数</th> <th>防集団地訪問件数</th> <th>応急仮設住宅訪問数</th> <th>地域活動参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>11,093件</td> <td>3,007件</td> <td>5,255件</td> <td>944人</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>27,383件</td> <td>1,982件</td> <td>42件</td> <td>41人</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>28,777件</td> <td>4,108件</td> <td>—</td> <td>376人</td> </tr> </tbody> </table> <p>社会福祉士等相談支援事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>訪問</th> <th>電話</th> <th>調整等</th> <th>関係機関へ案内</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>579件</td> <td>855件</td> <td>248件</td> <td>793件</td> <td>2,475件</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>1,339件</td> <td>2,005件</td> <td>507件</td> <td>599件</td> <td>4,450件</td> </tr> </tbody> </table>								復興住宅訪問件数	防集団地訪問件数	応急仮設住宅訪問数	地域活動参加人数	H30	11,093件	3,007件	5,255件	944人	R1	27,383件	1,982件	42件	41人	R2	28,777件	4,108件	—	376人		訪問	電話	調整等	関係機関へ案内	合計	R1	579件	855件	248件	793件	2,475件	R2	1,339件	2,005件	507件	599件	4,450件
	復興住宅訪問件数	防集団地訪問件数	応急仮設住宅訪問数	地域活動参加人数																																									
H30	11,093件	3,007件	5,255件	944人																																									
R1	27,383件	1,982件	42件	41人																																									
R2	28,777件	4,108件	—	376人																																									
	訪問	電話	調整等	関係機関へ案内	合計																																								
R1	579件	855件	248件	793件	2,475件																																								
R2	1,339件	2,005件	507件	599件	4,450件																																								
成果に係る評価	<p>平成29年度に行われた復興公営住宅入居者健康調査の結果や、阪神・淡路大震災においても、復興公営住宅などの再建前で、入居開始から数年の間に心身の状態が悪化する傾向が確認されたことから、入居者等の心身の状態が安定するまで見守り支援を継続して行っている。</p> <p>令和2年度においては、「被災者支援事業」から「地域における支え合い」へ支援体制の移行を進め、持続可能な地域コミュニティの構築に向けての検討を行った。</p> <p>今後も「地域における支え合い」構築を進めるとともに、被災者支援活動を継続的にい孤立化・孤独死などを未然に防ぐ見守りを継続し、個々の課題の発見・対応を行う。</p>																																												
予算の執行状況	(単位：円)																																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																										
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																							
	222,112,622	202,549,144	202,549,144																																										

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章	復興計画	(2)	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す																													
	5 項	災害救助費		第 節		(1)	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保																													
	2 目	東日本大震災関係費		()		(1)	被災者への生活支援																													
実施計画掲載ページ	P187		中 事 業	被災者住宅再建補助事業費																																
事業コード	002-201-004-00683	事 業 名	被災者住宅再建支援事業〔復興基金〕																																	
目的及び事業内容	<p>東日本大震災により被災した住宅の早期復興に資するため、被災住宅の再建を行う被災者に対し、住宅再建資金の一部を補助することにより、被災者の負担軽減を図り、本市への定住促進を促す。また、災害危険区域の指定日（平成24年12月1日）前に移転した被災者に対し、国の制度である「がけ地近接等危険住宅移転事業」と同等の支援を行なうことにより、被災者支援の格差の解消を図る。</p>																																			
取 組 実 績	<p>1 東日本大震災被災者住宅再建事業補助金</p> <p>(1) 建設・購入</p> <table border="0"> <tr> <td>ア 利子補給補助</td> <td>上限額</td> <td>444万円</td> </tr> <tr> <td>イ 取得費用補助</td> <td>上限額</td> <td>250万円</td> </tr> <tr> <td>ウ かさ上げ工事等</td> <td>上限額</td> <td>100万円（工事費用の1/1）</td> </tr> </table> <p>(2) 補修</p> <table border="0"> <tr> <td>ア 利子補給補助</td> <td>上限額</td> <td>150万円</td> </tr> <tr> <td>イ 補修費用補助</td> <td>上限額</td> <td>100万円（生活再建支援金の加算支援金を控除した金額の1/1）</td> </tr> </table> <p>2 東日本大震災被災者危険住宅移転事業補助金</p> <p>(1) 住宅・土地取得等 上限額 786万円</p> <p>3 補助金交付件数及び交付金額</p> <table border="0"> <tr> <td>(1) 被災者住宅再建事業補助金</td> <td>交付件数</td> <td>588件</td> <td>交付金額</td> <td>1,743,216,000円</td> </tr> <tr> <td>(2) 被災者危険住宅移転事業補助金</td> <td>交付件数</td> <td>1件</td> <td>交付金額</td> <td>4,882,000円</td> </tr> </table>							ア 利子補給補助	上限額	444万円	イ 取得費用補助	上限額	250万円	ウ かさ上げ工事等	上限額	100万円（工事費用の1/1）	ア 利子補給補助	上限額	150万円	イ 補修費用補助	上限額	100万円（生活再建支援金の加算支援金を控除した金額の1/1）	(1) 被災者住宅再建事業補助金	交付件数	588件	交付金額	1,743,216,000円	(2) 被災者危険住宅移転事業補助金	交付件数	1件	交付金額	4,882,000円				
ア 利子補給補助	上限額	444万円																																		
イ 取得費用補助	上限額	250万円																																		
ウ かさ上げ工事等	上限額	100万円（工事費用の1/1）																																		
ア 利子補給補助	上限額	150万円																																		
イ 補修費用補助	上限額	100万円（生活再建支援金の加算支援金を控除した金額の1/1）																																		
(1) 被災者住宅再建事業補助金	交付件数	588件	交付金額	1,743,216,000円																																
(2) 被災者危険住宅移転事業補助金	交付件数	1件	交付金額	4,882,000円																																
成 果	<p>住宅の建設・購入に係る費用を一部補助することにより、被災者の住宅再建を促進するとともに住宅再建制度における支援格差の解消に寄与した。</p> <p>被災者住宅再建補助事業 補助金交付件数及び金額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">住宅再建事業</th> <th colspan="2">危険住宅移転事業</th> </tr> <tr> <th>実績件数</th> <th>金額</th> <th>実績件数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25-H30</td> <td>11,801 件</td> <td>25,290,073,000 円</td> <td>233 件</td> <td>1,029,786,000 円</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>808 件</td> <td>2,122,974,000 円</td> <td>0 件</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>588 件</td> <td>1,743,216,000 円</td> <td>1 件</td> <td>4,882,000 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>13,197 件</td> <td>29,156,263,000 円</td> <td>234 件</td> <td>1,034,668,000 円</td> </tr> </tbody> </table>							年度	住宅再建事業		危険住宅移転事業		実績件数	金額	実績件数	金額	H25-H30	11,801 件	25,290,073,000 円	233 件	1,029,786,000 円	R1	808 件	2,122,974,000 円	0 件	0 円	R2	588 件	1,743,216,000 円	1 件	4,882,000 円	計	13,197 件	29,156,263,000 円	234 件	1,034,668,000 円
年度	住宅再建事業		危険住宅移転事業																																	
	実績件数	金額	実績件数	金額																																
H25-H30	11,801 件	25,290,073,000 円	233 件	1,029,786,000 円																																
R1	808 件	2,122,974,000 円	0 件	0 円																																
R2	588 件	1,743,216,000 円	1 件	4,882,000 円																																
計	13,197 件	29,156,263,000 円	234 件	1,034,668,000 円																																
成果に係る評価	<p>本事業は、被災者の住宅再建及び国の制度との支援格差の解消に寄与してきたものである。また、本事業を含む補助金の対象世帯に対するアウトリーチとして、住まいの再建状況調査を平成30年度より継続して行ったことにより対象者に対し十分な周知が図られた。しかし、生活再建支援制度（加算支援金）が令和3年4月12日まで延長されたことから、令和3年度においても住宅再建の需要が見込まれるので令和4年2月15日まで事業を延長した。</p> <p>※危険住宅移転事業については、令和2年度で事業終了。</p>																																			
予算の執行状況	(単位：円)																																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																														
	1,748,483,450	1,748,240,547			1,748,078,000	162,547																														

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章	復興計画	(2)	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す																								
	5 項	災害救助費				(1)	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保																								
	2 目	東日本大震災関係費				(1)	被災者への生活支援																								
実施計画掲載ページ		P184	中 事 業	被災者生活支援事業費																											
事業コード	002-101-004-01249	事 業 名	応急仮設住宅から復興公営住宅等への移行に伴う孤立防止事業																												
目的及び事業内容	<p>蛇田地区の復興公営住宅において、「孤立を生まない地域づくり事業」を実施し、住民同士の支え合いで孤立や閉じこもりを防ぐコミュニティづくりの支援を図る。</p> <p>※「孤立を生まない地域づくり事業」の3つの取組</p> <p>①移動サロンを通じて生活相談に応じたり、社会参加を促す「つながりづくりの場」</p> <p>②支え合う地域づくりの大切さを学び合う「学びの場」</p> <p>③生活に課題を抱えている「支援が必要な人への支援」</p>																														
取組実績	<p>コミュニティ形成支援の実績を持つ団体に業務を委託し事業を実施した。</p> <p>【委託先】 特定非営利活動法人 全国コミュニティライフサポートセンター</p> <p>1 つながりづくりの場 移動サロンの開催 住民相互の交流の場となるお茶会、体操等を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>開催回数</th> <th>延べ参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>133 回</td> <td>1,223 人</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>143 回</td> <td>1,327 人</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>42 回</td> <td>487 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 学びの場 (1) 活動報告会の開催 活動を総括するため、報告会を開催した。 3年間の取組の紹介に加え、地域住民を交え、地域づくりに関するディスカッションを行った。 (2) 広報紙の発行 蛇田地区の各復興公営住宅、各種支援機関等に対し、住民の活動状況を掲載した広報誌を偶数月に1,800部発行した。</p> <p>3 支援が必要な人への支援 体調不良や持病により閉じこもりがちな住民宅へ個別の訪問を実施し、必要に応じ各種支援機関に取り次ぐ対応を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>見守り対象</th> <th>うち随時訪問</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>15 世帯</td> <td>8 世帯</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>22 世帯</td> <td>8 世帯</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>75 世帯</td> <td>75 世帯</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和2年度は、個別訪問の体制を強化し、対象世帯の状況に合わせ、週1回～3カ月に1回の頻度で訪問を行った。</p>							年度	開催回数	延べ参加人数	H30	133 回	1,223 人	R1	143 回	1,327 人	R2	42 回	487 人	年度	見守り対象	うち随時訪問	H30	15 世帯	8 世帯	R1	22 世帯	8 世帯	R2	75 世帯	75 世帯
	年度	開催回数	延べ参加人数																												
H30	133 回	1,223 人																													
R1	143 回	1,327 人																													
R2	42 回	487 人																													
年度	見守り対象	うち随時訪問																													
H30	15 世帯	8 世帯																													
R1	22 世帯	8 世帯																													
R2	75 世帯	75 世帯																													
成 果	<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、移動サロン等の住民を集める活動は縮小せざるを得ない状況であったが、個別訪問に注力したことで、住民の孤立防止が図られた。</p> <p>また、令和2年度は事業実施の最終年度であったことから、事業の総括や個別ケースの関係機関への引継ぎ等事業終了に向けた取り組みを行った。</p>																														
成果に係る評価	<p>本事業については、応急仮設住宅から復興公営住宅に移行する期間における孤立を防止するという観点から実施してきたが、移動サロンは接点がない住民同士が交流する場として機能し、また、個別訪問は課題を抱える住民の発見と早期における支援体制構築に貢献するなど、一定の成果を挙げたことから、令和2年度をもって終了とした。</p> <p>今後は復興公営住宅に留まらず、住民の孤立防止を図るため、関係機関と連携していくことが必要である。</p>																														
(単位：円)																															
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																												
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																									
	28,536,000	26,767,790	26,767,790																												

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章	復興計画	(2)	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す																								
	5 項	災害救助費				(1)	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保																								
	2 目	東日本大震災関係費				(1)	被災者への生活支援																								
実施計画掲載ページ		P183	中 事 業	被災者生活支援事業費																											
事業コード	002-101-004-01177	事 業 名	支え合い活動支援事業																												
目的及び事業内容	<p>復興公営住宅等において継続的な見守りや地域での「顔の見える関係づくり」を進めるため、各種のサロン活動団体が実践する小地域福祉活動を推進し、地域コミュニティの構築を図る。</p>																														
取組実績	<p>1 事業委託 (1)委 託 先 石巻市社会福祉協議会 (2)委託内容 交付申請及び実績報告に係る受付、書類審査等 (3)委 託 料 2,925,407円</p> <p>2 サロン活動補助金(年間上限額:30,000円 助成期間:最長4年間) (1)@30,000円×85団体=2,550,000円 (2)上限額未満 11団体 210,101円 補助金合計 2,760,101円</p> <p>3 補助金交付要件の緩和 新型コロナウイルス感染症拡大により、活動を自粛する団体が多くなったことから、コロナ禍でもサロン活動の継続を支援するため、少人数で1回以上活動を実施した団体についても補助対象とする等の要件緩和を行った。</p> <p>4 事業実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>交付団体数</th> <th>補助金額</th> <th>業務委託料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>82件</td> <td>2,460,000円</td> <td>2,556,360円</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>111件</td> <td>3,330,000円</td> <td>3,380,400円</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>151件</td> <td>4,509,021円</td> <td>3,308,150円</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>168件</td> <td>5,011,770円</td> <td>2,857,229円</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>96件</td> <td>2,760,101円</td> <td>2,925,407円</td> </tr> </tbody> </table>								交付団体数	補助金額	業務委託料	H28	82件	2,460,000円	2,556,360円	H29	111件	3,330,000円	3,380,400円	H30	151件	4,509,021円	3,308,150円	R1	168件	5,011,770円	2,857,229円	R2	96件	2,760,101円	2,925,407円
		交付団体数	補助金額	業務委託料																											
H28	82件	2,460,000円	2,556,360円																												
H29	111件	3,330,000円	3,380,400円																												
H30	151件	4,509,021円	3,308,150円																												
R1	168件	5,011,770円	2,857,229円																												
R2	96件	2,760,101円	2,925,407円																												
成 果	<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、補助金交付申請団体が大幅に減少した。申請団体の中でも、コロナ禍で活動を中止する団体が増加したが、交付要件の緩和を実施したことにより、地域の支え合い活動を支援し、途切れないコミュニティの推進が図られた。</p>																														
成果に係る評価	<p>サロン活動を通じた生きがいづくりや孤立の防止など、被災者のコミュニティ再生支援について一定の成果を果たしたため、令和2年度で新規団体の受付は終了したが、引き続き、コミュニティ活動を推進するため、地域福祉コーディネーターや関係機関と連携し、補助金に頼らない自立した活動を含め、運営支援や立ち上げ支援を継続する必要がある。</p>																														
(単位：円)																															
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																												
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																									
	6,913,000	5,685,508	5,685,508																												